

令和4年度
第2次京丹後市スポーツ推進計画見直しに
関するアンケート調査

結果報告書

令和5年2月

京丹後市教育委員会

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| I. 調査の概要..... | 1 |
| 1 調査の目的..... | 1 |
| 2 調査項目..... | 1 |
| 3 調査設計..... | 1 |
| 4 発送・回収の状況..... | 1 |
| 5 調査結果の見方..... | 2 |
| II. 回答者の属性..... | 3 |
| III. 調査結果の詳細..... | 9 |
| 1 健康状態について..... | 9 |
| 2 運動やスポーツの実施状況について..... | 18 |
| 3 スポーツに関するボランティア活動について..... | 46 |
| 4 京丹後市のスポーツ施策について..... | 48 |
| 5 スポーツに関する情報について..... | 59 |
| 6 障害者スポーツの振興について..... | 63 |
| 7 現在の子どもを取り巻く環境について..... | 63 |
| 8 自由意見..... | 65 |
| IV. 調査結果のまとめ..... | 67 |
| 1 健康状態について..... | 67 |
| 2 運動やスポーツの実施状況について..... | 67 |
| 3 スポーツに関するボランティア活動について..... | 68 |
| 4 京丹後市のスポーツ施策について..... | 68 |
| 5 スポーツに関する情報について..... | 69 |
| 6 障害者スポーツの振興について..... | 69 |
| 7 現在の子どもを取り巻く環境について..... | 70 |

1. 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、平成 29 年度に策定した第 2 次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直しにあたり、その基礎資料とするために、市民のスポーツの活動状況や、スポーツに対する意向などを把握することを目的としています。

2 調査項目

- (1) 健康状態について
- (2) 運動やスポーツの実施状況について
- (3) スポーツに関するボランティア活動について
- (4) 京丹後市のスポーツ施策について
- (5) スポーツに関する情報について
- (6) 障害者スポーツの振興について
- (7) 現在の子どもを取り巻く環境について
- (8) 回答者自身について
- (9) 自由意見

3 調査設計

- (1) 調査地域 京丹後市全域
- (2) 調査対象 市内に在住する 18～79 歳の市民
- (3) 標本数 2,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- (6) 調査期間 令和 4 年 9 月 22 日～令和 4 年 11 月 11 日

4 発送・回収の状況

| 調査対象者数 | 回収件数 (率) | 白票件数 | 有効回収件数 (率) |
|---------|--------------------|------|--------------------|
| 2,000 人 | 1,021 件 (51.1%) | 0 件 | 1,020 件 (51.0%) |

【居住地・年代・性別 アンケート送付内訳】

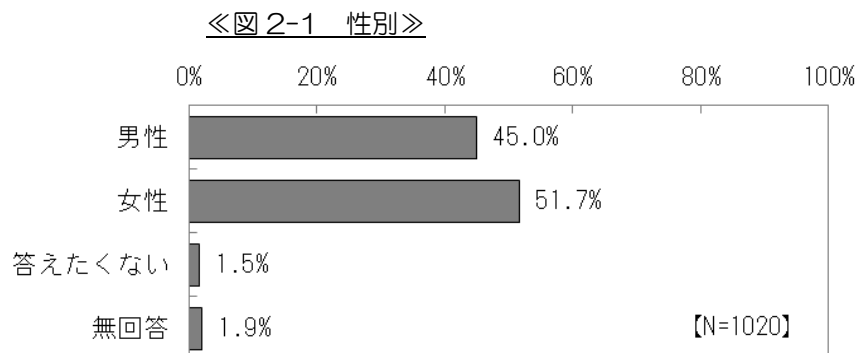
| | 総数 | 18, 19 歳 | | 20 代 | | 30 代 | | 40 代 | | 50 代 | | 60 代 | | 70 代 | |
|------|-------|----------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 峰山町 | 460 | 6 | 6 | 23 | 23 | 28 | 28 | 37 | 37 | 44 | 44 | 44 | 44 | 48 | 48 |
| 大宮町 | 380 | 6 | 6 | 19 | 19 | 23 | 23 | 30 | 30 | 36 | 36 | 36 | 36 | 40 | 40 |
| 網野町 | 460 | 7 | 7 | 23 | 23 | 27 | 27 | 38 | 38 | 44 | 44 | 44 | 44 | 48 | 48 |
| 丹後町 | 180 | 3 | 3 | 9 | 9 | 11 | 11 | 14 | 14 | 17 | 17 | 17 | 17 | 19 | 19 |
| 弥栄町 | 180 | 3 | 3 | 9 | 9 | 11 | 11 | 14 | 14 | 17 | 17 | 17 | 17 | 19 | 19 |
| 久美浜町 | 340 | 5 | 5 | 17 | 17 | 20 | 20 | 27 | 27 | 32 | 32 | 32 | 32 | 36 | 36 |
| 合計 | 2,000 | 30 | 30 | 100 | 100 | 120 | 120 | 160 | 160 | 190 | 190 | 190 | 190 | 210 | 210 |

5 調査結果の見方

- (1) 本文中および図中に示した集計結果は、その質問の回答者数を基数（N）として算出し、百分率（%）で示しています。
- (2) 集計結果は小数点第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。また、グラフには「MA%」（複数回答）を付記しています。
- (4) 図では、コンピューターの都合上、回答選択を短縮して記載している場合があります。
- (5) 本文中にある「過去調査」とは、平成24年度及び平成28年度に実施した「京丹後市スポーツ推進計画見直しに関するアンケート調査」をさします。

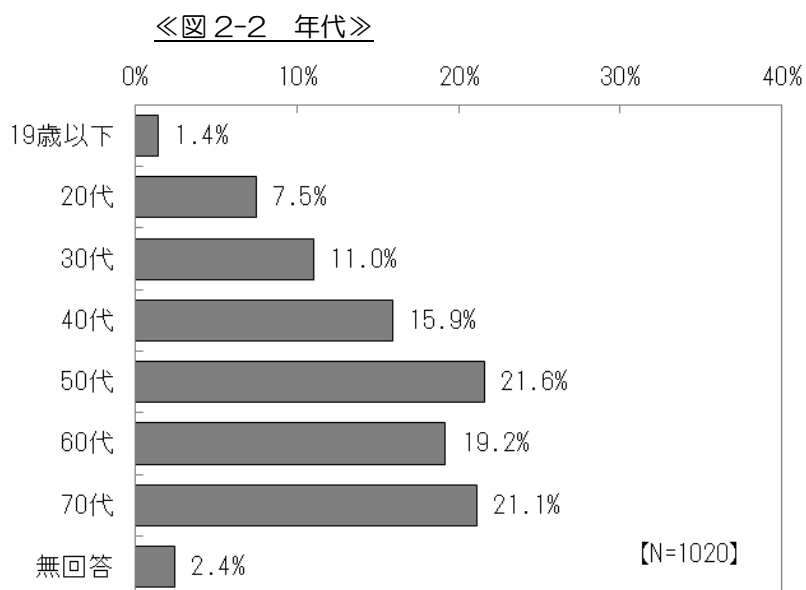
II. 回答者の属性

(1) 性別



回答者の性別は、「男性」が45.0%、「女性」が51.7%で、「女性」が「男性」を上回っています。

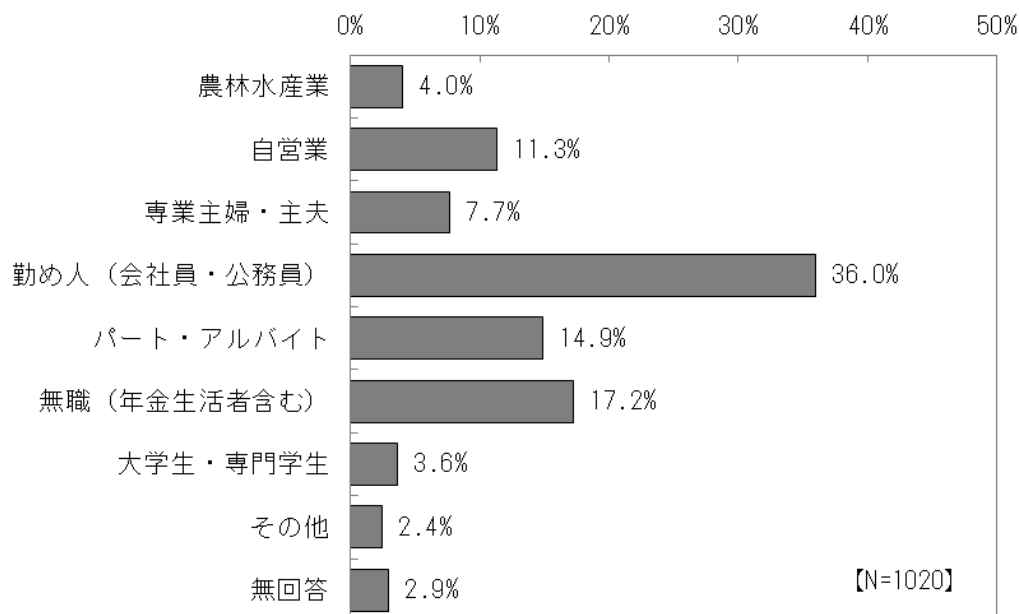
(2) 年代



回答者の年代は、「50代」が21.6%と最も多く、以下「70代」が21.1%、「60代」が19.2%、「40代」が15.9%、「30代」が11.0%、「20代」が7.5%、「19歳以下」が1.4%となっています。

(3) 職業

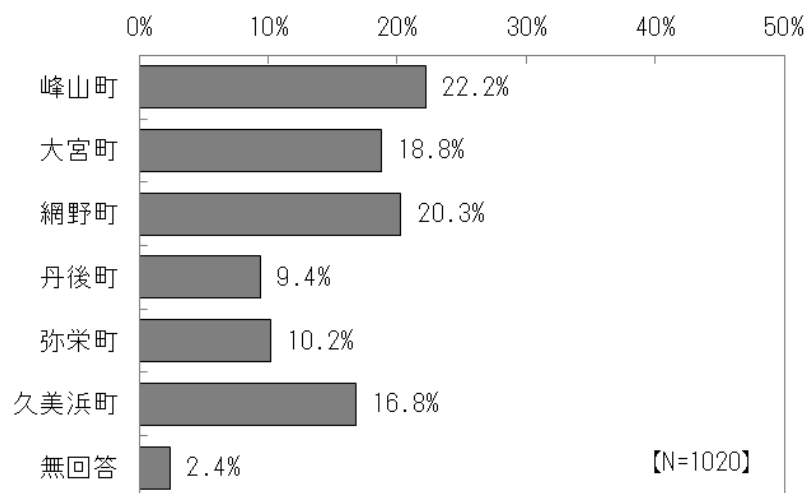
《図 2-3 職業》



回答者の職業は、「勤め人(会社員・公務員)」が36.0%と最も多く、次いで「無職(年金生活者含む)」が17.2%、「パート・アルバイト」が14.9%、「自営業」が11.3%などとなっています。

(4) 居住地域

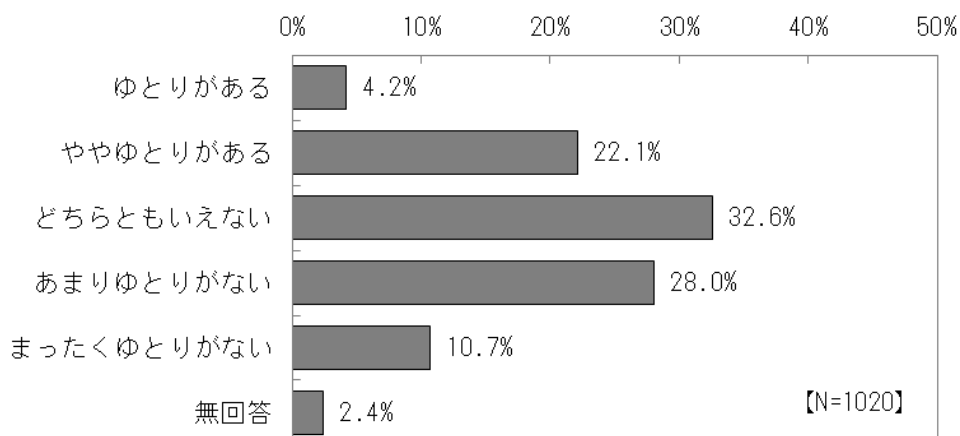
《図 2-4 居住地域》



回答者の居住地域は、「峰山町」が22.2%と最も多く、次いで「網野町」が20.3%、「大宮町」が18.8%、「久美浜町」が16.8%、「弥栄町」が10.2%、「丹後町」が9.4%となっています。

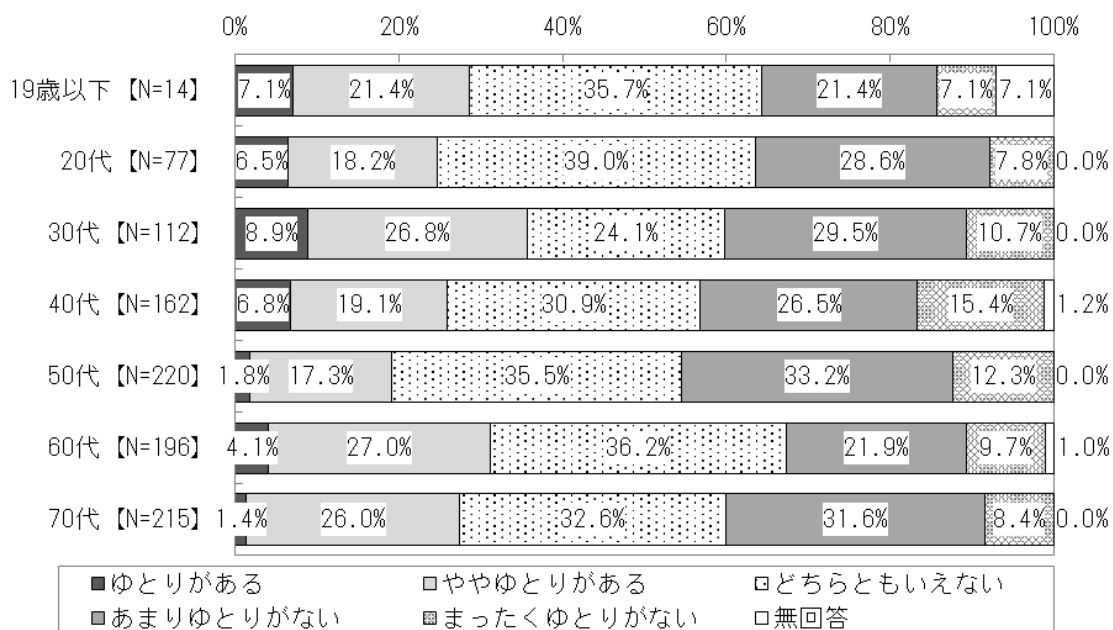
(5) 暮らし向き

《図 2-5 暮らし向き》



回答者の暮らし向きは、「どちらともいえない」が32.6%と最も多く、次いで「あまりゆとりがない」が28.0%、「ややゆとりがある」が22.1%などとなっています。

《図 2-6 暮らし向き／年代別》

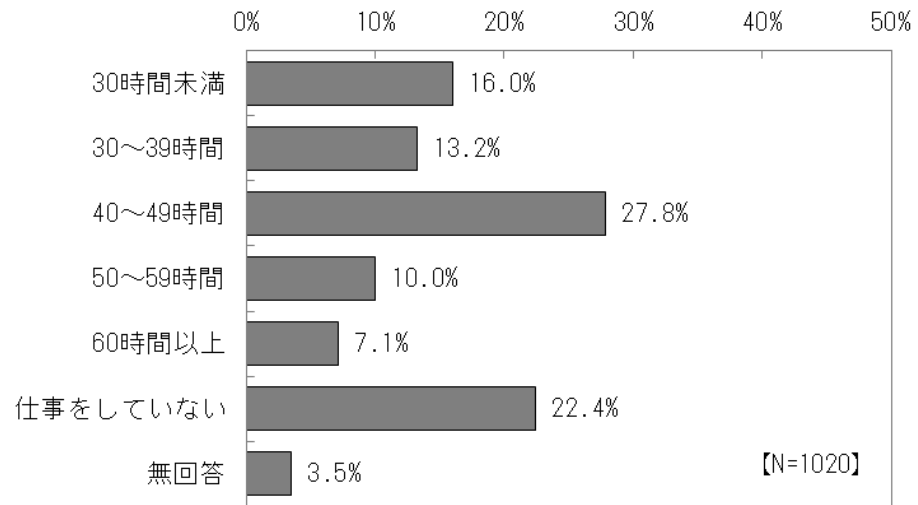


回答者の暮らし向きを年代別にみると、「あまりゆとりがない」は50代で、「まったくゆとりがない」は40代で最も多くなっています。

「あまりゆとりがない」と「まったくゆとりがない」を合わせた割合は、50代で最も多くなっています。

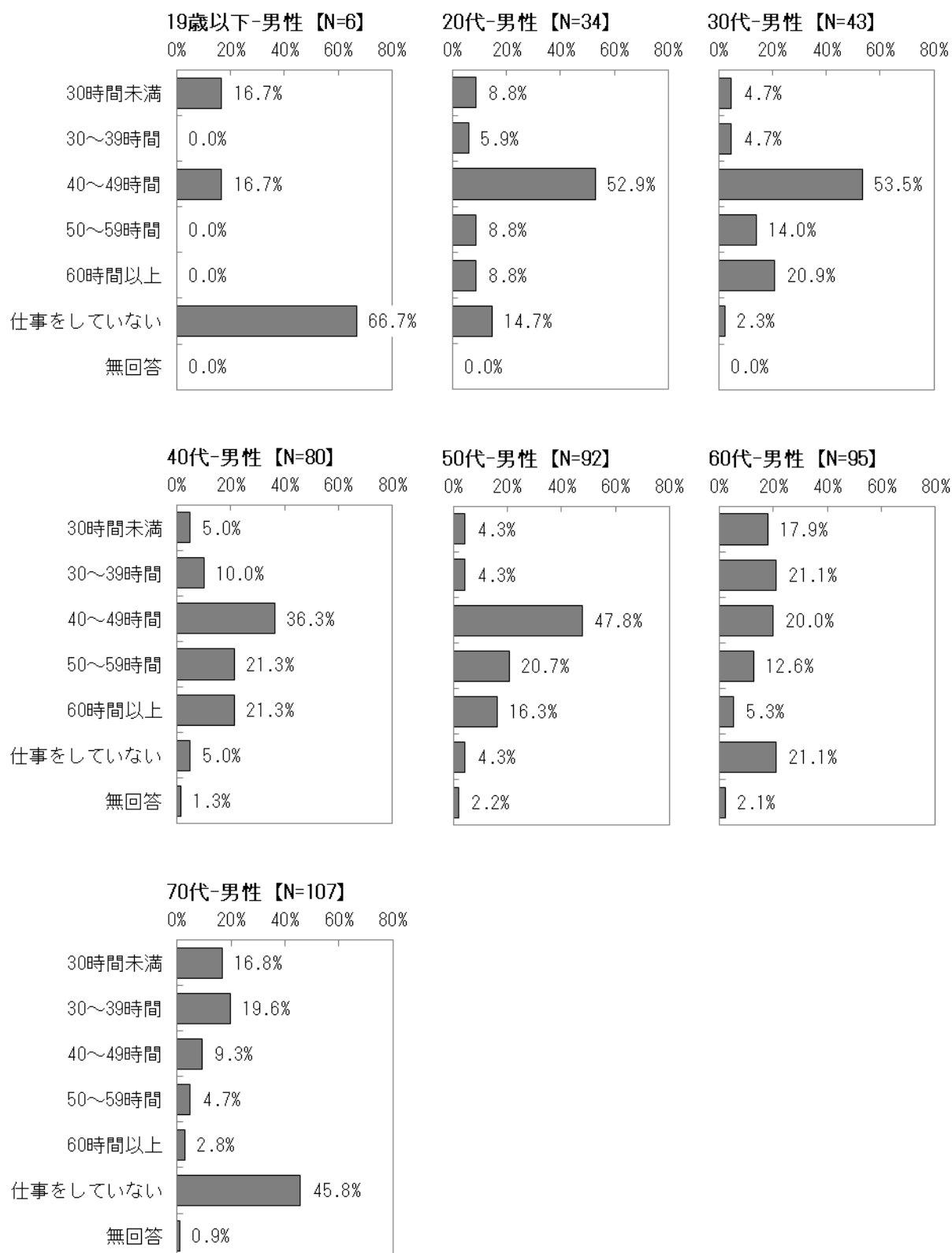
(6) 1週間の就業時間

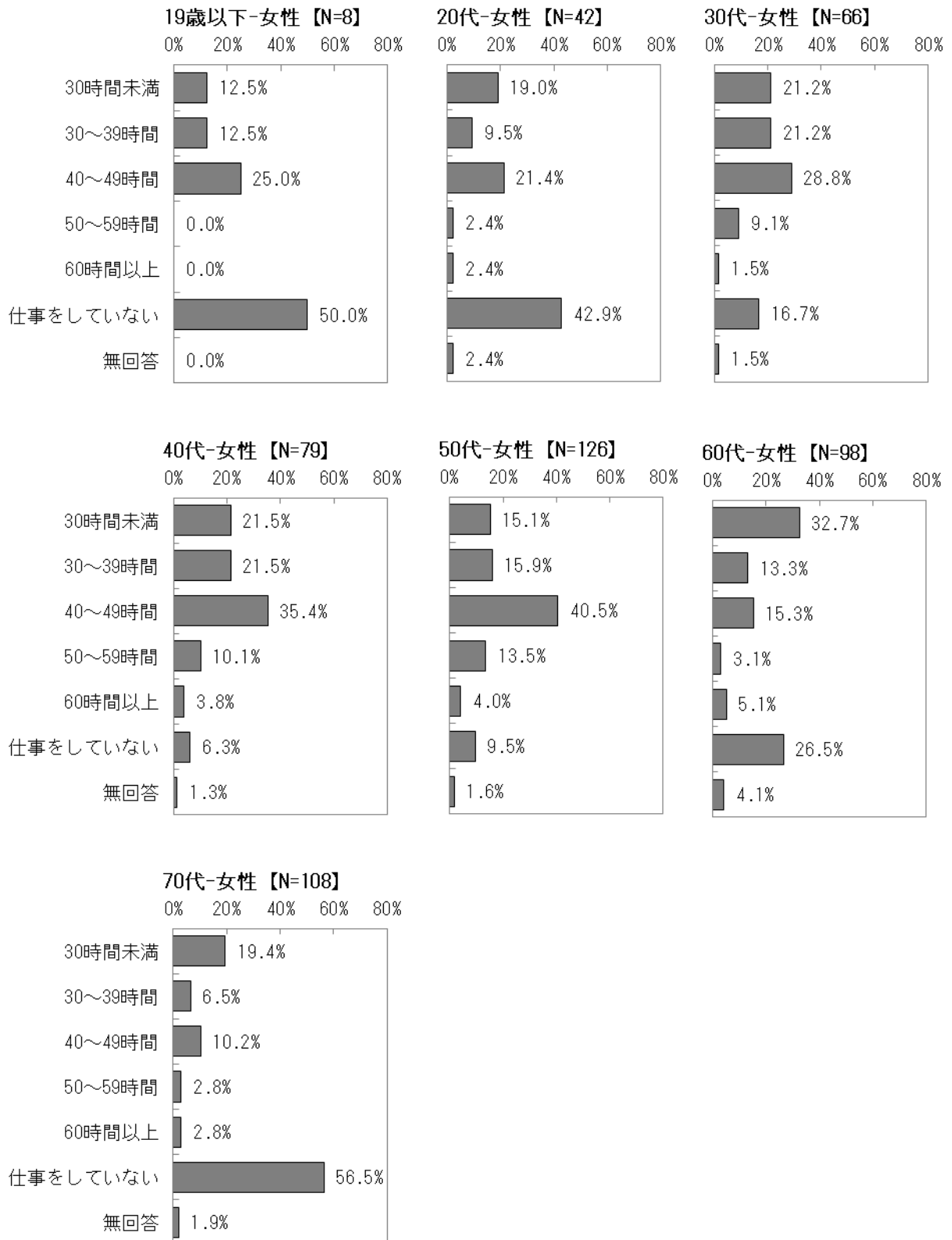
《図 2-7 1週間の就業時間》



回答者の1週間の就業時間は、「40～49時間」が27.8%と最も多く、次いで「仕事をしていない」が22.4%などとなっています。

《図 2-8 1 週間の就業時間／性・年代別》





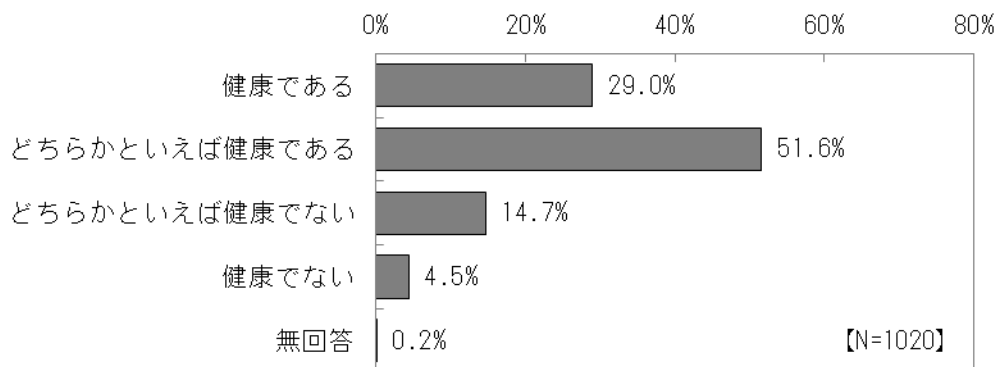
回答者の1週間の就業時間を性・年代別にみると、40代及び50代の男性は「50～59時間」が約2割、30代及び40代の男性は「60時間以上」が約2割となっています。

III. 調査結果の詳細

1 健康状態について

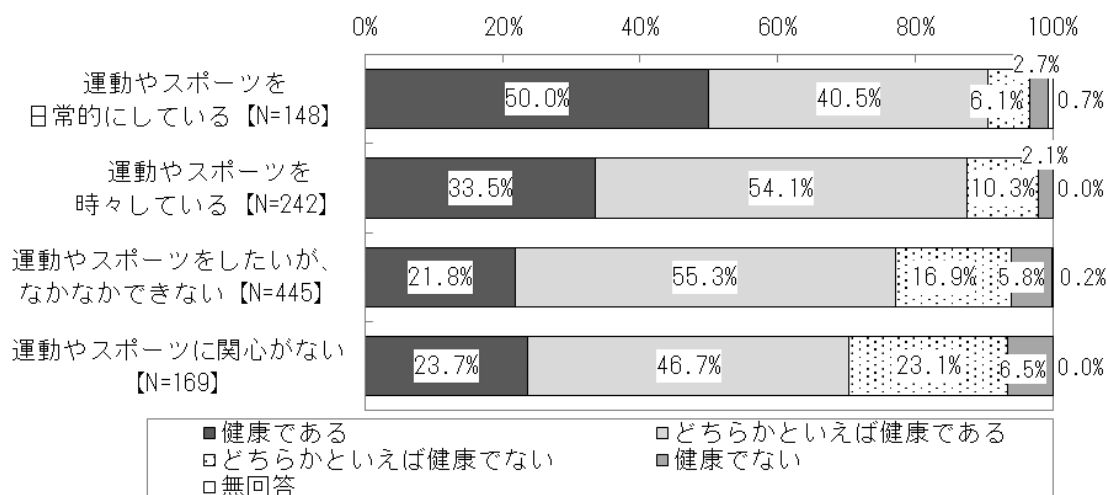
問1. あなた自身の健康について、現在はどう感じていますか。（1つに○）

《図3-1-1 健康について感じていること》



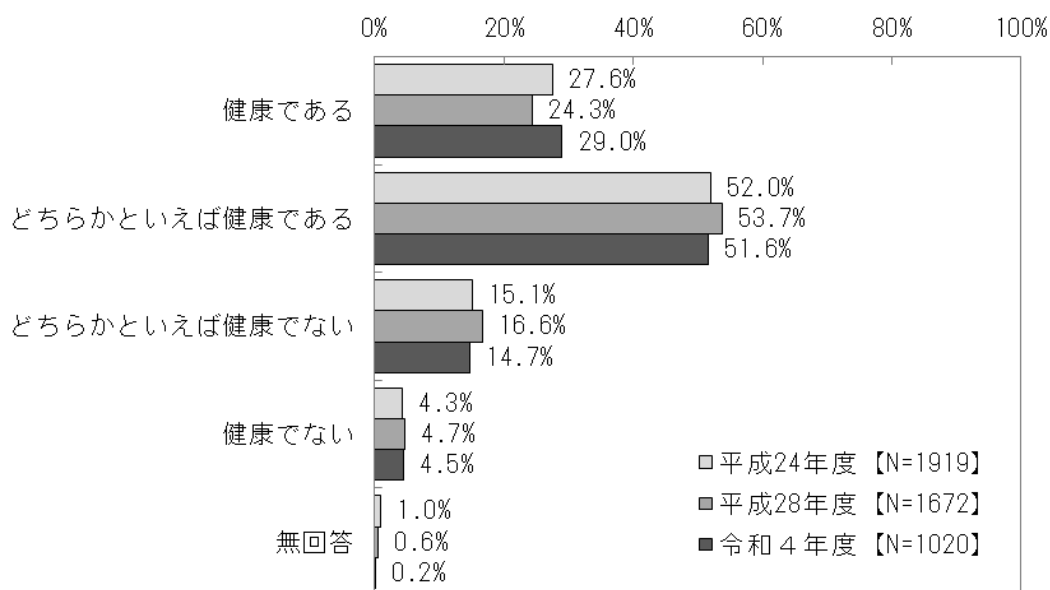
健康について感じていることは、「どちらかといえば健康である」が51.6%と最も多く、次いで「健康である」が29.0%、「どちらかといえば健康でない」が14.7%、「健康でない」が4.5%となっています。

《図3-1-2 健康について感じていること／運動やスポーツの取り組み方（問6）別》



健康について感じていることを、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合（『健康である』）が多くなっています。

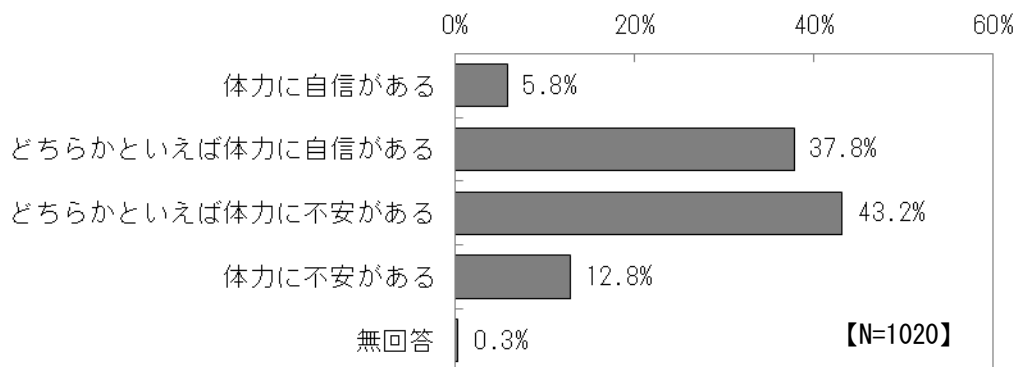
《図 3-1-3 健康について感じていること／過去調査との比較》



健康について感じていることを、過去調査と比較すると、『健康である』と『どちらかといえば健康である』の合計割合は今回調査がわずかに増加しています。

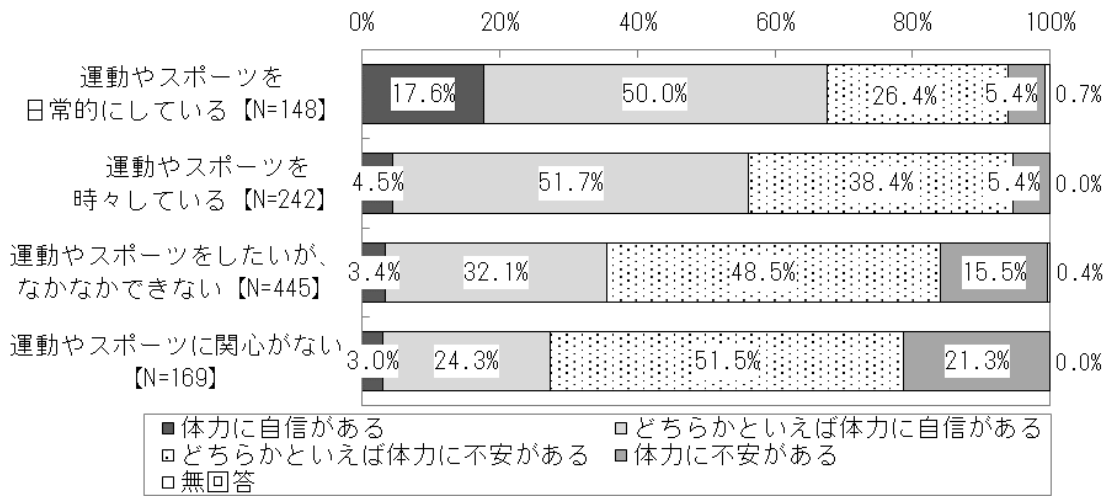
問2. あなたは、体力についてどのように感じていますか。（1つに○）

《図 3-1-4 体力について感じていること》



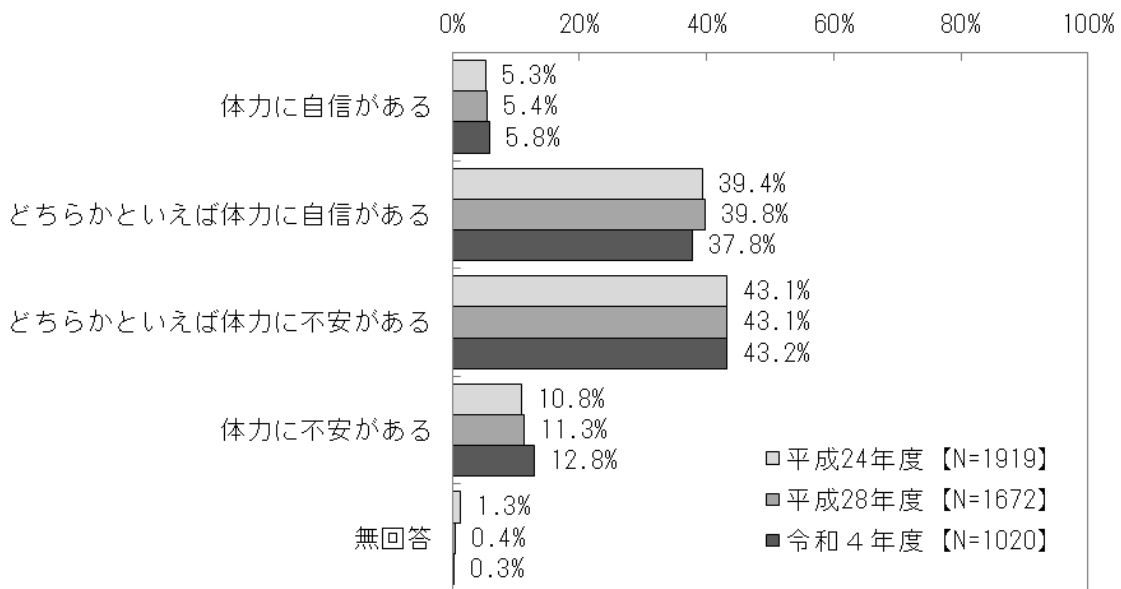
体力について感じていることは、「どちらかといえば体力に不安がある」が43.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば体力に自信がある」が37.8%、「体力に不安がある」が12.8%、「体力に自信がある」が5.8%となっています。

《図 3-1-5 体力について感じていること／運動やスポーツの取り組み方（問 6）別》



体力について感じることを、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど、「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた割合（『体力に自信がある』）が多くなっています。

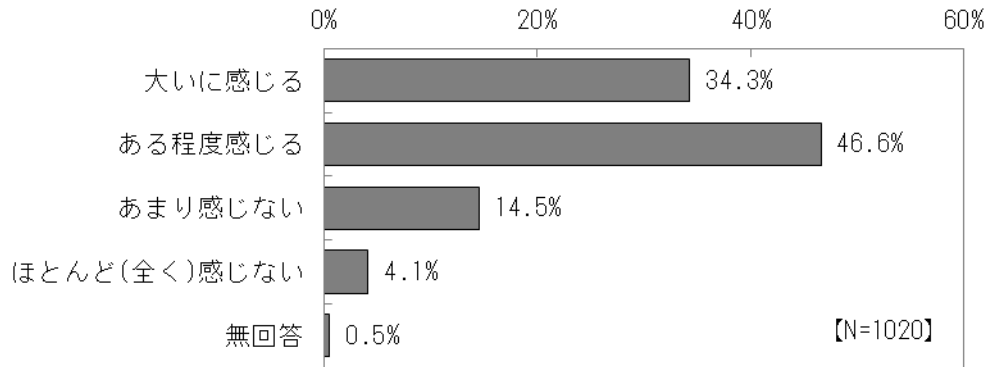
《図 3-1-6 体力について感じていること／過去調査との比較》



体力について感じることを、過去調査と比較すると、『体力に自信がある』はわずかに増加していますが、『体力に不安がある』も増加しています。

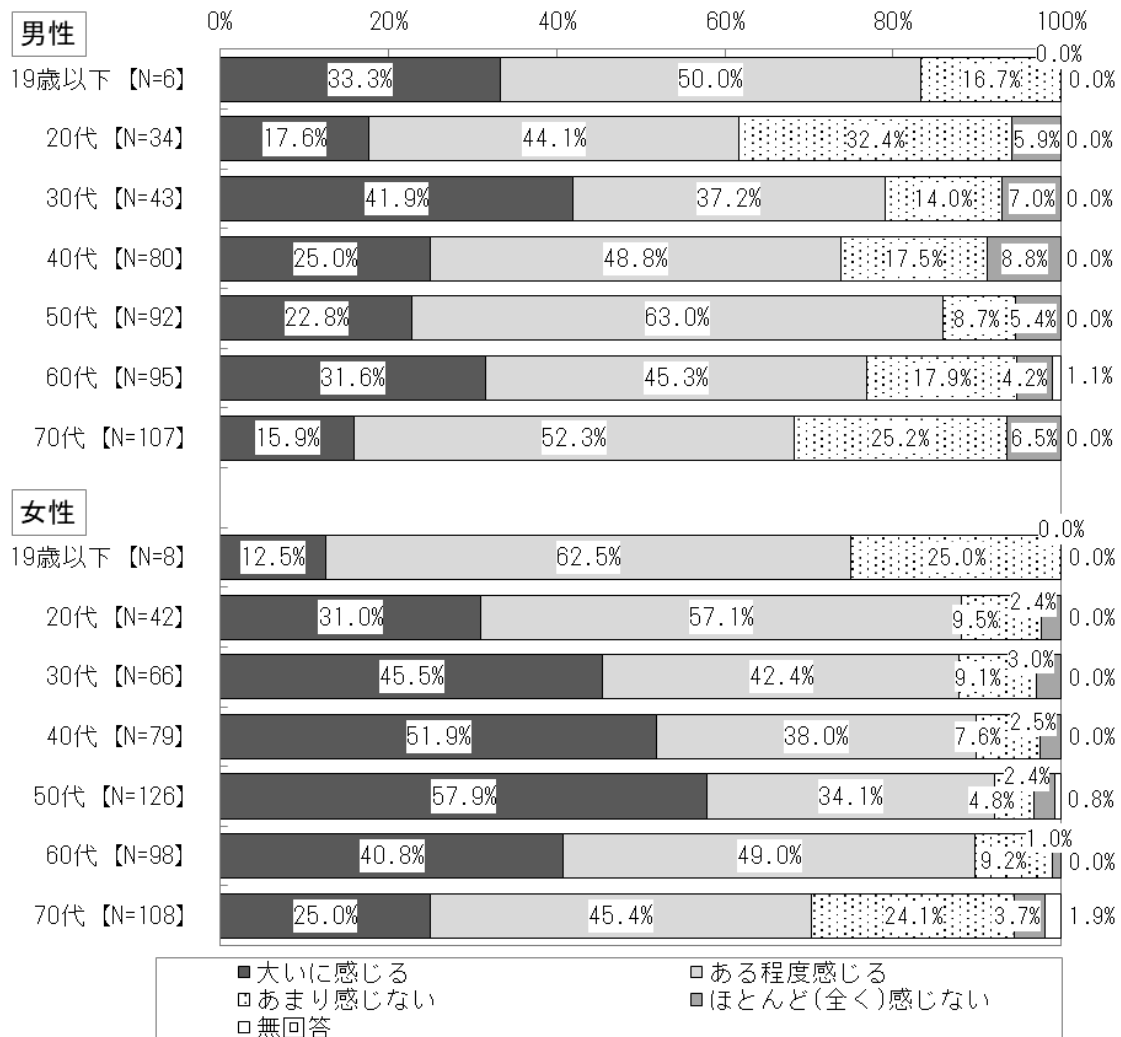
問3. あなたは普段、運動不足を感じていますか。(1つに○)

《図 3-1-7 運動不足を感じているか》



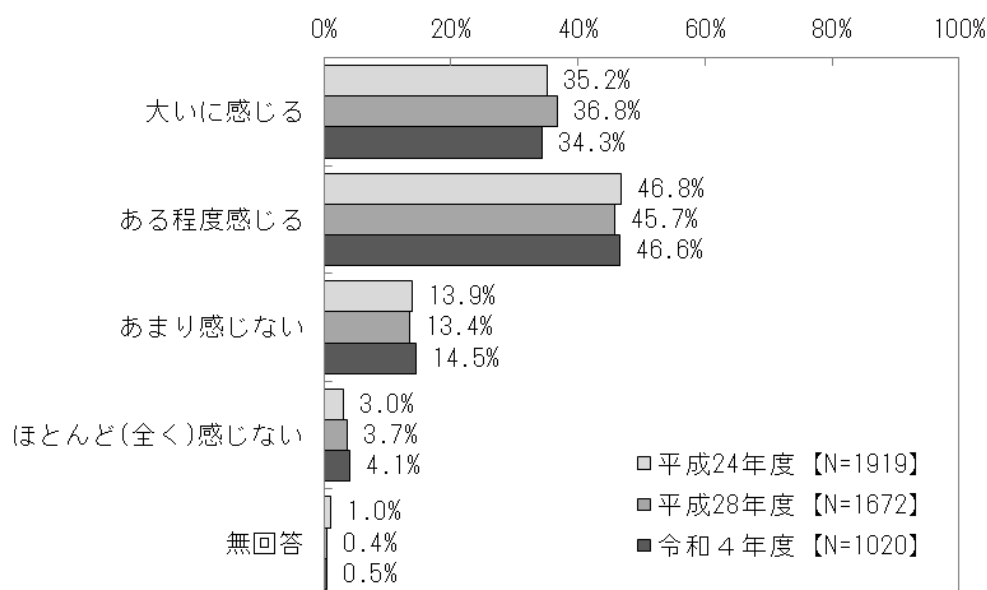
運動不足を感じているかどうかは、「ある程度感じる」が46.6%と最も多く、次いで「大いに感じる」が34.3%、「あまり感じない」が14.5%、「ほとんど(全く)感じない」が4.1%となっています。

《図 3-1-8 運動不足を感じているか/性・年代別》



運動不足を感じているかどうかを、性・年代別にみると、「大いに感じる」は、男性では30代が最も多く、女性の30代~50代では約5~6割に上っています。

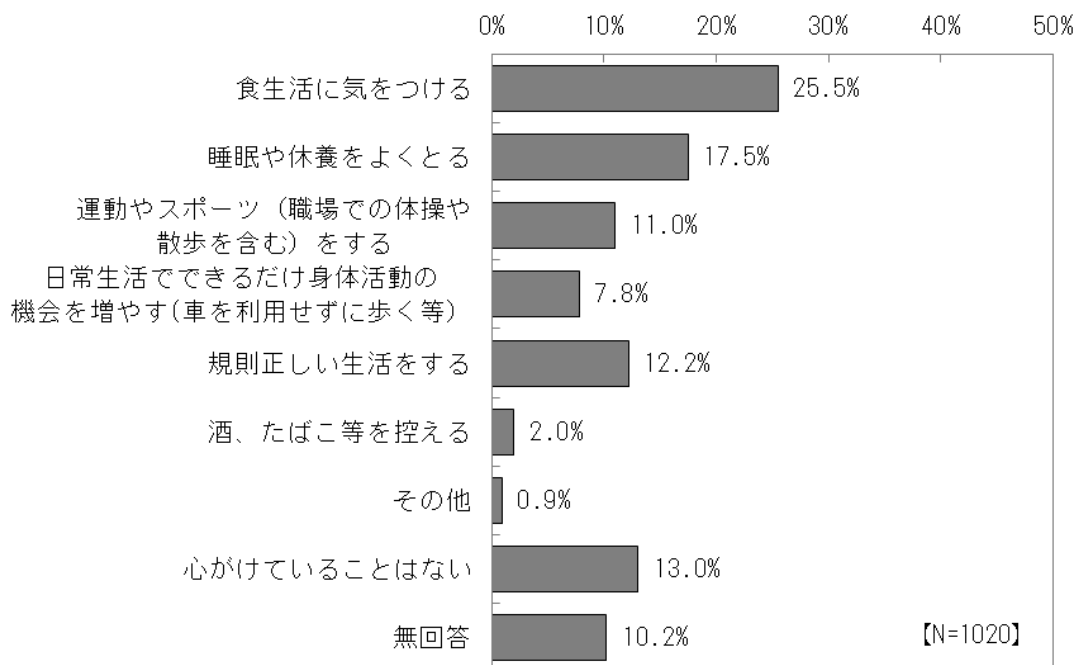
《図 3-1-9 運動不足を感じているか／過去調査との比較》



運動不足を感じているかどうかを、過去調査と比較すると、「大いに感じる」はわずかに減少しています。

問4. あなたは日頃、健康管理や体力の保持増進のために、何か心がけていることはありますか。あるとすればどのようなことですか。(最もあてはまるもの1つに○)

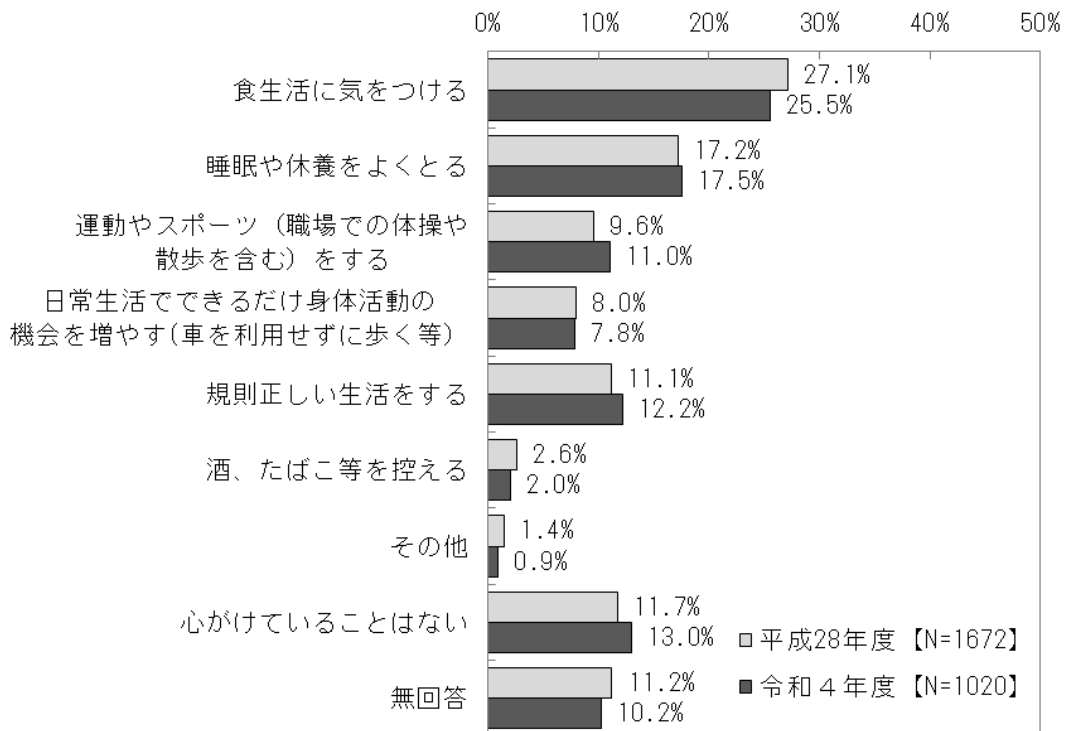
《図 3-1-10 健康管理や体力の保持増進のために、心がけていること》



健康管理や体力の保持増進のために、心がけていることは、「食生活に気をつける」が25.5%と最も多く、次いで「睡眠や休養をよくとる」が17.5%、「心がけていることはない」が13.0%などとなっています。

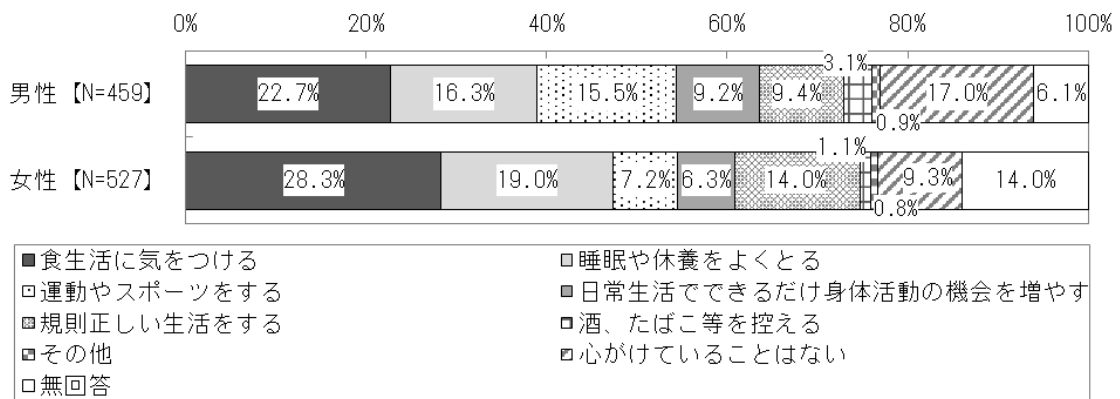
「運動やスポーツをする」は11.0%にとどまっています。

《図 3-1-11 健康管理や体力の保持増進のために、心がけていること/過去との比較》



健康管理や体力の保持増進のために、心がけていることを、過去調査と比較すると、「食生活に気をつける」は減少し、「運動やスポーツ（職場での体操や散歩を含む）をする」がわずかに増加しています。

《図 3-1-12 健康管理や体力の保持増進のために、心がけていること/性別》

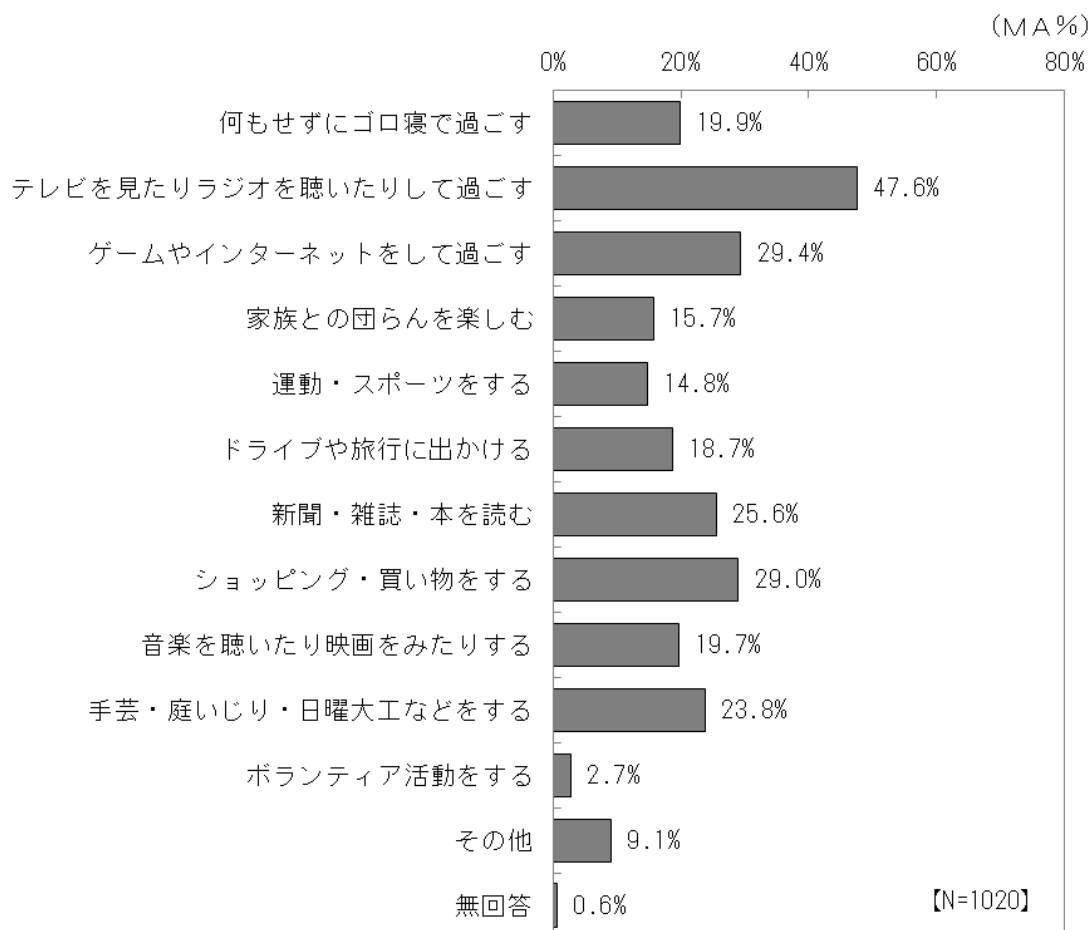


健康管理や体力の保持増進のために、心がけていることを、性別にみると、男女ともに「食生活に気をつける」が最も多く、特に女性は約3割を占めています。

男性は女性より「運動やスポーツをする」の割合が高く、約2倍となっています。

問5. あなたは、自分の好きなことができる時間には、主にどのようなことをして過ごしていますか。(〇はいくつでも)

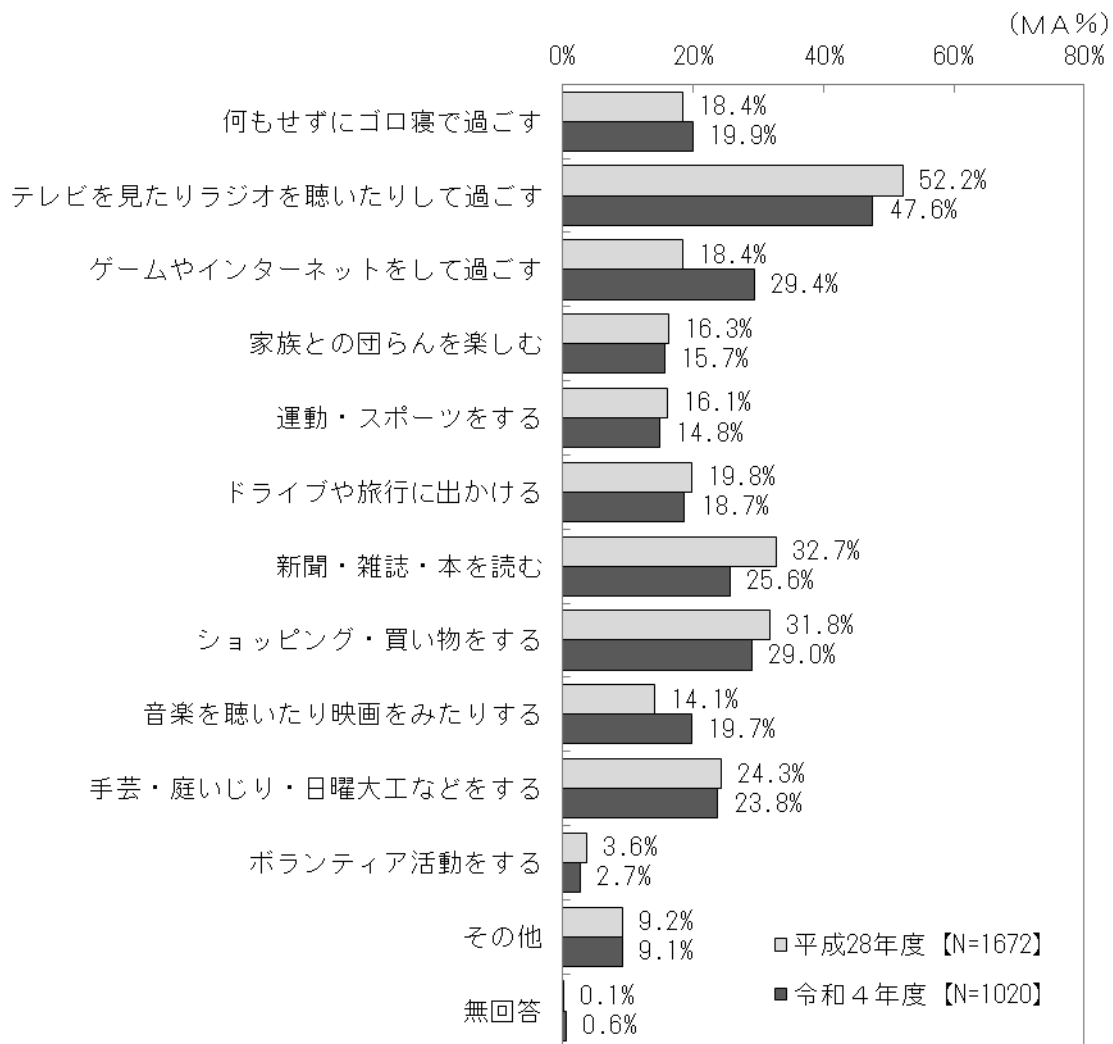
《図 3-1-13 好きなことができる時間の過ごし方》



好きなことができる時間の過ごし方は、「テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす」が47.6%と最も多く、次いで「ゲームやインターネットをして過ごす」が29.4%、「ショッピング・買い物をする」が29.0%などとなっています。

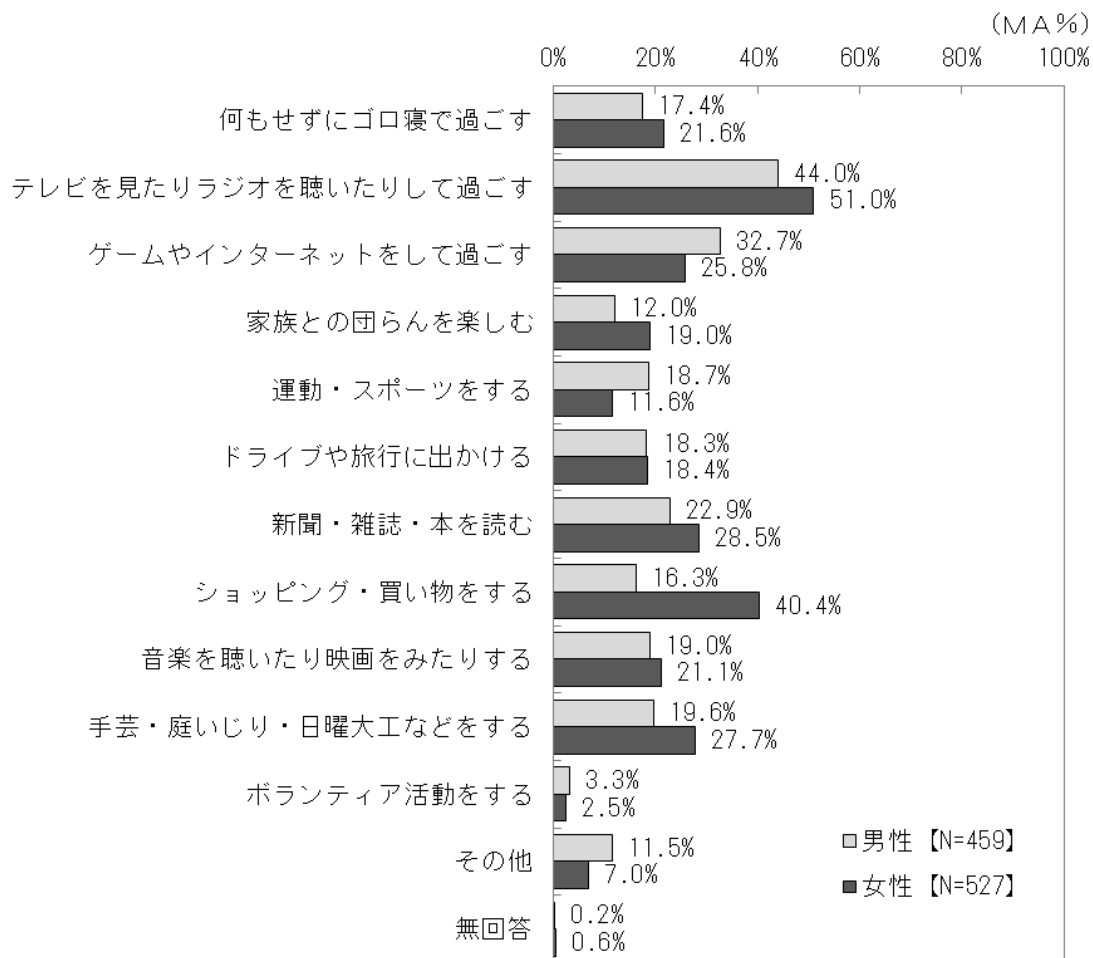
「運動・スポーツをする」は14.8%と他の回答項目と比べて少なくなっています。

《図 3-1-14 好きなことができる時間の過ごし方／過去調査との比較》



好きなことができる時間の過ごし方を、過去調査と比較すると、「運動・スポーツをする」は減少し、「ゲームやインターネットをして過ごす」が大きく伸びています。

《図 3-1-15 好きなことができる時間の過ごし方／性別》

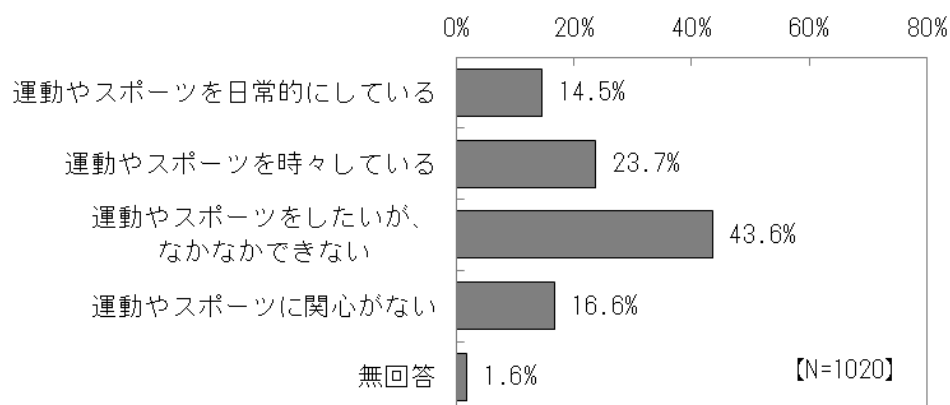


好きなことができる時間の過ごし方を、性別にみると、「運動やスポーツをする」は男性が18.7%、女性が11.6%で、特に女性で「運動やスポーツをする」が少なくなっています。

2 運動やスポーツの実施状況について

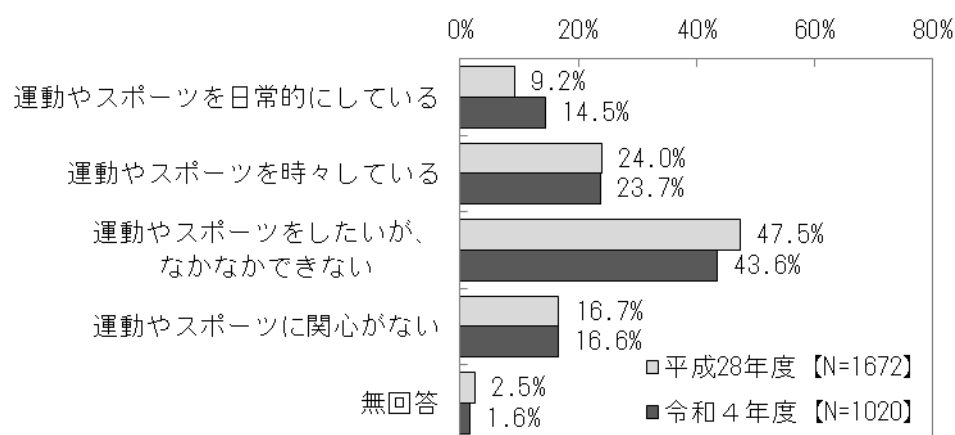
問6. あなたの運動やスポーツへの取り組み方についてお聞かせください。（1つに○）

《図3-2-1 運動やスポーツの取り組み方》



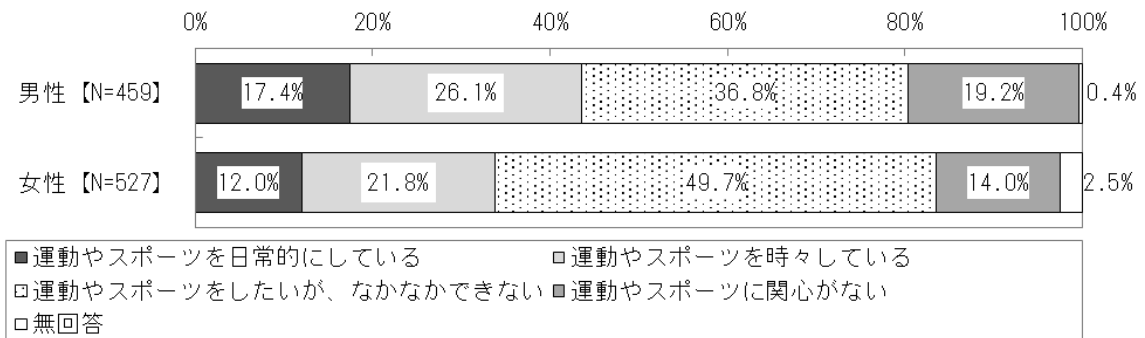
運動やスポーツの取り組み方は、「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」が43.6%と最も多く、次いで「運動やスポーツを時々している」が23.7%、「運動やスポーツに関心がない」が16.6%、「運動やスポーツを日常的にしている」が14.5%となっています。

《図3-2-2 運動やスポーツの取り組み方／過去調査との比較》



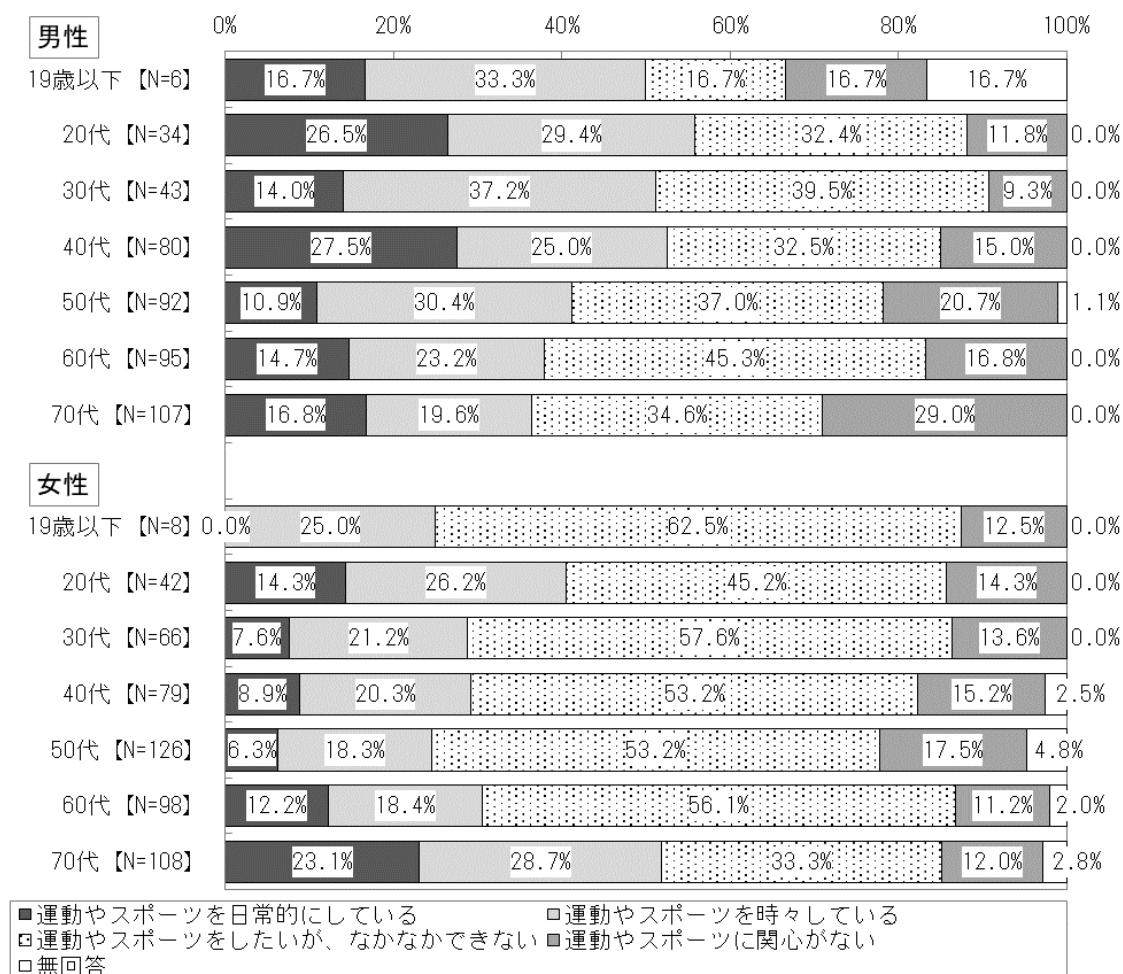
運動やスポーツの取り組み方を、過去調査と比較すると、「運動やスポーツを日常的にしている」が増加し、「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」が減少しています。

《図 3-2-3 運動やスポーツの取り組み方／性別》



運動やスポーツの取り組み方を、性別にみると、「運動やスポーツを日常的にしている」と「運動やスポーツを時々している」を合わせた割合（『運動やスポーツをしている』）は、男性が 43.5%、女性が 33.8%で、女性は男性より少なくなっています。

《図 3-2-4 運動やスポーツの取り組み方／性・年代別》



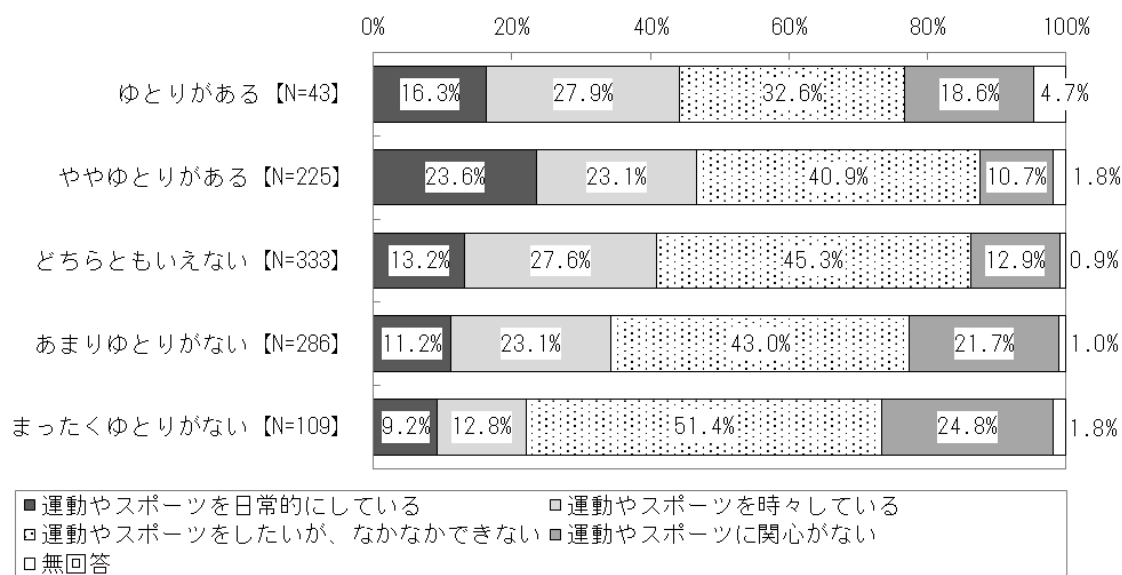
運動やスポーツの取り組み方を、性・年代別にみると、『運動やスポーツをしている』は、70代を除くすべての年代で、女性は男性より少なくなっています。特に30代～50代の女性は『運動やスポーツを日常的にしている』が1割未満となっています。

「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」は、30代～60代の女性で多く、6割近くとなっています。

「運動やスポーツに関心がない」は、50代及び70代の男性で多くなっています。

また、「運動やスポーツに関心がない」は、男性ではおおむね年代が高いほど割合が多くなっています。

《図 3-2-5 運動やスポーツの取り組み方／暮らし向き別》

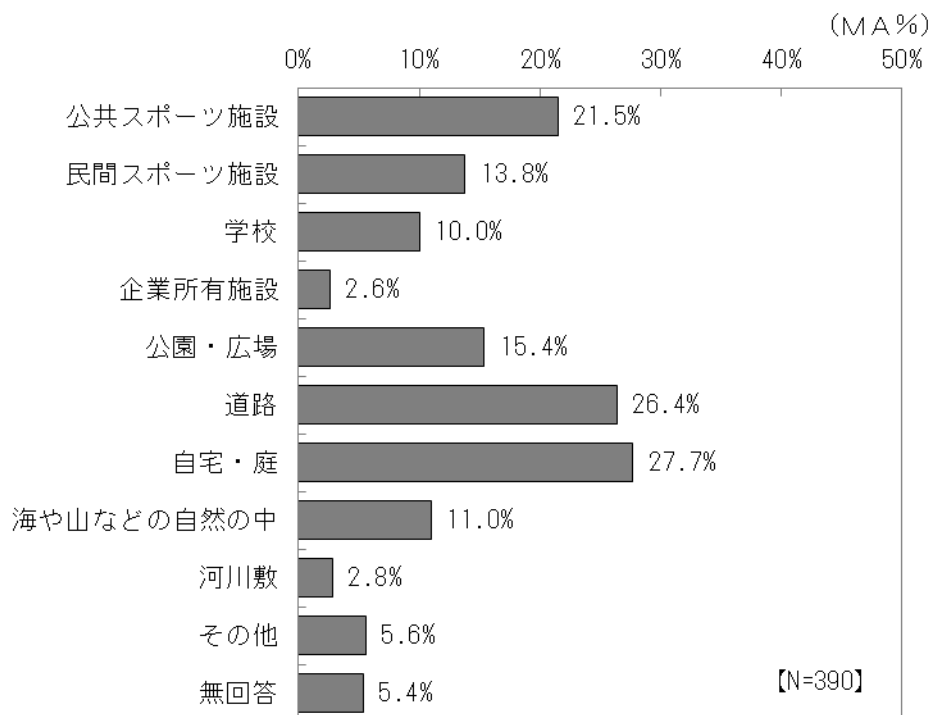


運動やスポーツの取り組み方を、暮らし向き別にみると、おおむね暮らし向きがよくない人ほど「運動やスポーツを日常的にしている」「運動やスポーツを時々している」が少なくなっています。

問6で「運動やスポーツを日常的にしている」、「運動やスポーツを時々している」と回答された方にお聞きします。

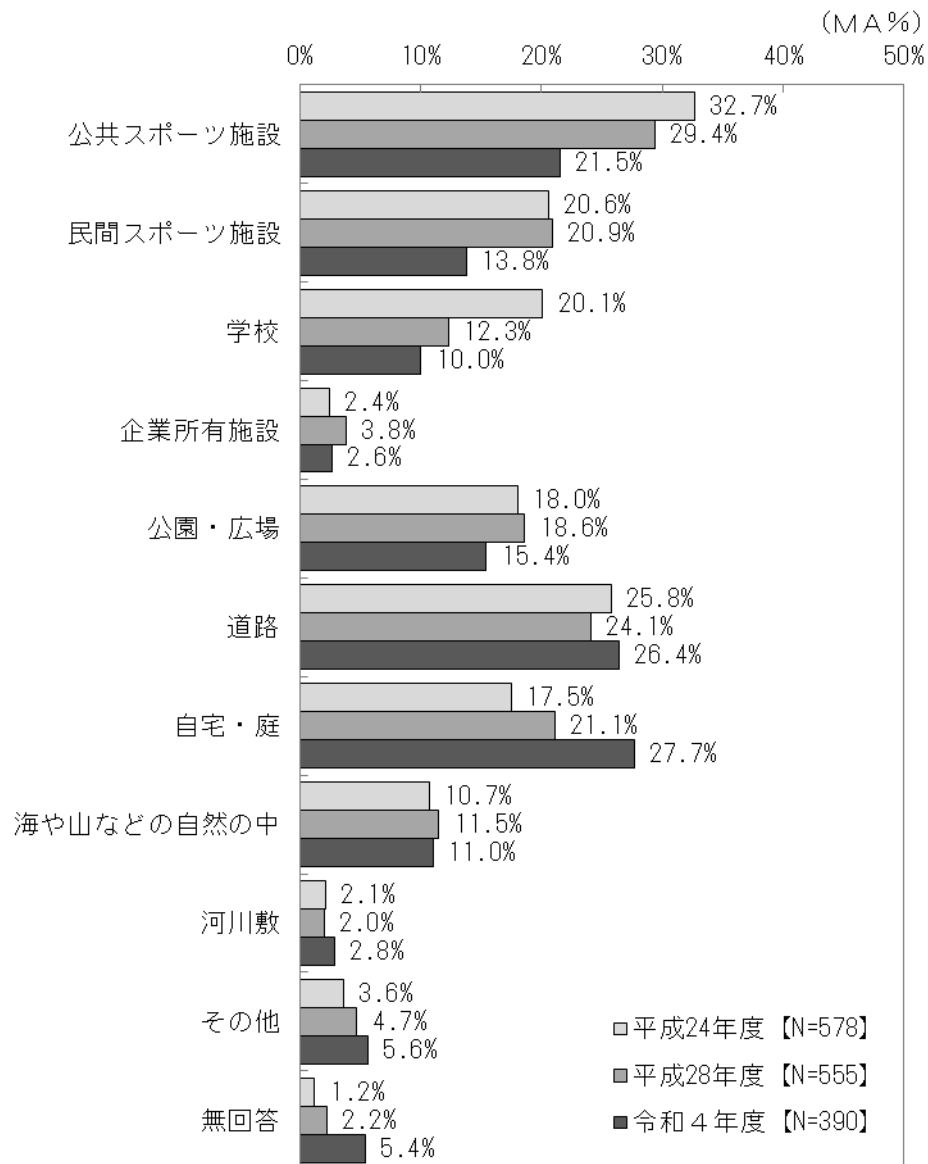
問7. 普段の運動やスポーツは、主にどこで行いますか。(〇はいくつでも)

《図 3-2-6 運動やスポーツを行う場所》



運動やスポーツを行う場所は、「自宅・庭」が27.7%と最も多く、次いで「道路」が26.4%、「公共スポーツ施設」は21.5%などとなっています。

《図 3-2-7 運動やスポーツを行う場所／過去調査との比較》

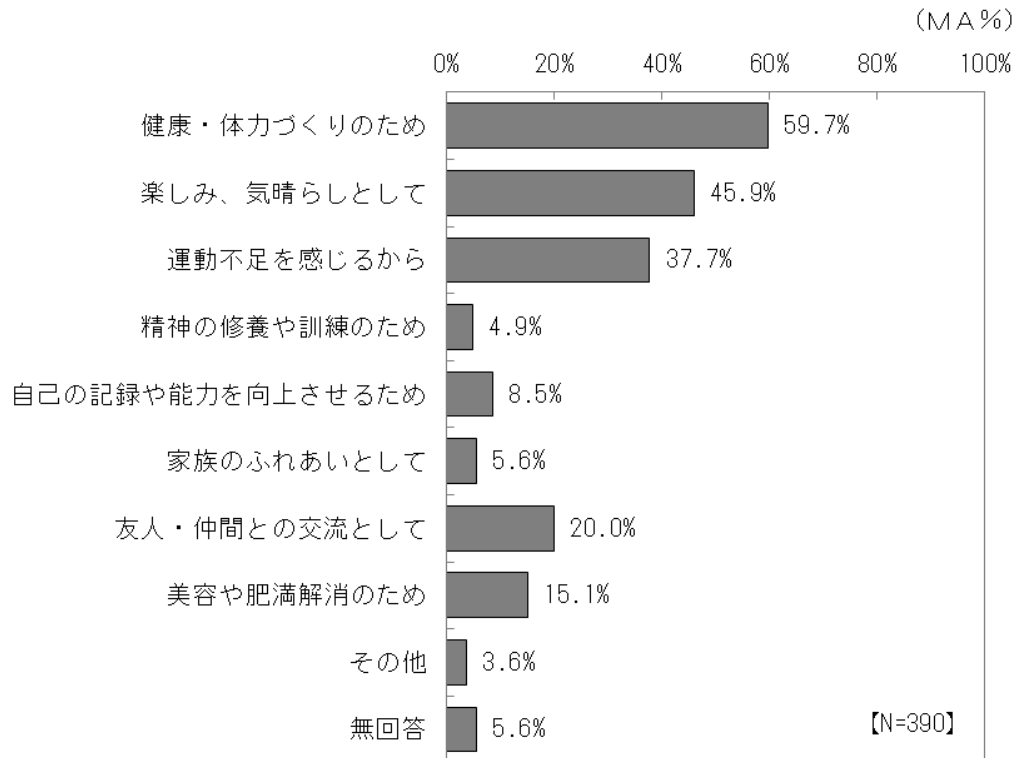


運動やスポーツを行う場所を、過去調査と比較すると、「公共スポーツ施設」「民間スポーツ施設」「学校」は徐々に減少し、「道路」「自宅・庭」が徐々に増加しています。

問6で「運動やスポーツを日常的にしている」、「運動やスポーツを時々している」と回答された方にお聞きします。

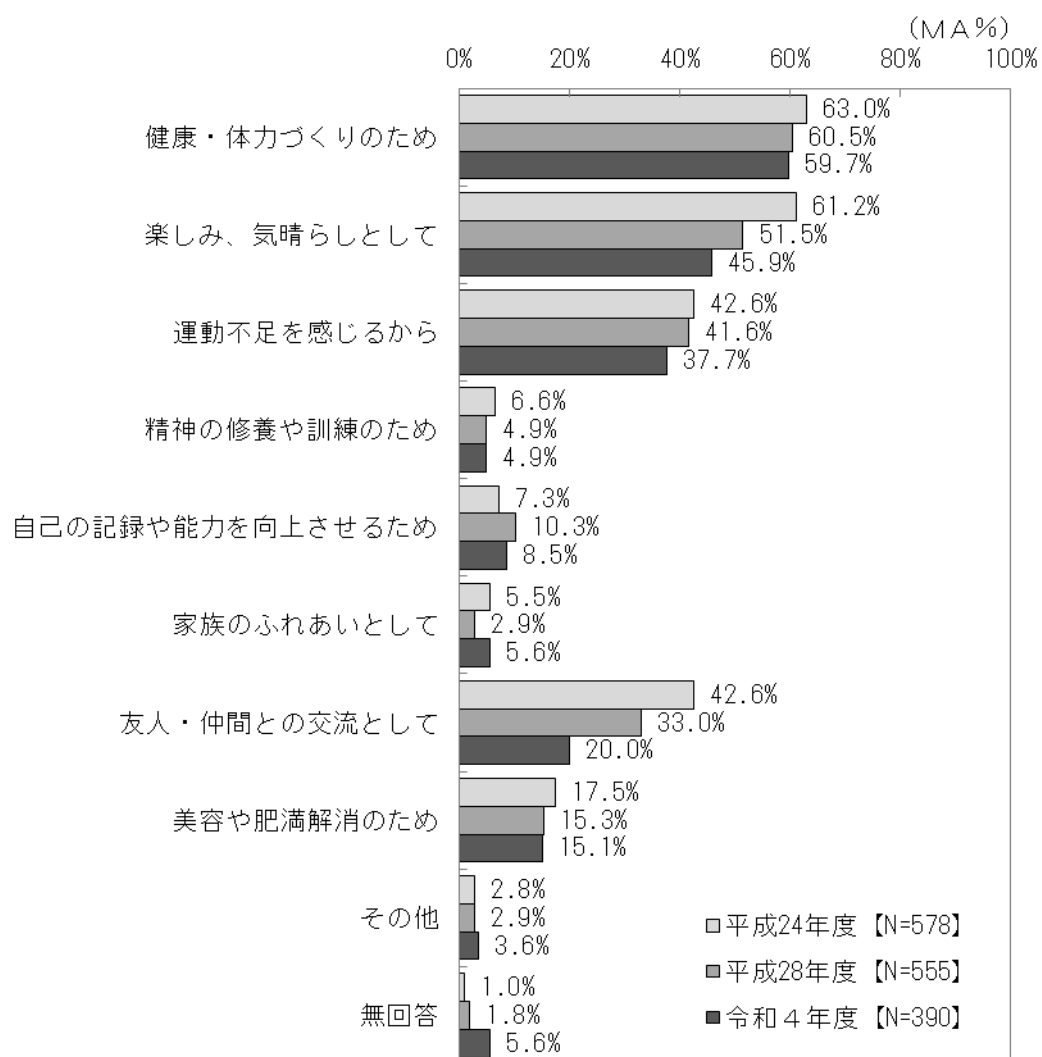
問8. あなたが運動やスポーツをされている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

《図 3-2-8 運動やスポーツをしている理由》



運動やスポーツをしている理由は、「健康・体力づくりのため」が59.7%と最も多く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が45.9%、「運動不足を感じるから」が37.7%などとなっています。

《図 3-2-9 運動やスポーツをしている理由／過去調査との比較》

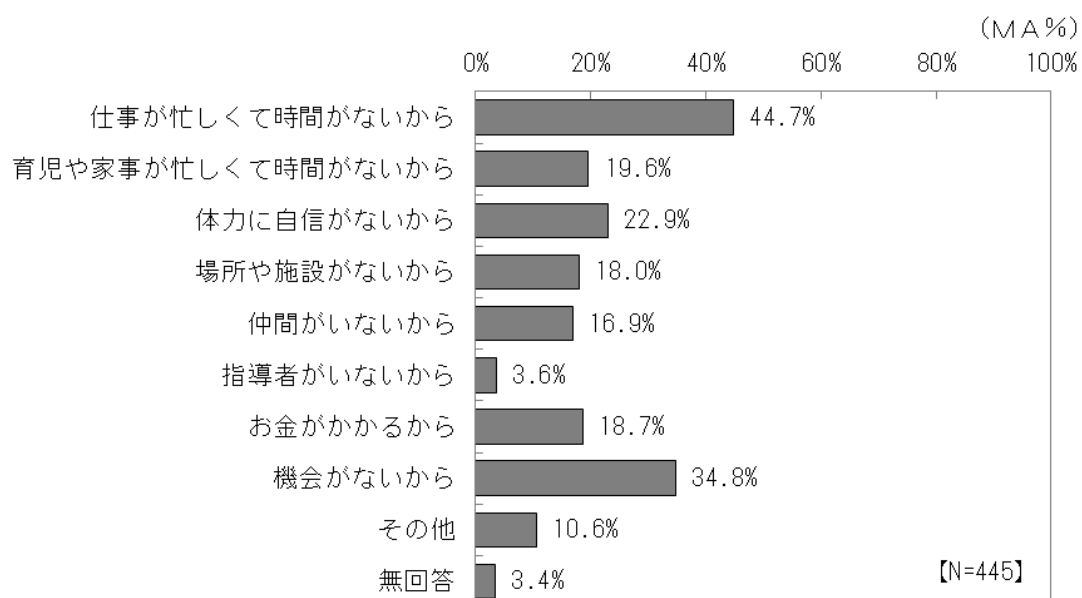


運動やスポーツをしている理由を、過去調査と比較すると、「友人・仲間との交流として」が平成24年度と比較して約半分になっています。

問6で「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」と回答された方にお聞きします。

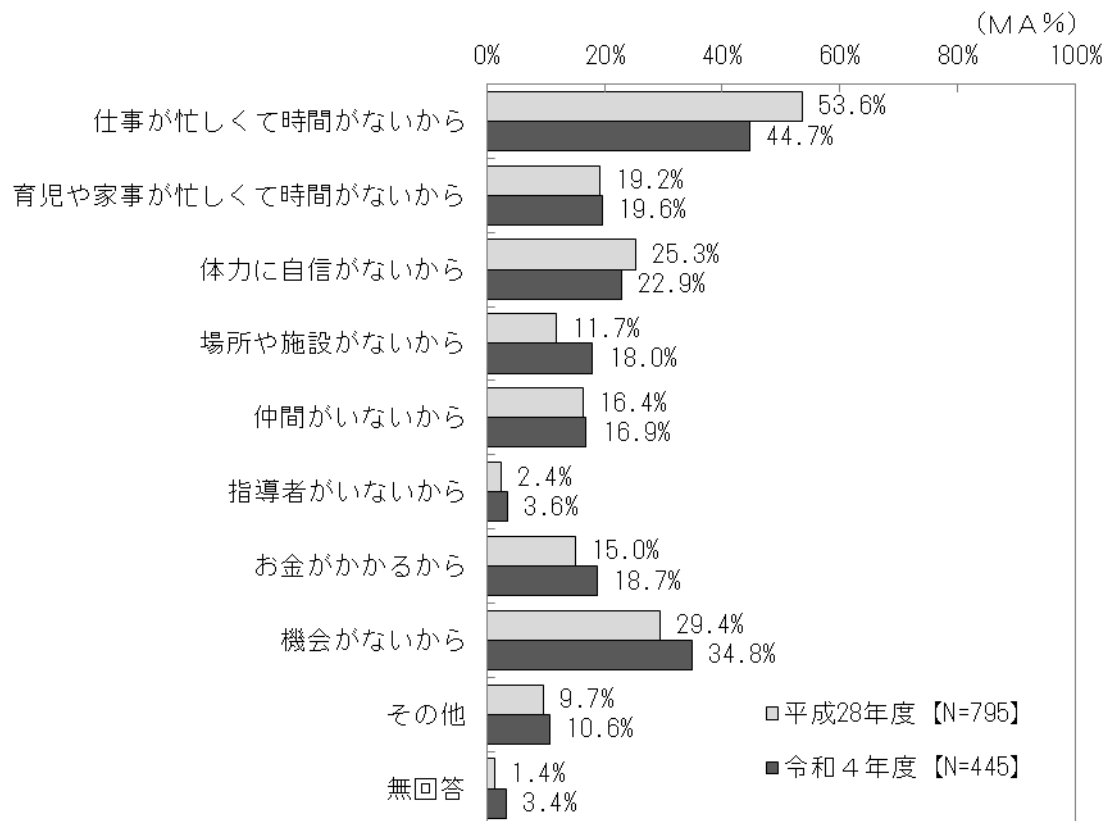
問9. その理由についてお聞かせください。（〇はいくつでも）

《図 3-2-10 運動やスポーツをしたいが、できない理由》



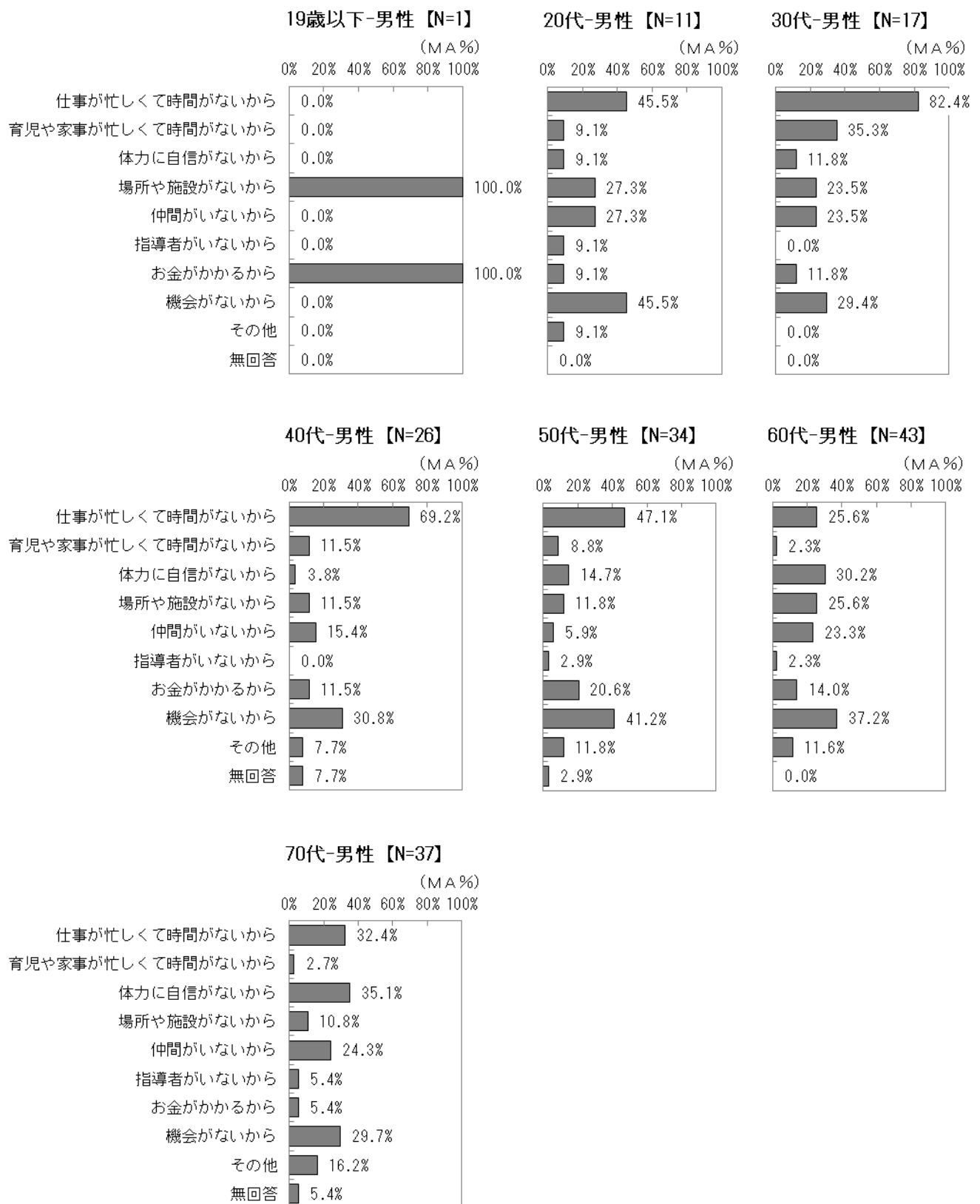
運動やスポーツをしたいが、できない理由は、「仕事が忙しくて時間がないから」が44.7%と最も多く、次いで「機会がないから」が34.8%、「体力に自信がないから」が22.9%などとなっています。

《図 3-2-11 運動やスポーツをしたいが、できない理由／過去調査との比較》



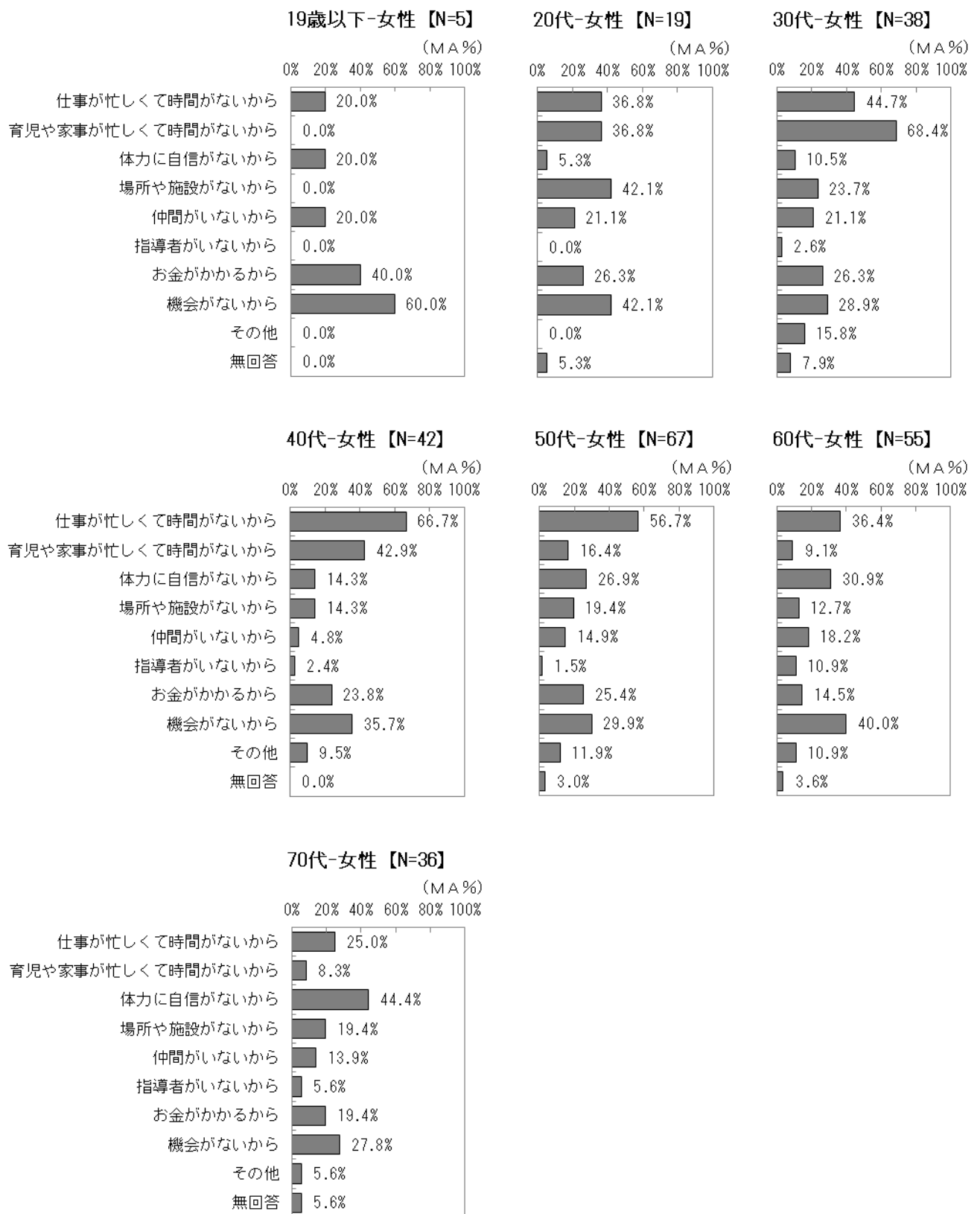
運動やスポーツをしたいが、できない理由を、過去調査と比較すると、最も多い項目の「仕事が忙しくて時間がないから」は減少し、次いで多い「機会がないから」は増加しています。

《図 3-2-12 運動やスポーツをしたいが、できない理由／男性・年代別》



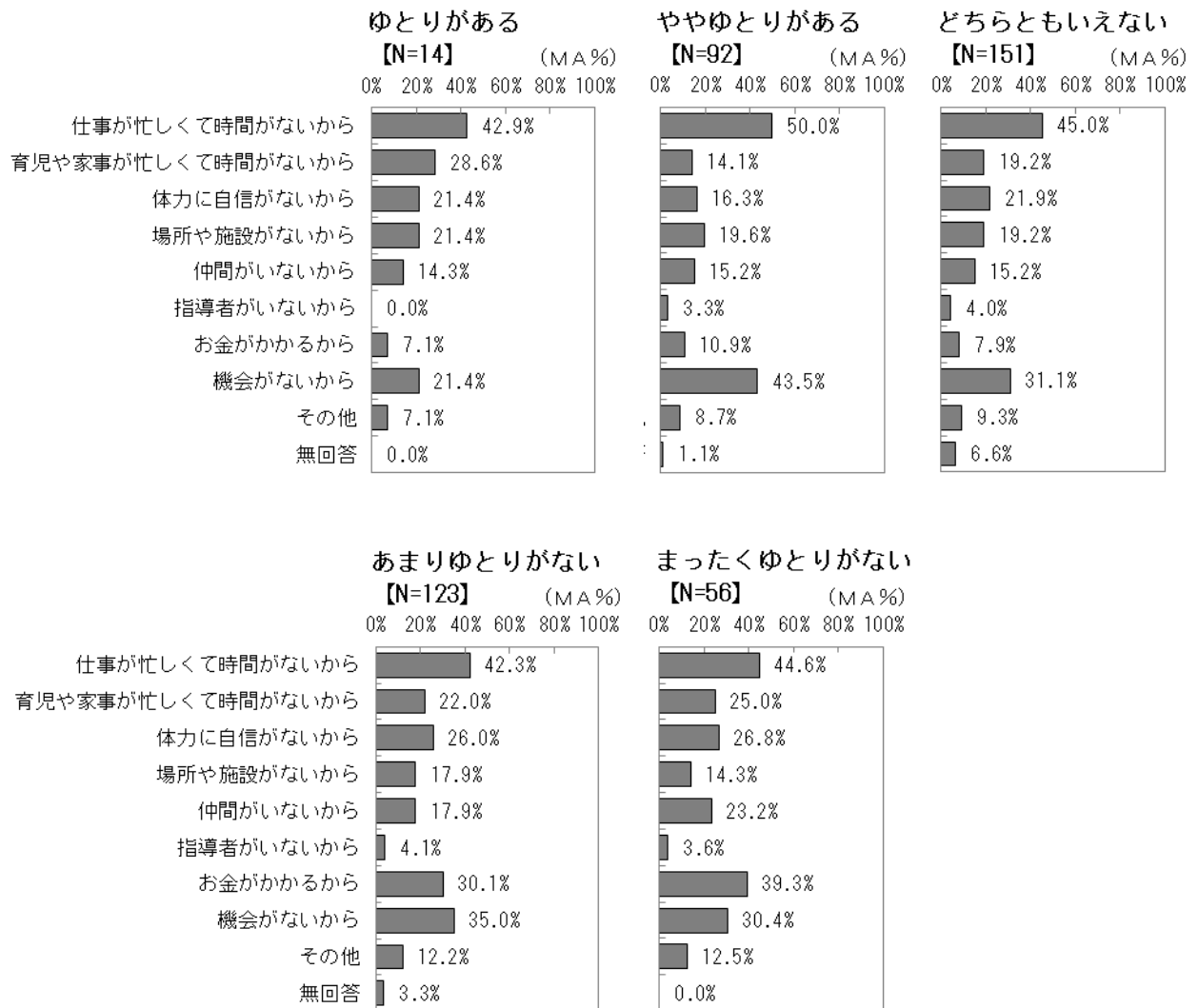
運動やスポーツをしたいが、できない理由を、男性について年代別にみると、30代と40代は「仕事が忙しくて時間がないから」が約7～8割と、他の回答項目を大きく上回り、最も多くなっています。

《図 3-2-13 運動やスポーツをしたいが、できない理由／女性・年代別》



運動やスポーツをしたいが、できない理由を、女性について年代別にみると、40代と50代は「仕事が忙しくて時間がないから」が約5~7割と多くなっています。30代は「育児や家事が忙しくて時間がないから」が約7割に上っています。

《図 3-2-14 運動やスポーツをしたいが、できない理由／暮らし向き別》

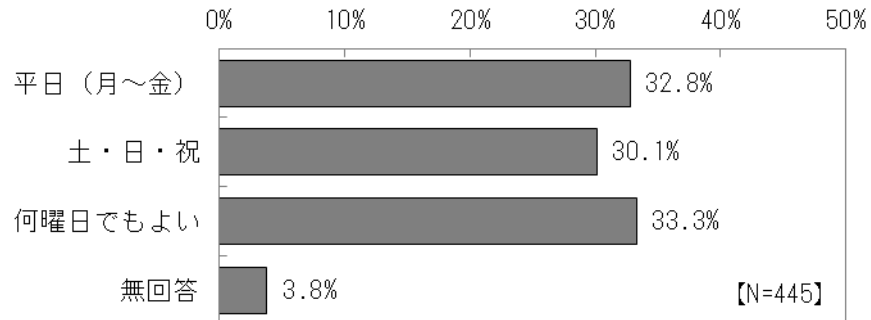


運動やスポーツをしたいが、できない理由を、暮らし向き別にみると、あまりゆとりがない人とまったくゆとりがない人はそれ以外の暮らし向きの人と同様に「仕事が忙しくて時間がないから」が最も多いものの、「お金がかかるから」の理由が3割を超えています。

問6で「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」と回答された方にお聞きします。

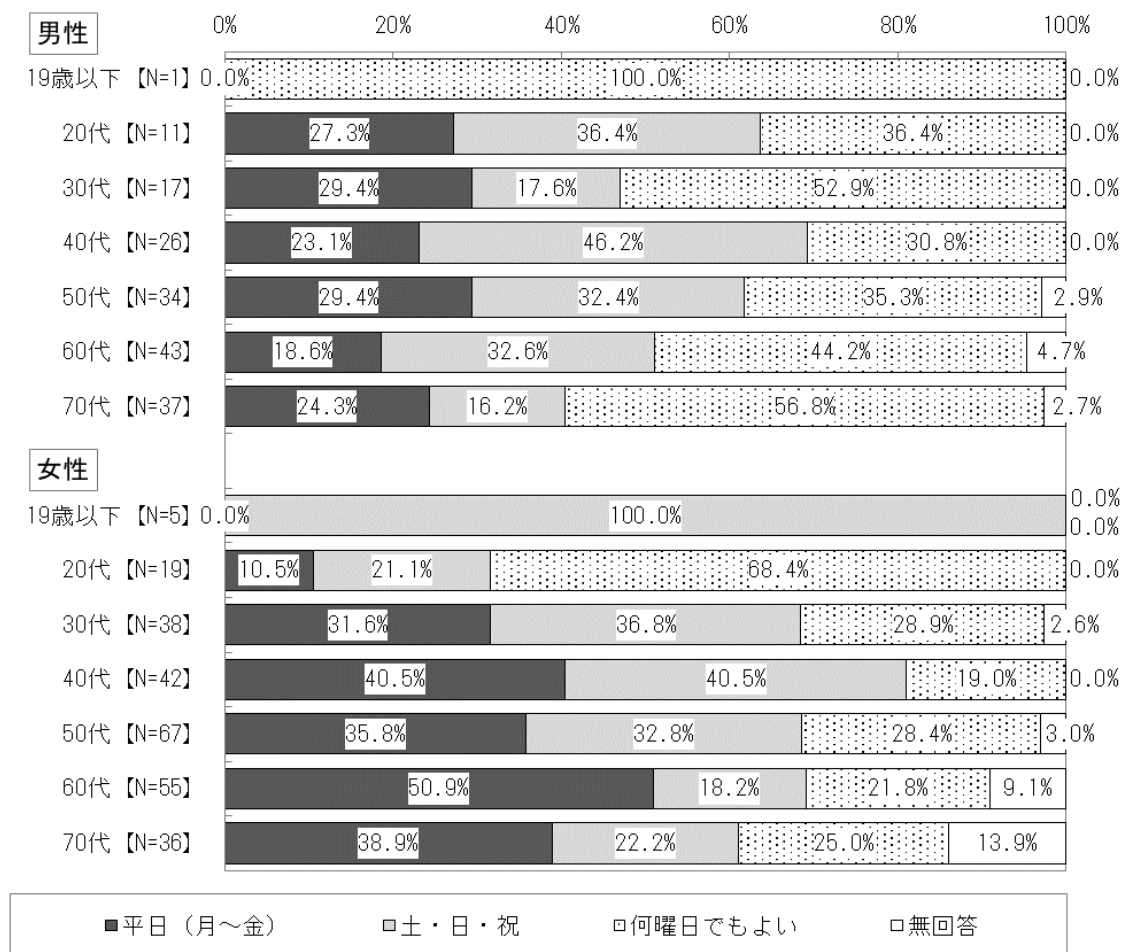
問 10. もし、運動やスポーツができる状況になった場合、運動やスポーツをしたい曜日や時間帯はありますか。（それぞれ1つに〇）

《図 3-2-15 運動やスポーツをしたい曜日》



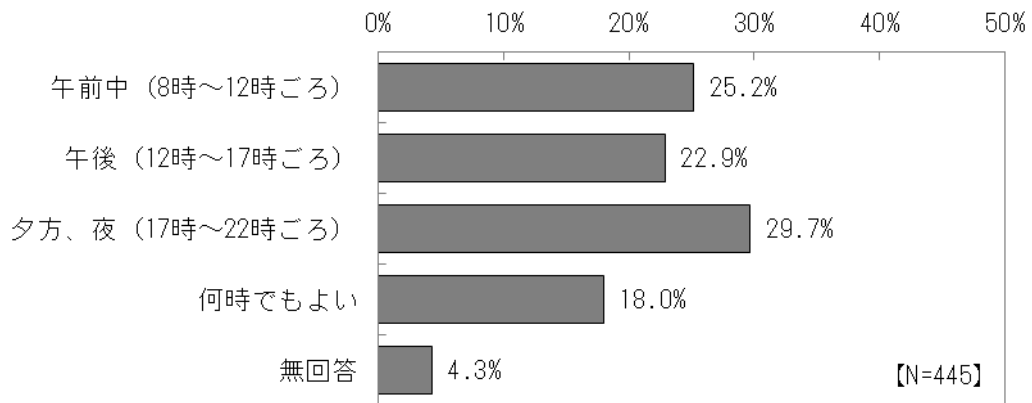
運動やスポーツをしたい曜日は、「何曜日でもよい」が33.3%と最も多く、次いで「平日（月～金）」が32.8%、「土・日・祝」が30.1%となっています。

《図 3-2-16 運動やスポーツをしたい曜日／性・年代別》



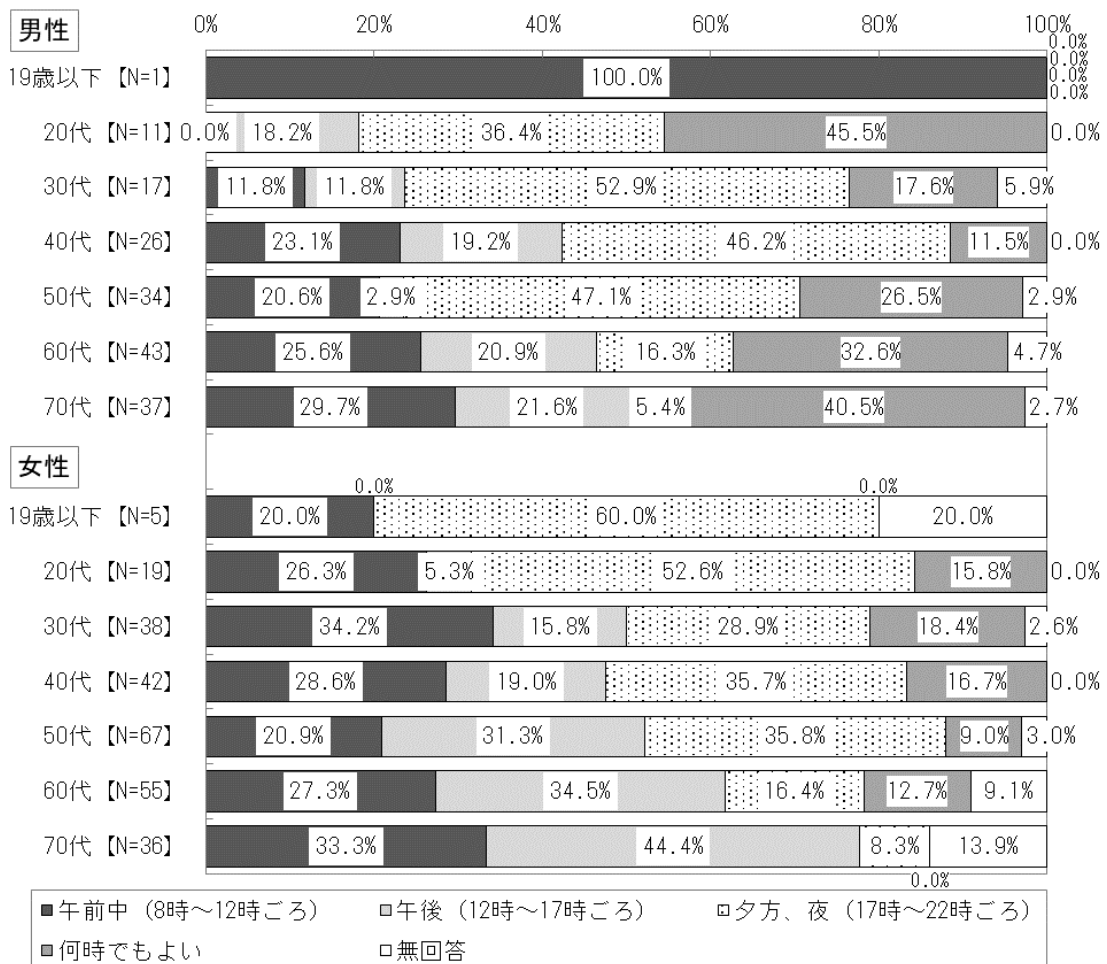
運動やスポーツをしたい曜日を、性・年代別にみると、30代、50代、60代、70代の男性は「何曜日でもよい」が最も多く、20代と男性は「土・日・祝」と「何曜日でもよい」が同程度、40代の男性は「土・日・祝」が最も多くなっています。女性は40代以上の年代で「平日（月～金）」が最も多くなっています。

《図 3-2-17 運動やスポーツをしたい時間》



運動やスポーツをしたい時間は、「夕方、夜 (17時~22時ごろ)」が29.7%と最も多く、次いで「午前中 (8時~12時ごろ)」が25.2%、「午後 (12時~17時ごろ)」が22.9%となっています。

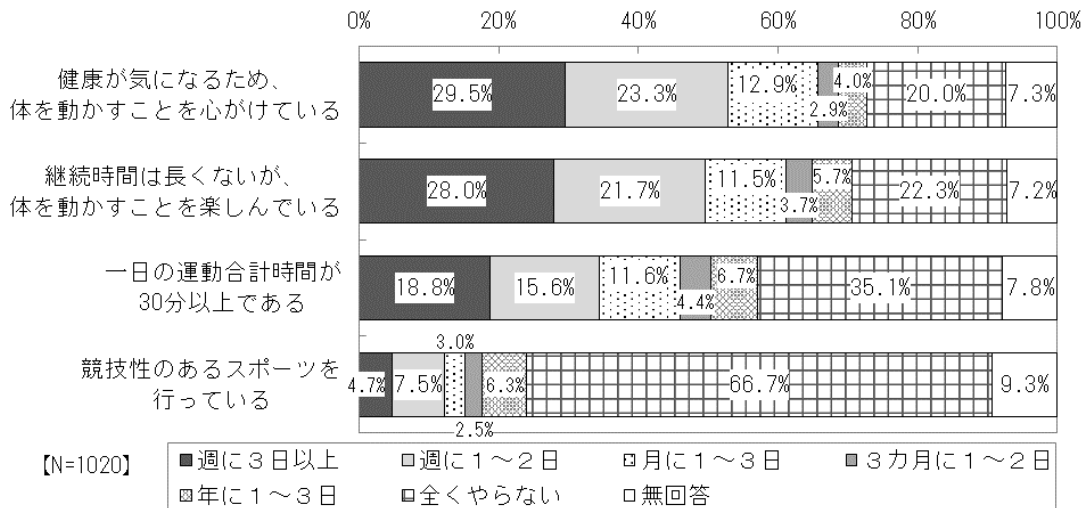
《図 3-2-18 運動やスポーツをしたい時間／性・年代別》



運動やスポーツをしたい時間を、性・年代別にみると、30代~50代の男性と20代以下と40代、50代の女性は「夕方、夜」が、30代女性は「午前中 (8時~12時ごろ)」が最も多くなっています。

問 11. あなたは普段、次のような運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っています（した）か。（それぞれ1つに○）

《図 3-2-19 運動やスポーツの頻度》



健康が気になるため、体を動かすことを心がけている頻度は、「週に3日以上」が29.5%と最も多くなっています。「週に3日以上」と「週に1~2日」を合わせた割合（『週に1日以上』）は52.8%となっています。

継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる頻度は、「週に3日以上」が28.0%と最も多くなっています。『週に1日以上』は49.7%となっています。

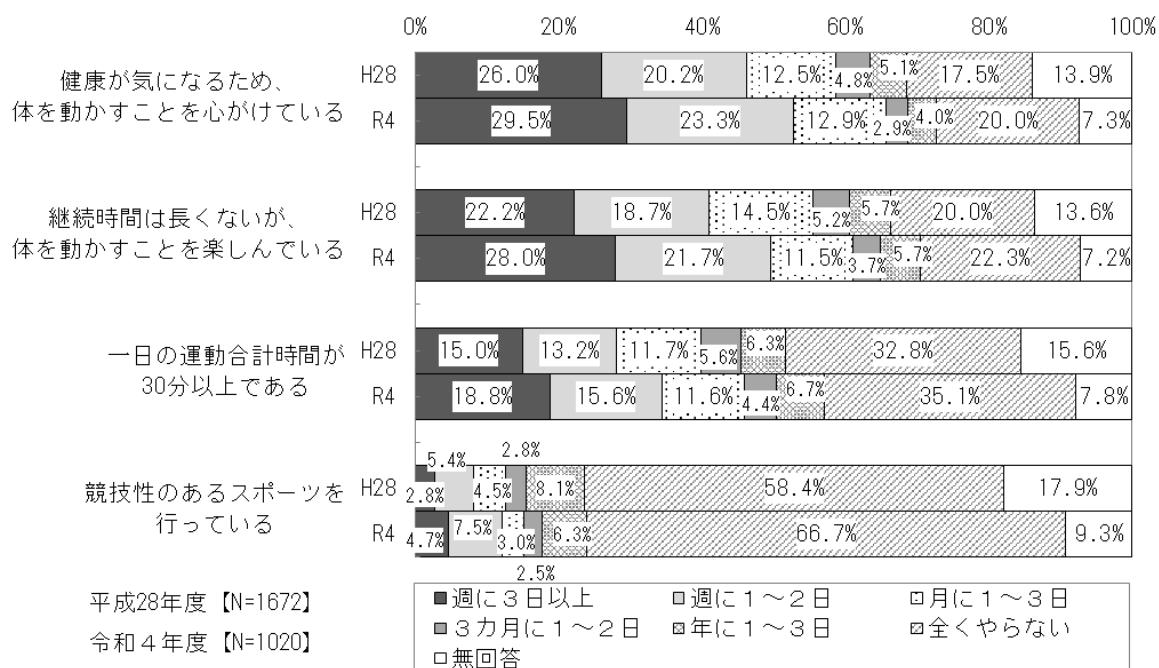
※全国の週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は56.4%、週3日以上は30.4%（令和3年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」）。

※京都府の週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は48.7%、週3日以上は24.7%（平成29年度「京都府民のスポーツに関する実態調査」）

一日の運動合計時間が30分以上である頻度は、「全くやらない」が35.1%と最も多くなっています。『週に1日以上』は34.4%となっています。

競技性のあるスポーツを行っている頻度は、「全くやらない」が66.7%と最も多くなっています。『週に1日以上』は12.2%となっています。

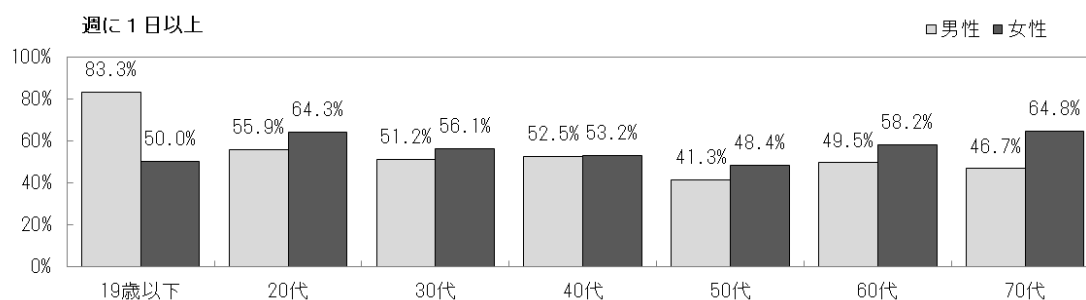
《図 3-2-20 運動やスポーツの頻度／過去調査との比較》



運動やスポーツの頻度を、過去調査と比較すると、いずれも運動やスポーツの頻度がおおむね増加しています。

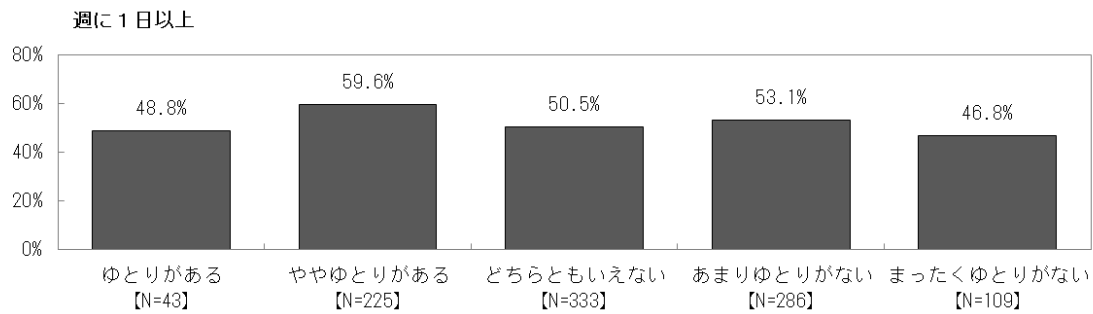
「健康が気になるため、体を動かすことを心がけている」の詳細

《図 3-2-21 健康が気になるため、体を動かすことを心がけていることが『週に1日以上』の割合／性・年代別》



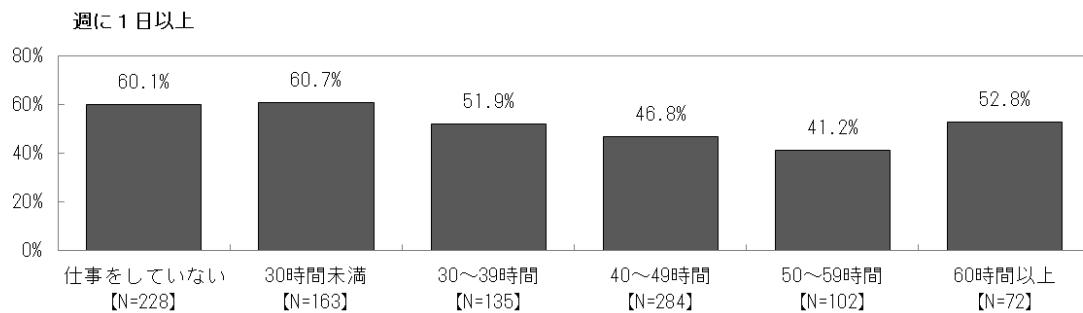
健康が気になるため、体を動かすことを心がけていることが『週に1日以上』の割合を、性・年代別にみると、19歳以下の年代を除きすべての年代で男性より女性の割合が多くなっています。『週に1日以上』の割合が最も少ない年代は、男性が50代（41.3%）、女性も50代（48.4%）となっています。

《図 3-2-22 健康が気になるため、体を動かすことを心がけていることが『週に1日以上』の割合／暮らし向き別》



健康が気になるため、体を動かすことを心がけていることが『週に1日以上』の割合を、暮らし向き別にみると、「まったくゆとりがない」人が、最も割合が少なくなっています。

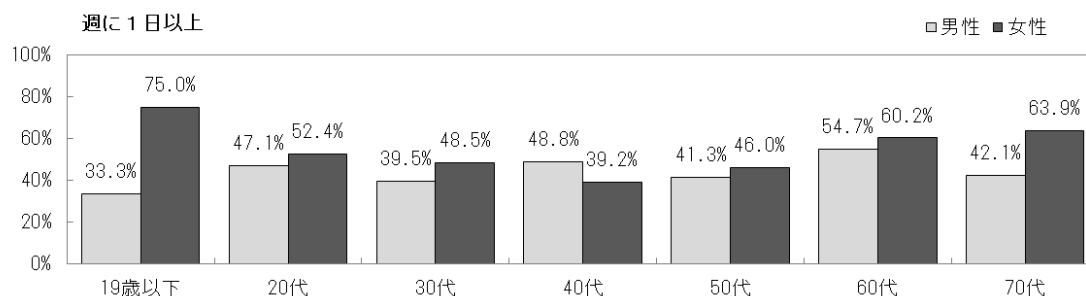
《図 3-2-23 健康が気になるため、体を動かすことを心がけていることが『週に1日以上』の割合／就業時間別》



健康が気になるため、体を動かすことを心がけていることが『週に1日以上』の割合を、就業時間別にみると、おおむね就業時間の短い人が割合が多くなっています。

「継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる」の詳細

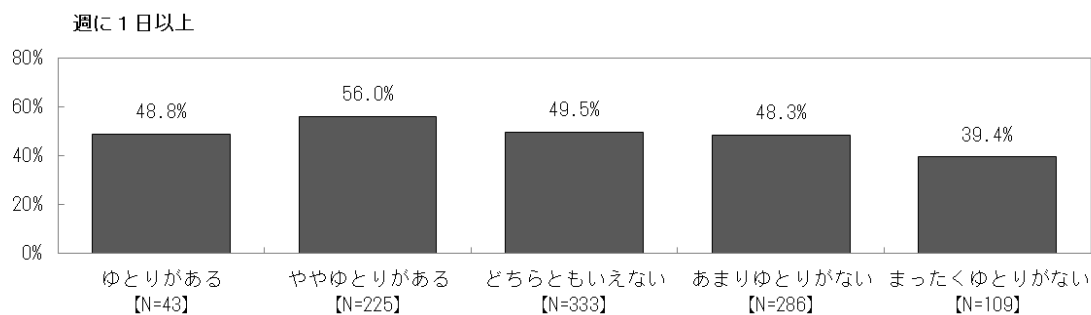
《図 3-2-24 継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいることが『週に 1 日以上』の割合／性・年代別》



継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいることが『週に 1 日以上』の割合を、性・年代別にみると、40代のみ男性より女性の割合が少なくなっています。その他の年代では女性より男性の割合が少なくなっています。

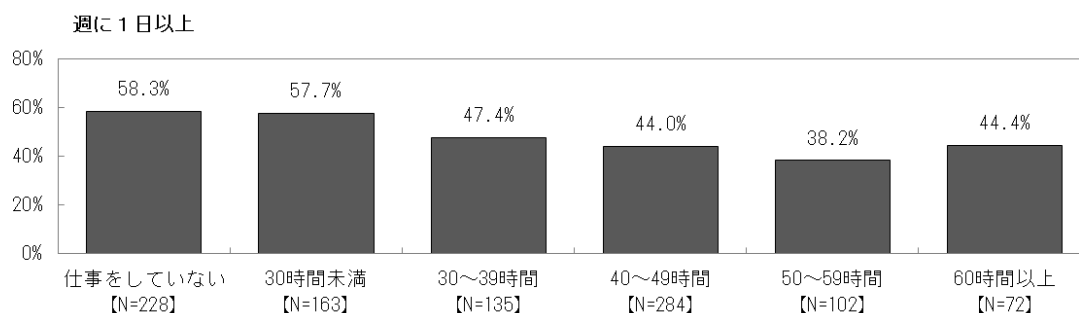
『週に 1 日以上』の割合が最も少ない年代は、男性は 19 歳以下（33.3%）、女性は 40 代（39.2%）となっています。

《図 3-2-25 継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいることが『週に 1 日以上』の割合／暮らし向き別》



継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいることが『週に 1 日以上』の割合を、暮らし向き別にみると、まったくゆとりがない人は、割合が少なくなっています。

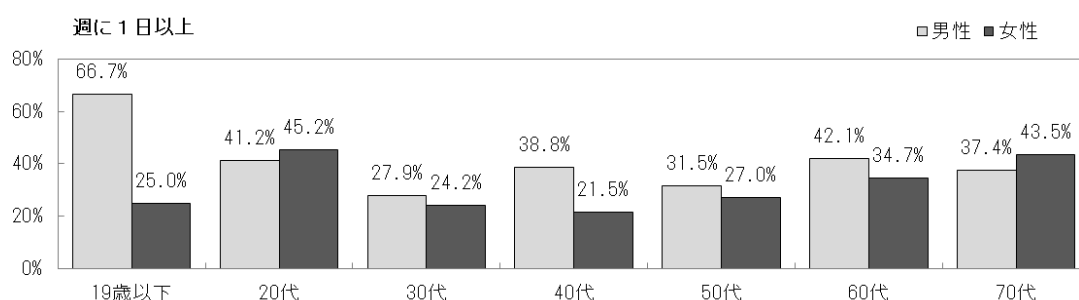
《図 3-2-26 継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいることが『週に1日以上』の割合／就業時間別》



継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいることが『週に1日以上』の割合を、就業時間別にみると、おおむね就業時間の長い人は、割合が少なくなっています。

「一日の運動合計時間が30分以上である」の詳細

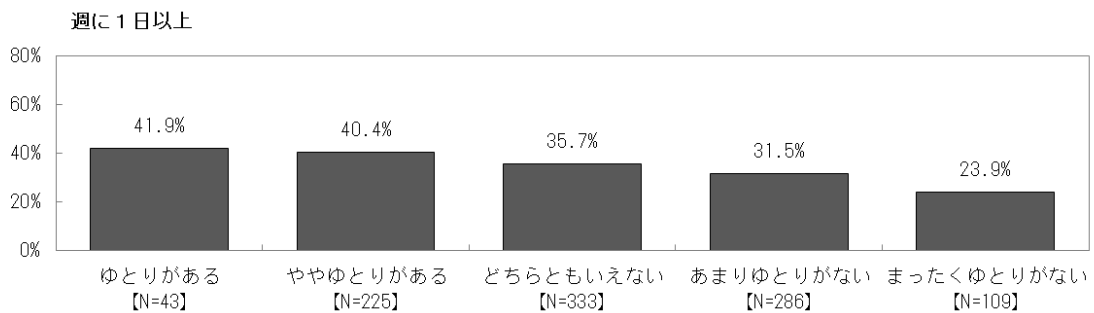
《図 3-2-27 一日の運動合計時間が30分以上であることが『週1日以上』の割合／性・年代別》



一日の運動合計時間が30分以上であることが『週に1日以上』の割合を、性・年代別にみると、20代と70代では女性より男性の割合が少なくなっていますが、それ以外の年代では男性より女性の割合が少なくなっています。

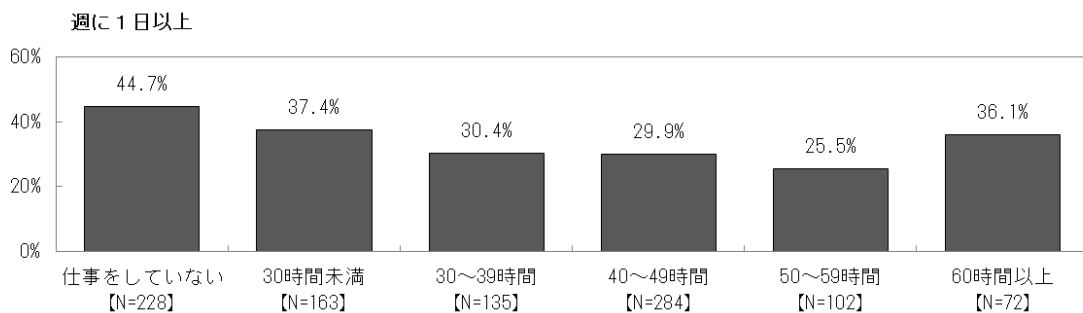
『週に1日以上』の割合が最も少ない年代は、男性は30代(27.9%)、女性は40代(21.5%)となっています。

◀図 3-2-28 一日の運動合計時間が 30 分以上であることが『週に 1 日以上』の割合／暮らし向き別▶



一日の運動合計時間が 30 分以上であることが『週に 1 日以上』の割合を、暮らし向き別にみると、暮らし向きがよくない人ほど、割合が少なくなっています。

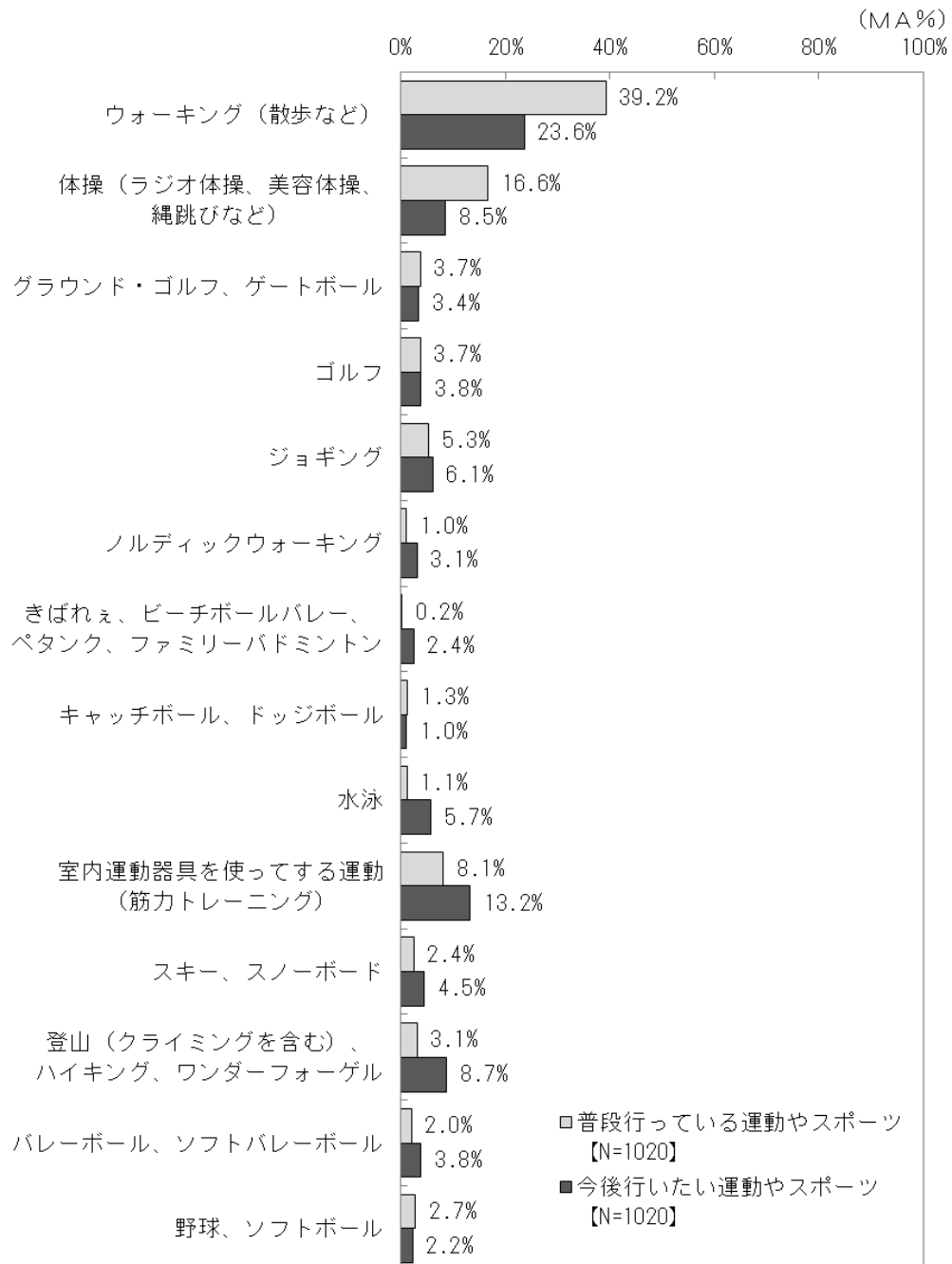
◀図 3-2-29 一日の運動合計時間が 30 分以上であることが『週に 1 日以上』の割合／就業時間別▶

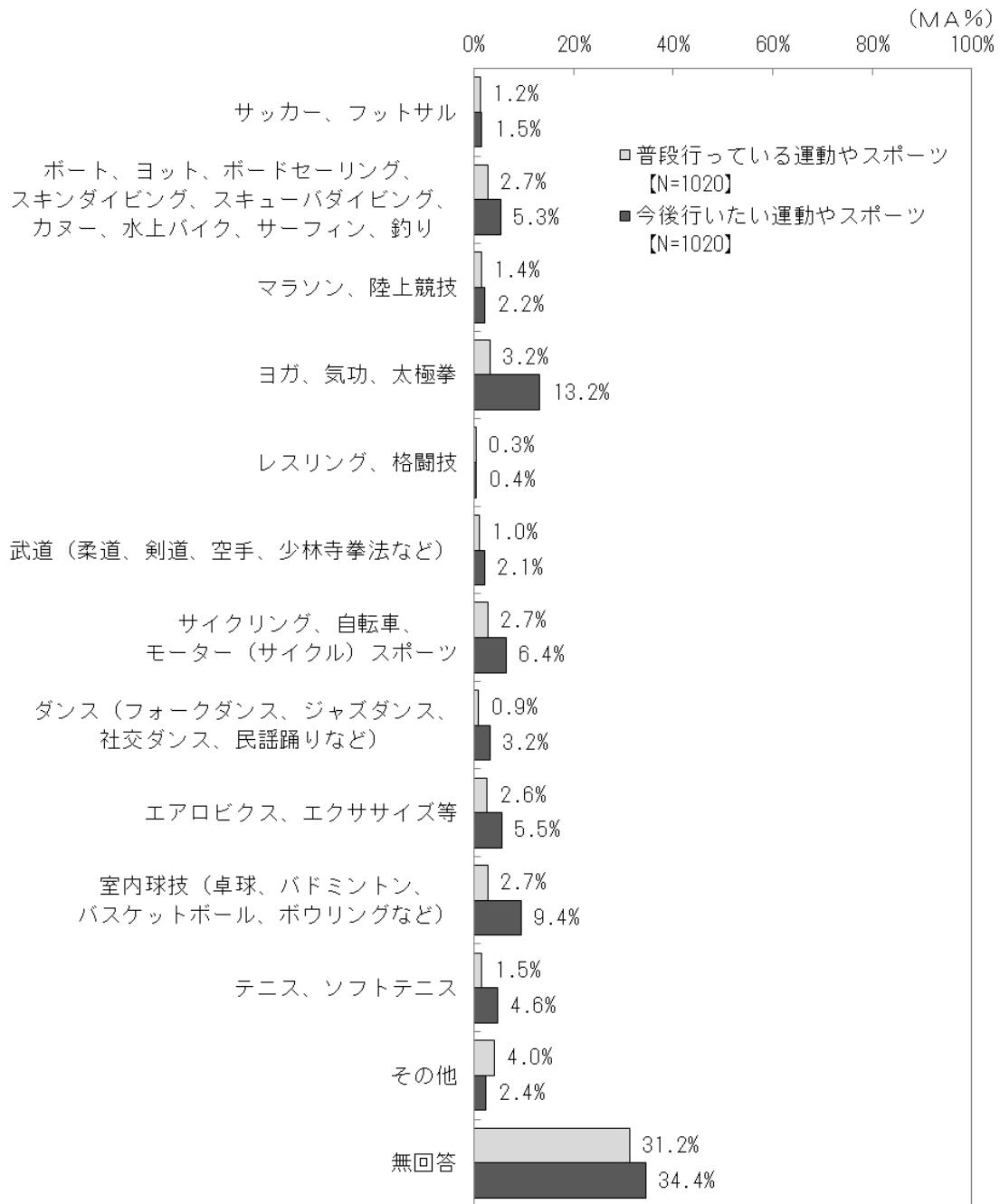


一日の運動合計時間が 30 分以上であることが『週に 1 日以上』の割合を、就業時間別にみると、50～59 時間の就業時間の人が、最も割合が少なくなっています。

問 12. あなたは、普段行っている運動やスポーツは具体的にどのようなものですか。また、今後行いたい運動やスポーツがありましたら以下の選択肢からお選びください。(〇はいいくつでも)

《図 3-2-30 普段行っている運動やスポーツおよび今後行いたい運動やスポーツ》



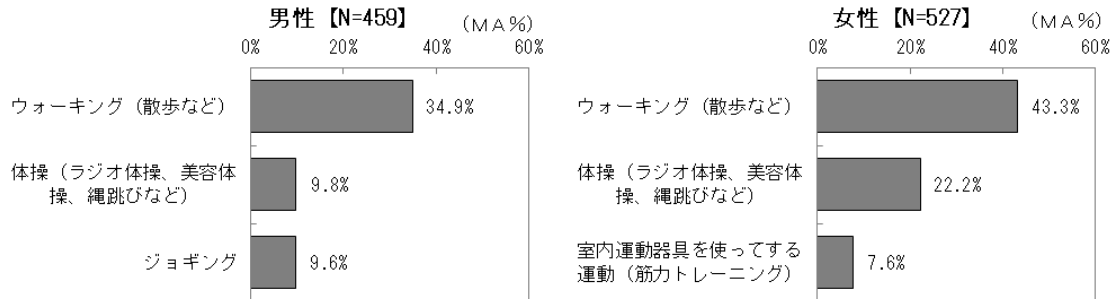


普段行っている運動やスポーツは、「ウォーキング」が39.2%と最も多く、次いで「体操」が16.6%、「室内運動器具を使ってする運動（筋力トレーニング）」が8.1%などとなっています。

今後行いたい運動やスポーツは、「ウォーキング」が23.6%と最も多く、次いで「ヨガ、気功、太極拳」と「室内運動器具を使ってする運動」が13.2%などとなっています。

普段行っている運動やスポーツの詳細

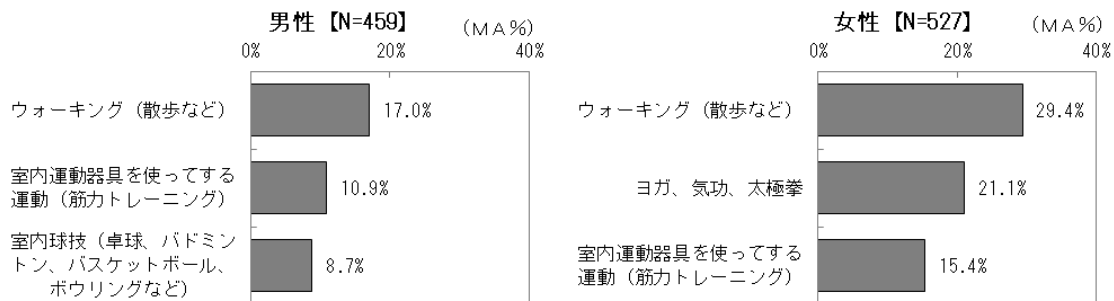
《図 3-2-31 普段行っている運動やスポーツ（上位 3 つ）／性別》



この1年間で行った運動やスポーツの上位3つを、性別にみると、男女ともに「ウォーキング」が1位となっています。

今後行いたい運動やスポーツの詳細

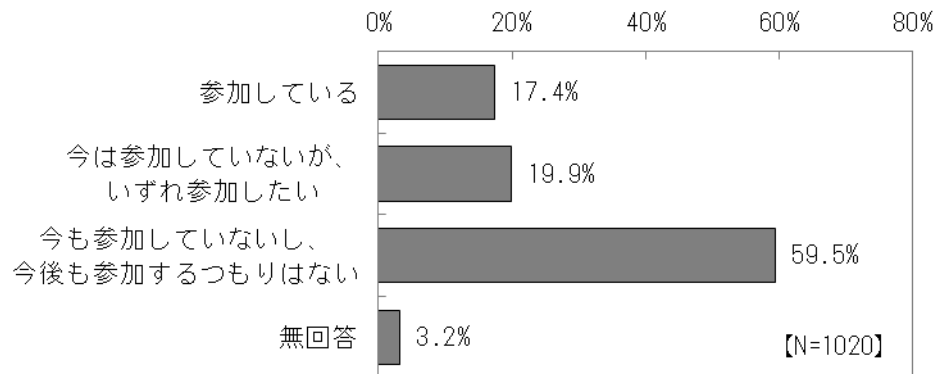
《図 3-2-32 今後行いたい運動やスポーツ（上位 3 つ）／性別》



今後行いたい運動やスポーツの上位3つを、性別にみると、男女ともに「ウォーキング」が1位となっています。男性の2位は「室内運動器具を使ってする運動(筋力トレーニング)」、3位は「室内競技(卓球、バドミントン、バスケットボール、ボウリングなど)」、女性の2位は「ヨガ、気功、太極拳」、3位は「室内運動器具を使ってする運動」となっています。

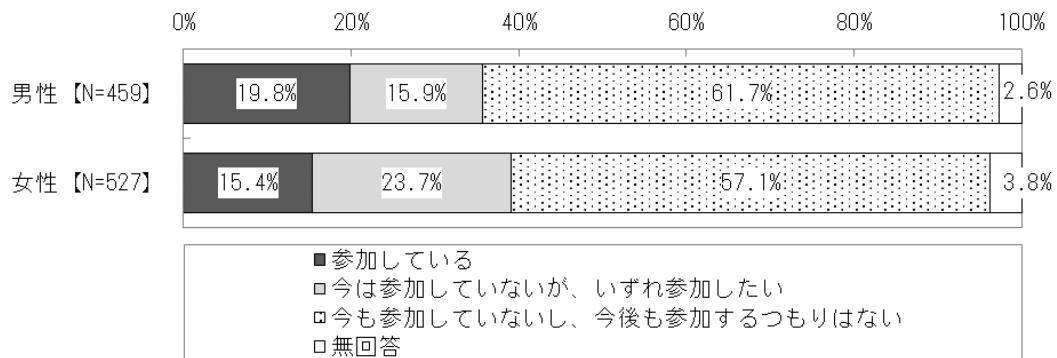
問 13. あなたは現在、スポーツクラブや同好会、サークルなどに参加していますか。
また、いずれ参加したいと思いますか。（1つに○）

《図 3-2-33 スポーツクラブなどへの参加状況》



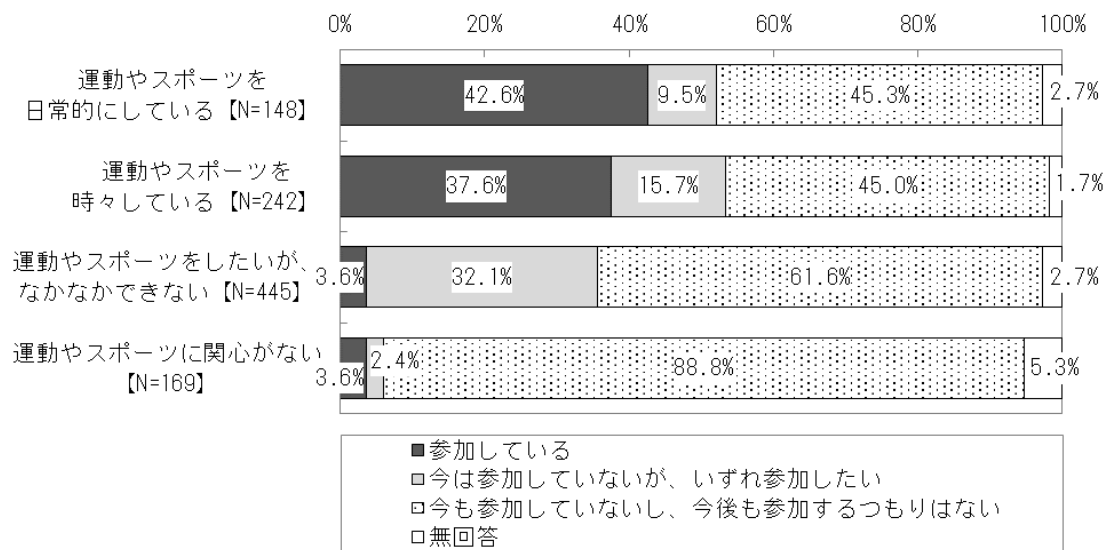
スポーツクラブなどへの参加状況は、「今も参加していないし、今後も参加するつもりはない」が 59.5%と最も多く、次いで「今は参加していないが、いずれ参加したい」が 19.9%、「参加している」が 17.4%となっています。

《図 3-2-34 スポーツクラブなどへの参加状況／性別》



スポーツクラブなどへの参加状況を、性別にみると、男性は女性より「参加している」が多くなっています。

《図 3-2-35 スポーツクラブなどへの参加状況／運動やスポーツの取り組み方（問 6）別》



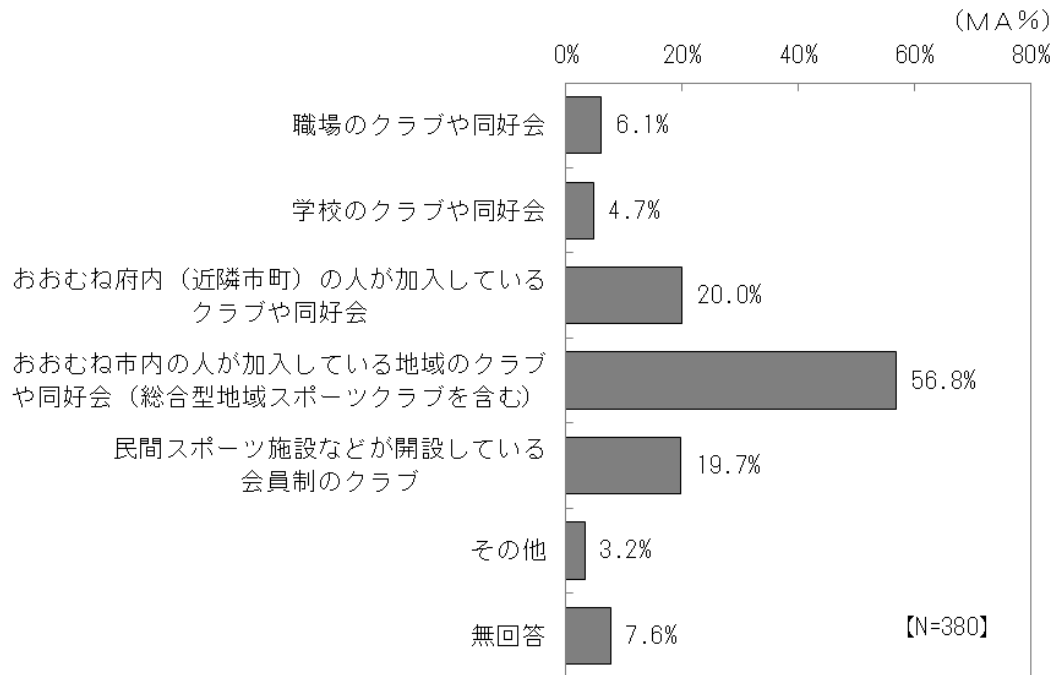
スポーツクラブなどへの参加状況を、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツを日常的にしている人と時々している人は「参加している」と「今は参加していないが、いずれ参加したい」を合わせると約5割と多くなっています。

運動やスポーツをしたいが、なかなかできない人は、「今も参加していないし、今後も参加するつもりはない」が半数を超えているものの、「今は参加していないが、いずれ参加したい」が32.1%となっています。

問 13 で「参加している」、「今は参加していないが、いずれ参加したい」と回答された方にお聞きします。

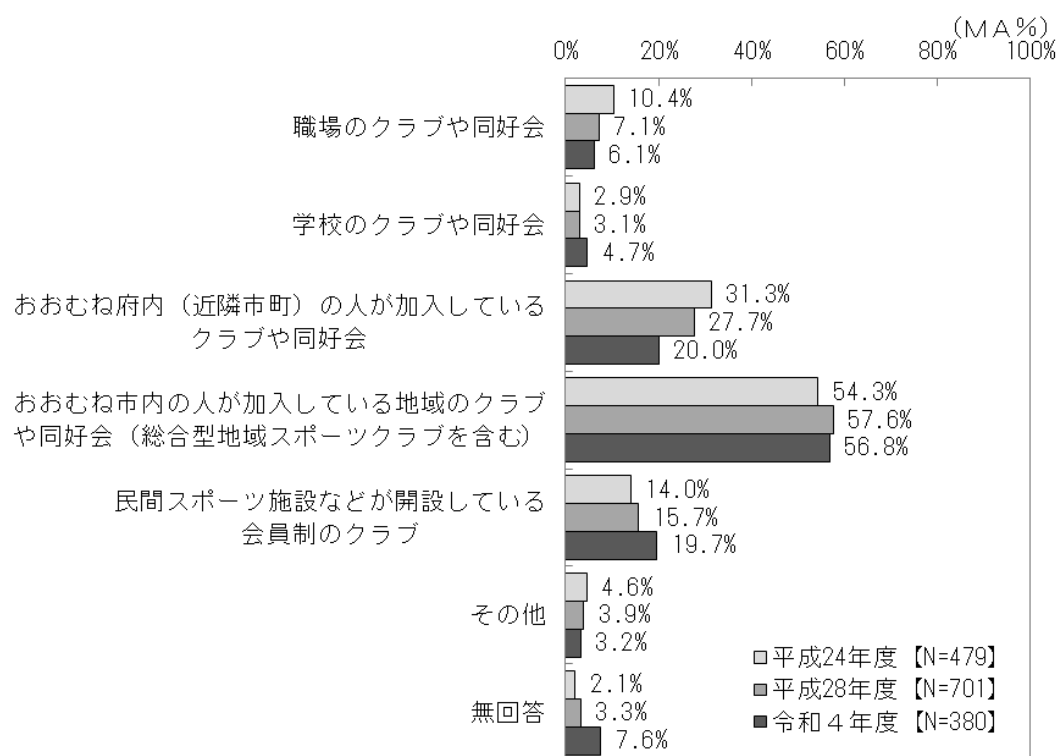
問 14. それはどのような団体ですか。また、どの様な団体に参加したいと思われますか。以下の中から該当する項目をお選びください。（〇はいくつでも）

《図 3-2-36 参加しているまたは参加したいスポーツクラブなど》



参加しているまたは参加したいスポーツクラブなどは、「おおむね市内の人が加入している地域のクラブや同好会」が 56.8%と最も多く、次いで「おおむね府内（近隣市町）の人が加入しているクラブや同好会」が 20.0%、「民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ」が 19.7%となっています。

《図 3-2-37 参加しているまたは参加したいスポーツクラブなど／過去調査との比較》

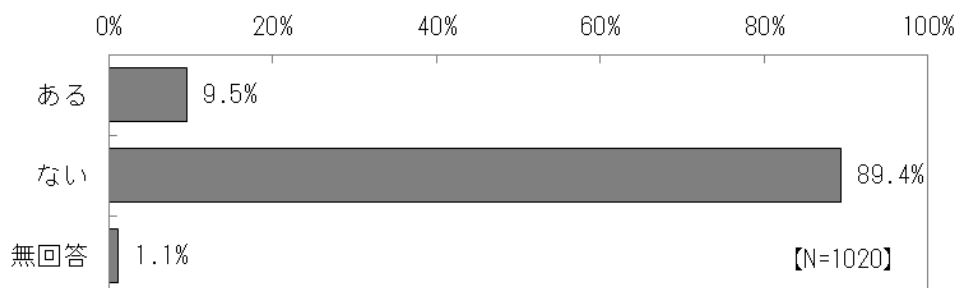


参加しているまたは参加したいスポーツクラブなどを、過去調査と比較すると、「職場のクラブや同好会」と「おおむね府内の人が加入しているクラブや同好会」がやや減少し、「学校のクラブや同好会」と「民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ」がやや増加しています。「おおむね市内の人が加入している地域のクラブや同好会」はほぼ横ばいです。

3 スポーツに関するボランティア活動について

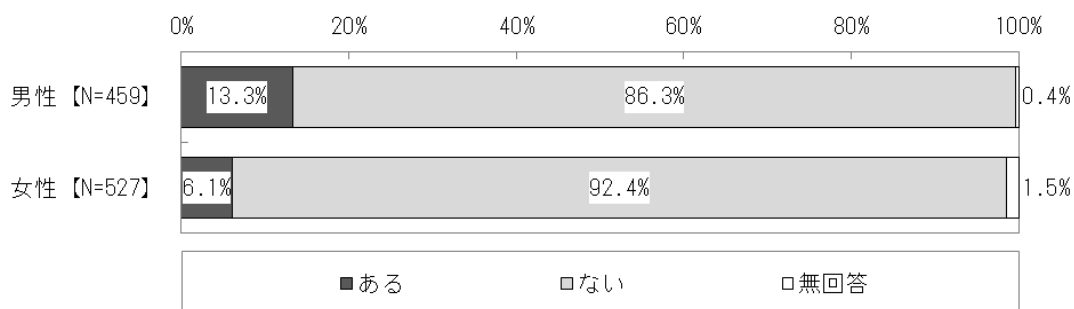
問 15. あなたはこの1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動に携わったことがありますか。(1つに〇)

《図 3-3-1 スポーツに関するボランティア活動への参加状況》



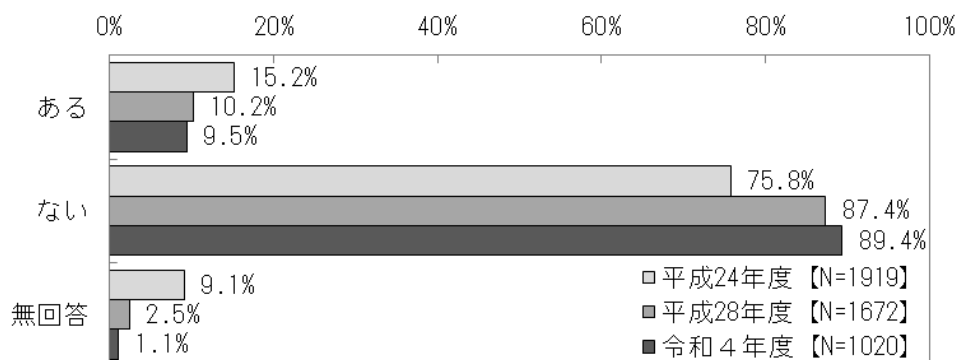
スポーツに関するボランティア活動への参加状況は、「ある」が9.5%、「ない」が89.4%となっています。

《図 3-3-2 スポーツに関するボランティア活動への参加状況/性別》



スポーツに関するボランティア活動への参加状況を、性別にみると、「ある」は男性が13.3%、女性が6.1%で、男性が女性をやや上回っています。

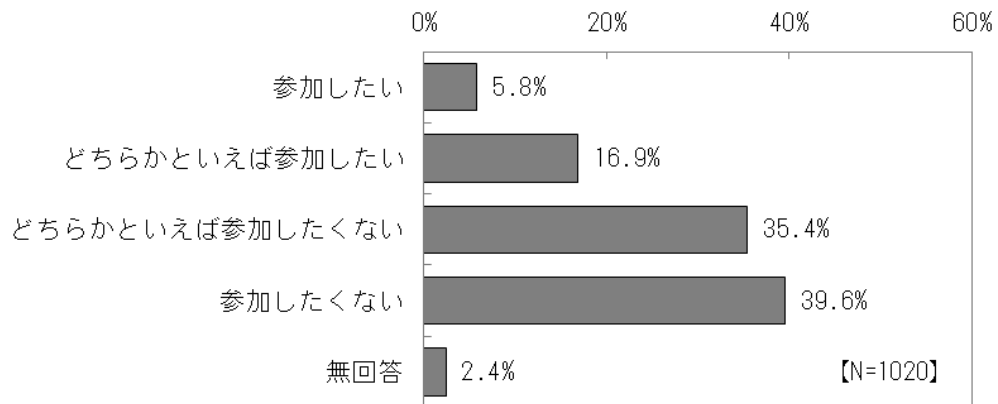
《図 3-3-3 スポーツに関するボランティア活動への参加状況/過去調査との比較》



スポーツに関するボランティア活動への参加状況を過去調査と比較すると、「ある」が徐々に減少しています。

問 16. 今後、スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思いますか。（1つに○）

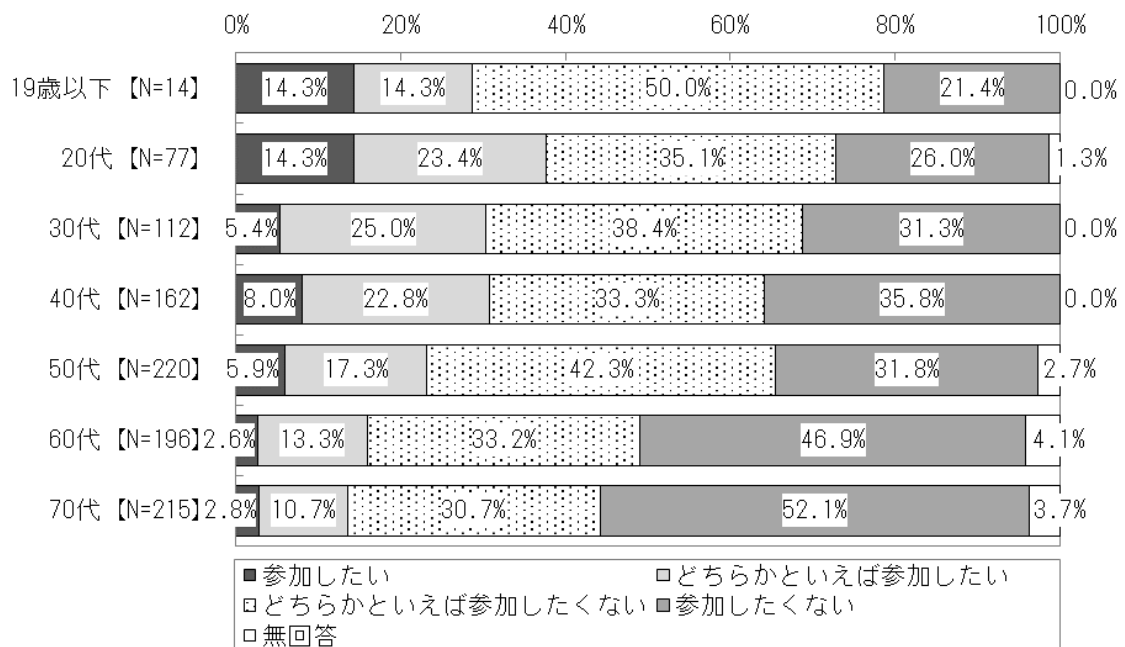
《図 3-3-4 スポーツに関するボランティア活動への参加意向》



スポーツに関するボランティア活動への参加意向は、「参加したくない」が39.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば参加したくない」が35.4%、「どちらかといえば参加したい」が16.9%、「参加したい」が5.8%となっています。

「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合（『参加したい』）は、22.7%となっています。

《図 3-3-5 スポーツに関するボランティア活動への参加意向／年代別》

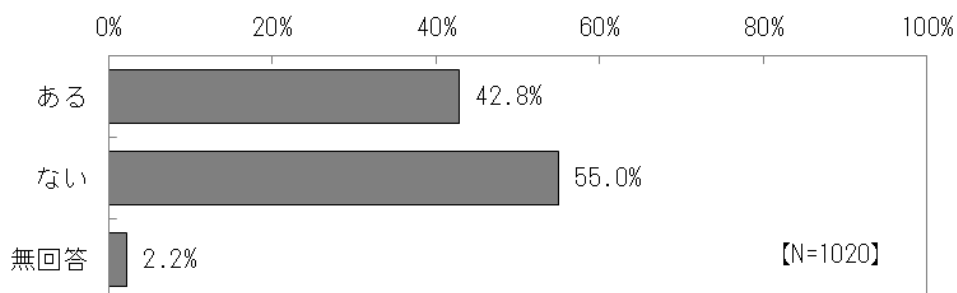


スポーツに関するボランティア活動への参加意向を、年代別にみると、『参加したい』は、おおむね年代が低いほど多く、20代は『参加したい』が37.7%と全年代で最も多くなっています。

4 京丹後市のスポーツ施策について

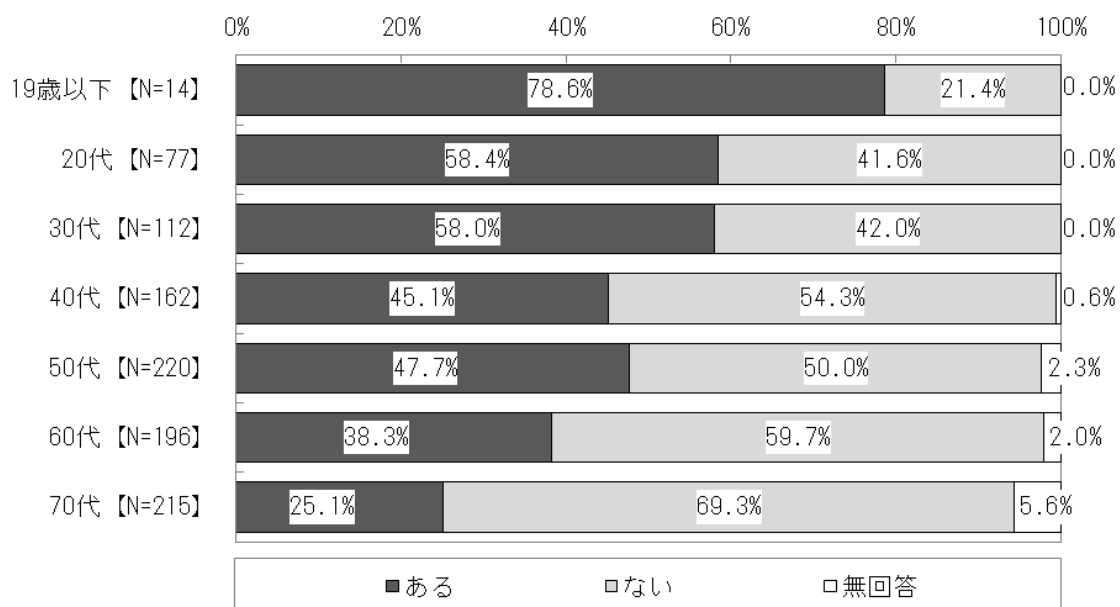
問 17. 京丹後市のスポーツ施設を利用したことがありますか。（1つに○）

《図 3-4-1 京丹後市のスポーツ施設の利用有無》



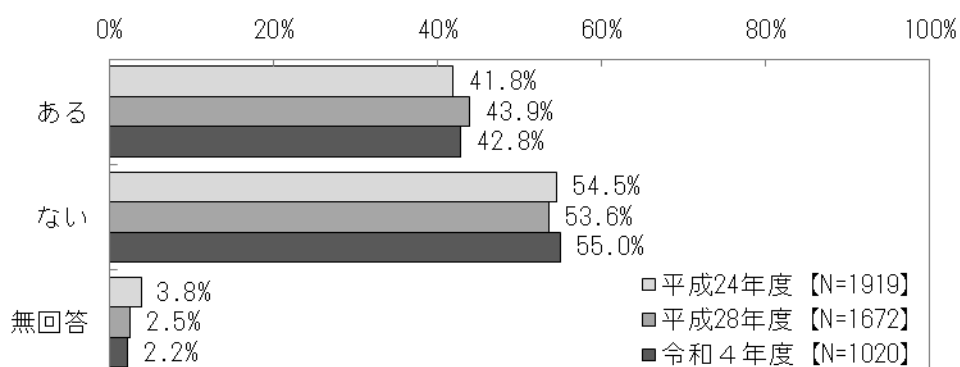
京丹後市のスポーツ施設の利用有無は、「ある」が42.8%、「ない」が55.0%となっています。

《図 3-4-2 京丹後市のスポーツ施設の利用有無／年代別》



京丹後市のスポーツ施設の利用有無を、年代別にみると、おおむね年代が低いほど「ある」が多くなっています。

《図 3-4-3 京丹後市のスポーツ施設の利用有無／過去調査との比較》

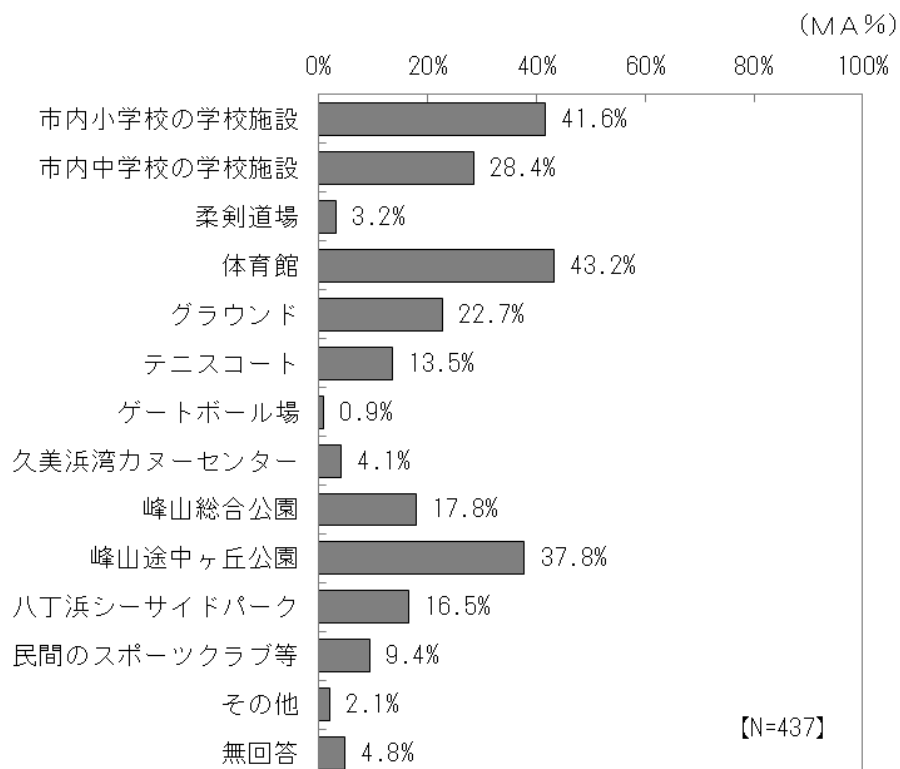


京丹後市のスポーツ施設の利用有無を、過去調査と比較すると、「ある」「ない」とともに大きな変動はありません。

問 17 で「ある」と回答された方にお聞きします。

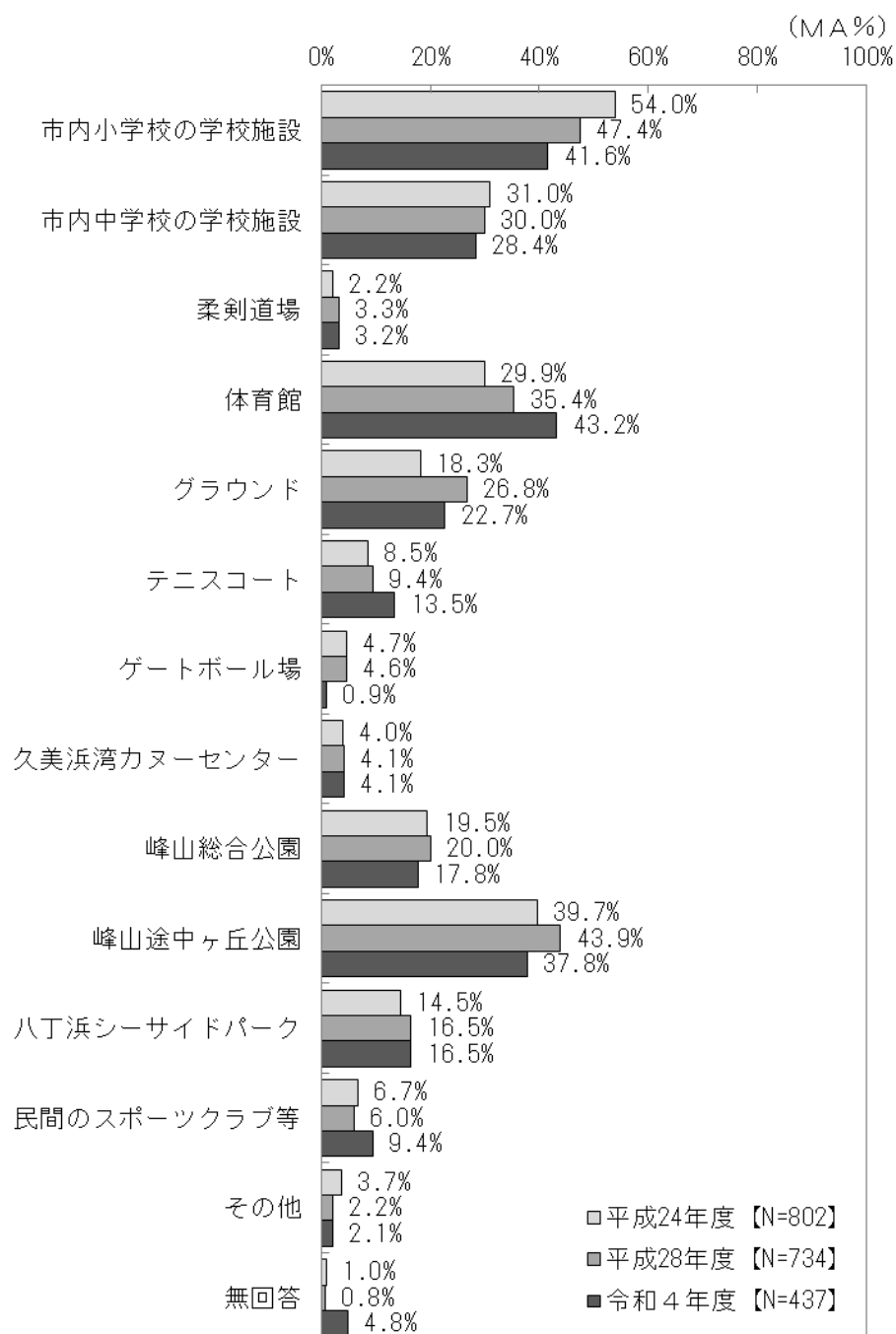
問 18. 使用したことのある施設・設備をお選びください。(〇はいくつでも)

《図 3-4-4 使用したことのある京丹後市の施設等》



使用したことのある京丹後市の施設等は、「体育館」が43.2%と最も多く、次いで「市内小学校の学校施設」が41.6%、「峰山途中ヶ丘公園」が37.8%となっています。

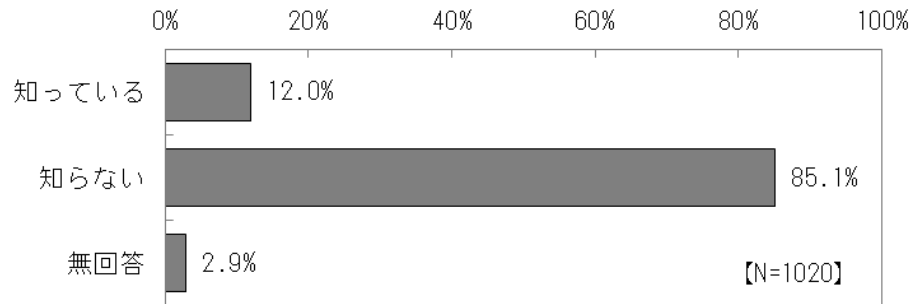
《図 3-4-5 使用したことがある京丹後市の施設等／過去調査との比較》



使用したことがある京丹後市の施設等を、過去調査と比較すると、主に「市内小学校の学校施設」「市内中学校の学校施設」が減少し、「体育館」「テニスコート」「民間のスポーツクラブ等」が増加しています。

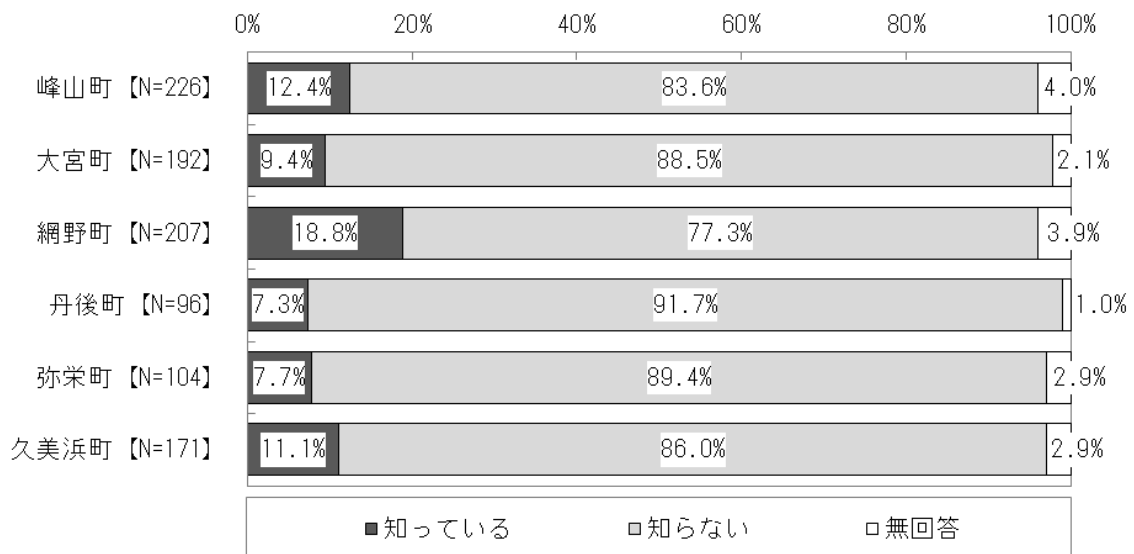
問 19. あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。（1つに○）

《図 3-4-6 総合型地域スポーツクラブの認知度》



総合型地域スポーツクラブの認知度は、「知っている」が12.0%、「知らない」が85.1%となっています。

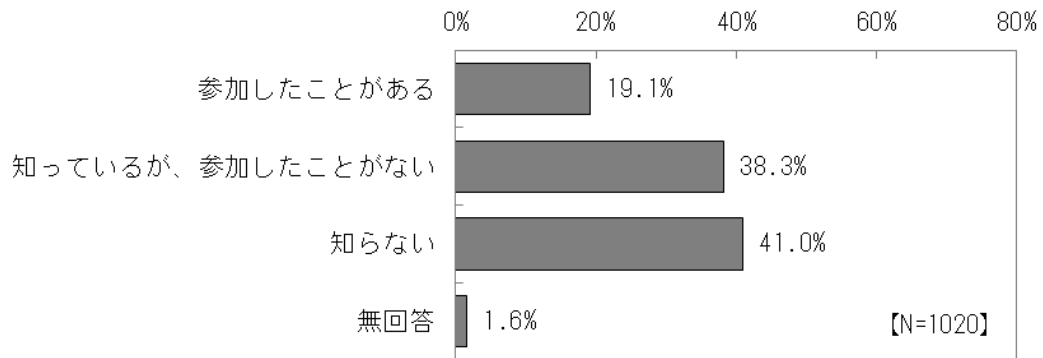
《図 3-4-7 総合型地域スポーツクラブの認知度／居住地域別》



総合型地域スポーツクラブの認知度を、居住地域別にみると、「知っている」は網野町で最も多くなっています。

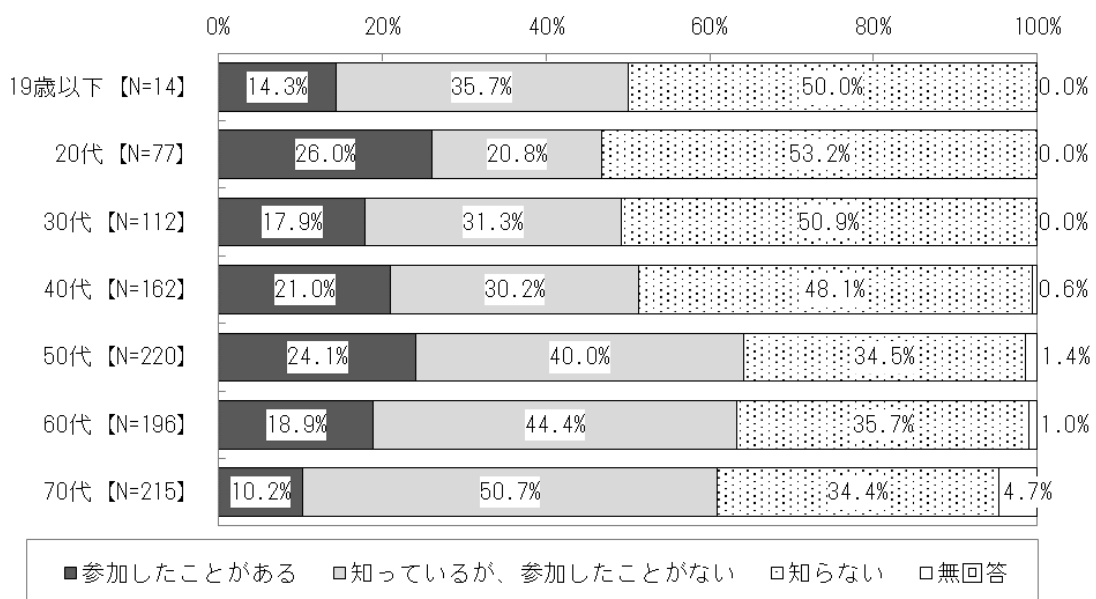
問 20. あなたは、京丹後市が主催しているスポーツイベントに参加したことがありますか。
(1つに〇)

《図 3-4-8 京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況》



京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況は、「知らない」が41.0%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことがない」が38.3%、「参加したことがある」が19.1%となっています。

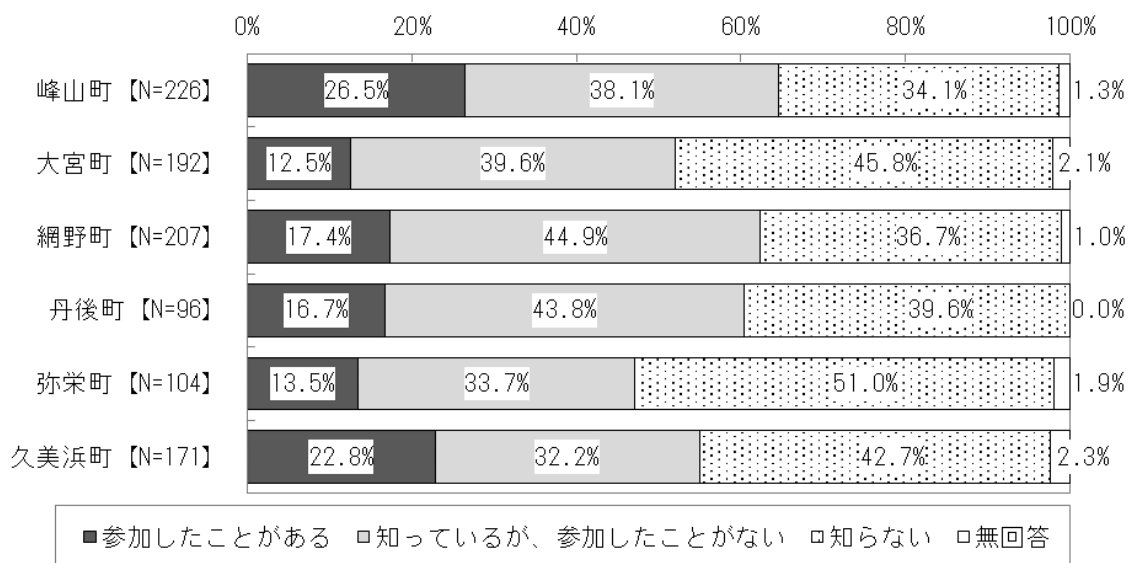
《図 3-4-9 京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況／年代別》



京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況を、年代別にみると、「参加したことがある」は20代が最も多く70代では1割程度となっています。

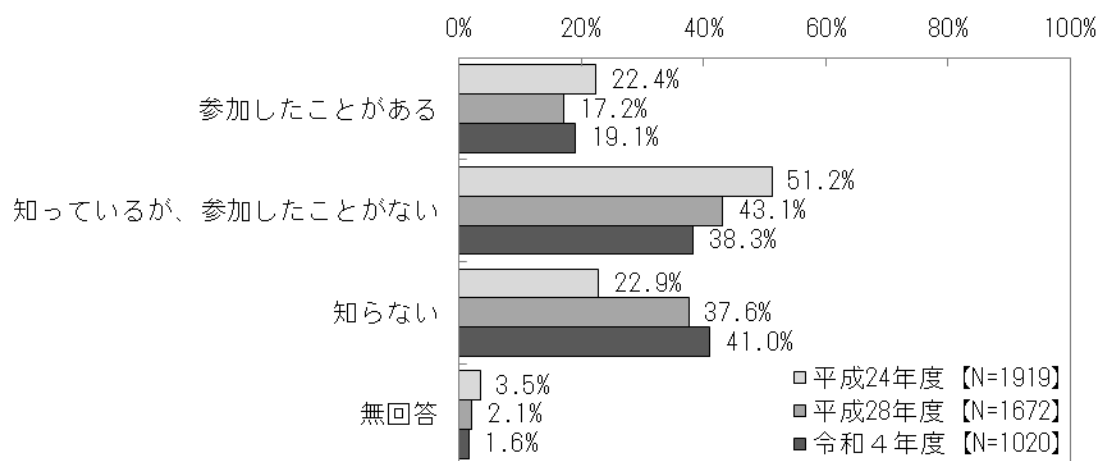
「知らない」は年代が低いほど多く、「知っているが、参加したことがない」は年代が高いほどおおむね多くなっています。

《図 3-4-10 京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況／居住地域別》



京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況を、居住地域別にみると、「参加したことがある」は峰山町で最も多くなっています。

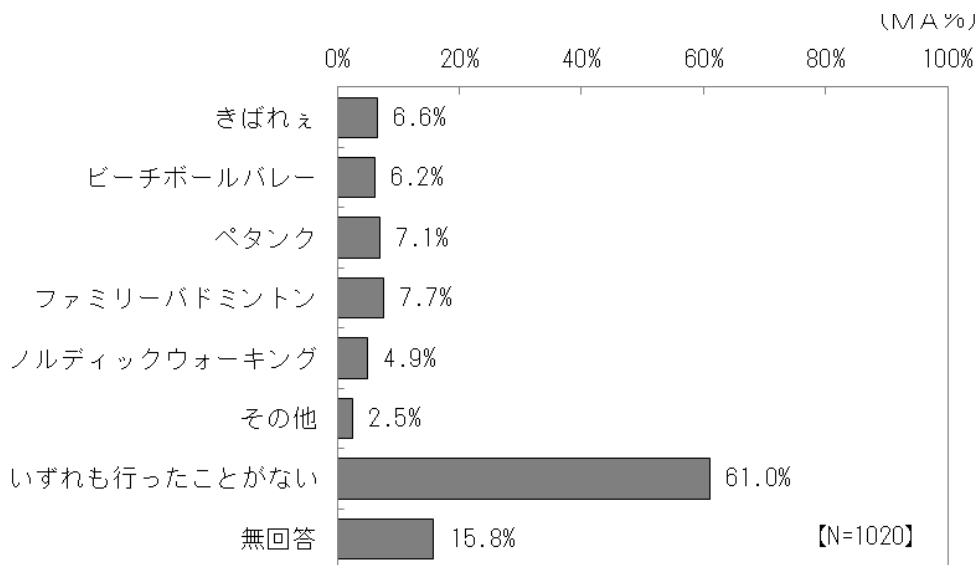
《図 3-4-11 京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況／過去調査との比較》



京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況を、過去調査と比較すると、「知っているが、参加したことがない」が減少し、「知らない」が増加しています。

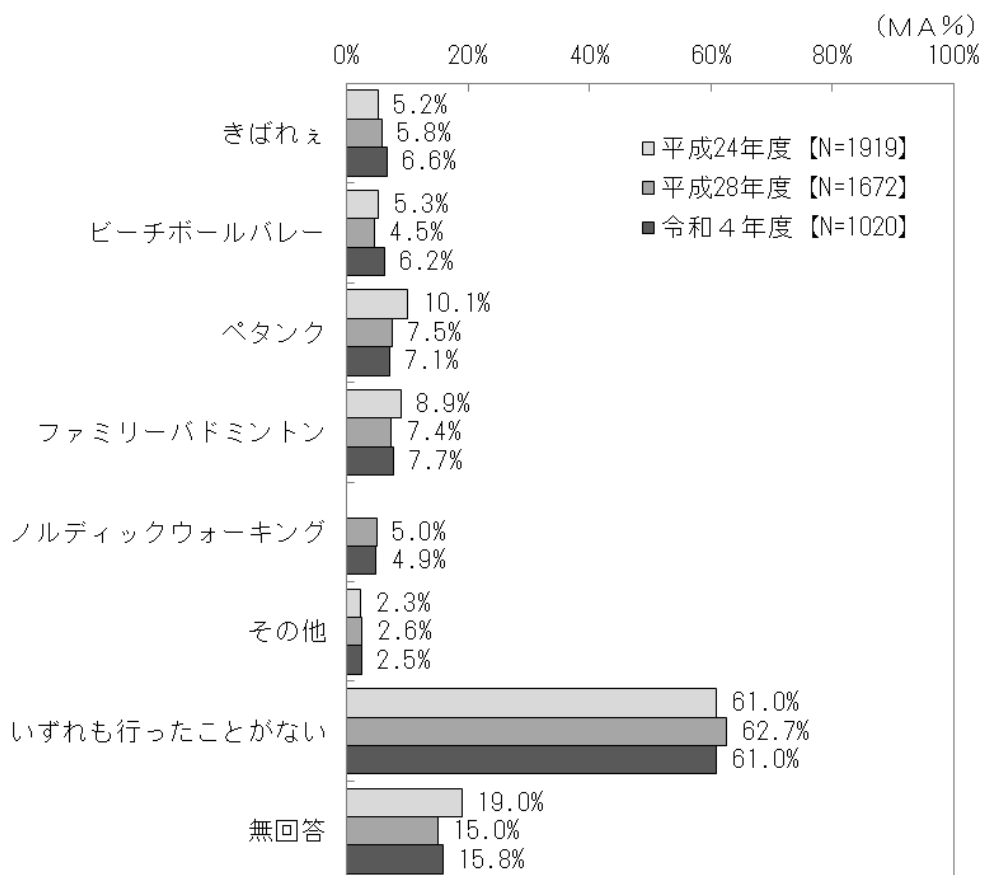
問 21. あなたが行ったことのあるニュースポーツをお選びください。(〇はいくつでも)

《図 3-4-12 行ったことがあるニュースポーツ》



行ったことがあるニュースポーツは、いずれも 1 割を下回っています。

《図 3-4-13 行ったことがあるニュースポーツ／過去調査との比較》

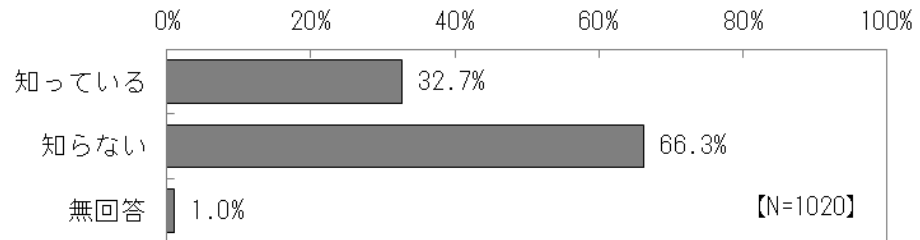


行ったことがあるニュースポーツを、過去調査と比較すると、すべての調査年度で「いずれも行ったことがない」が最も多くなっています。

※平成 24 年度調査は「ノルディックウォーキング」の選択肢なし。

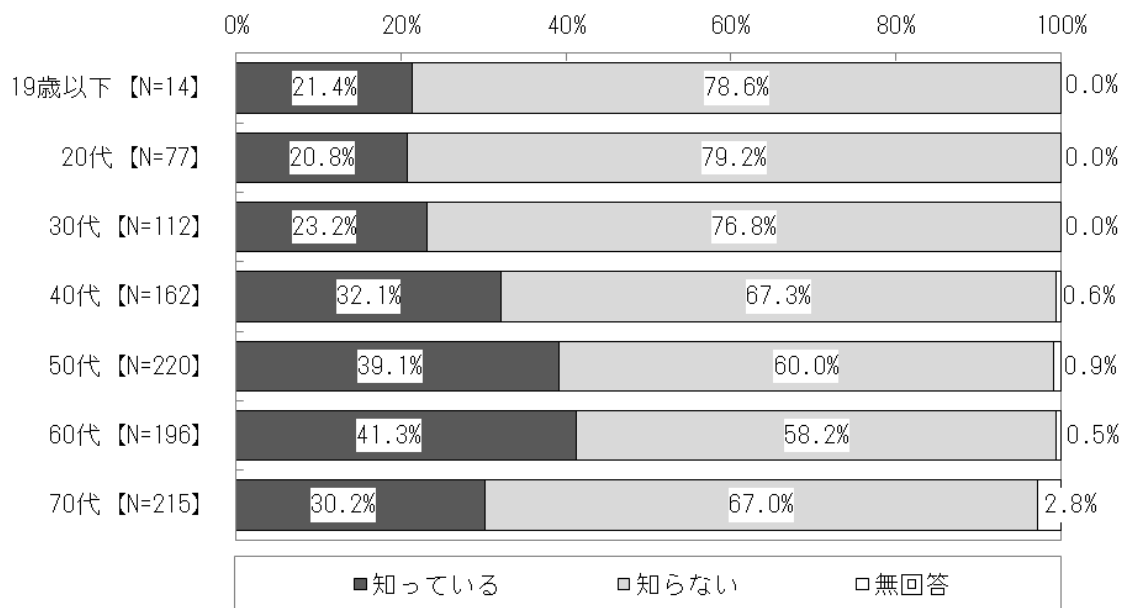
問 22. あなたは、地域で活動しているスポーツ推進委員（旧体育指導委員）をご存知ですか。（1つに○）

《図 3-4-14 スポーツ推進委員の認知度》



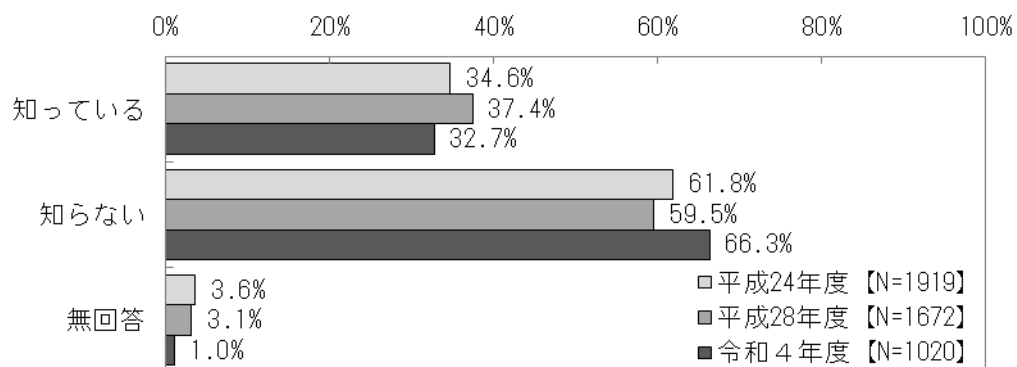
スポーツ推進委員の認知度は、「知っている」が32.7%、「知らない」が66.3%となっています。

《図 3-4-15 スポーツ推進委員の認知度／年代別》



スポーツ推進委員の認知度を、年代別にみると、30代以下は「知らない」が7割を超えています。

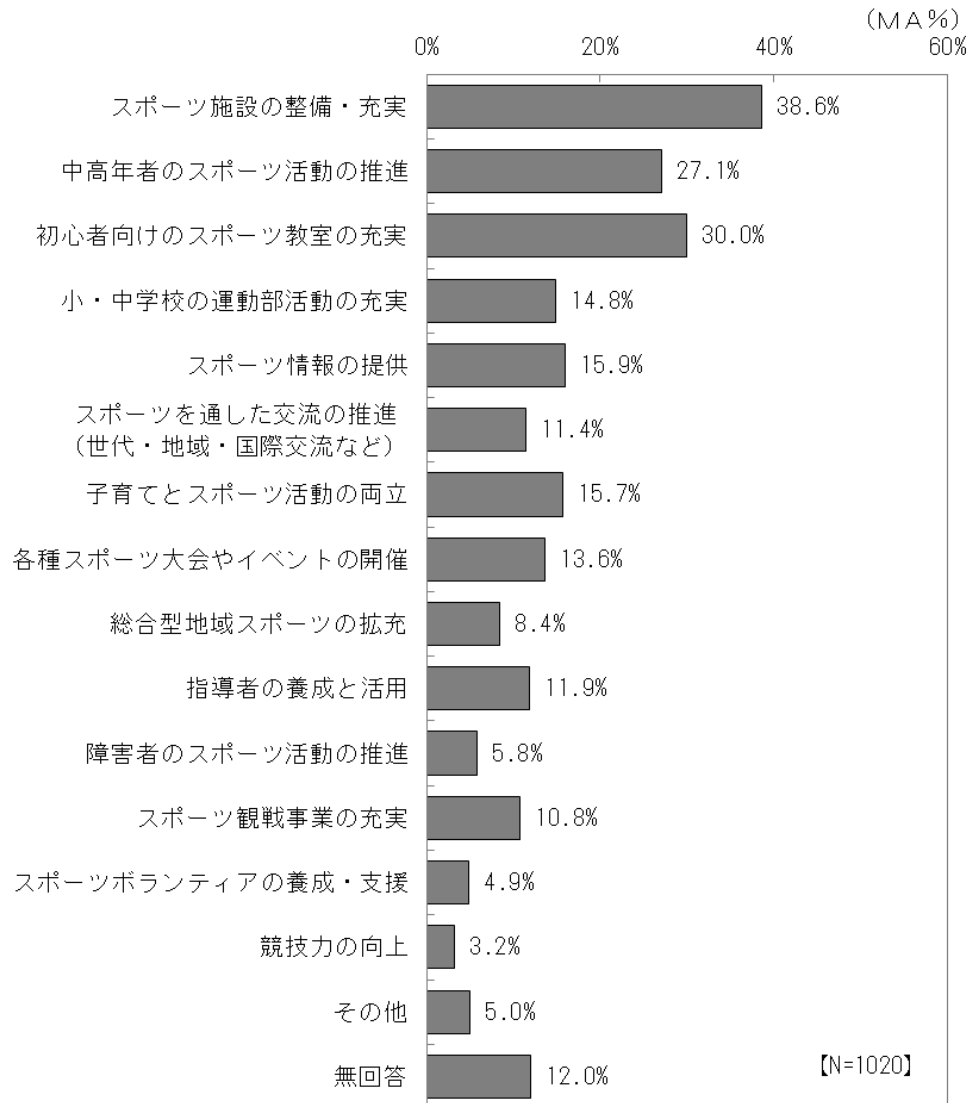
《図 3-4-16 スポーツ推進委員の認知度／過去調査との比較》



スポーツ推進委員の認知度を、過去調査と比較すると、「知っている」が減少し、「知らない」が増加しています。

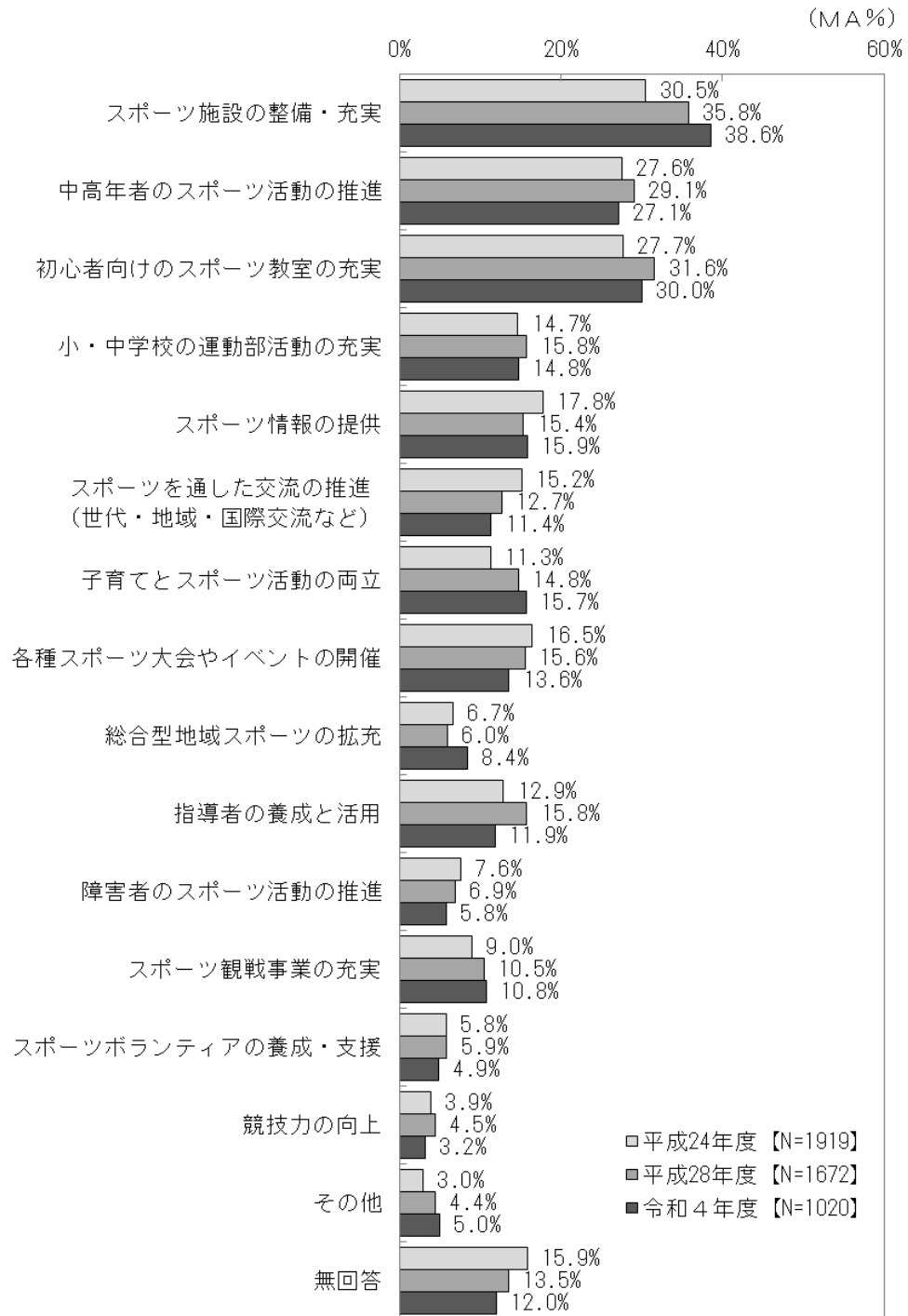
問 23. スポーツをもっと振興・発展させる為に、京丹後市に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。（〇はいくつでも）

《図 3-4-17 スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めること》



スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めることは、「スポーツ施設の整備・充実」が 38.6%と最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室の充実」が 30.0%、「中高年者のスポーツ活動の推進」が 27.1%などとなっています。

《図 3-4-18 スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めること／過去調査との比較》

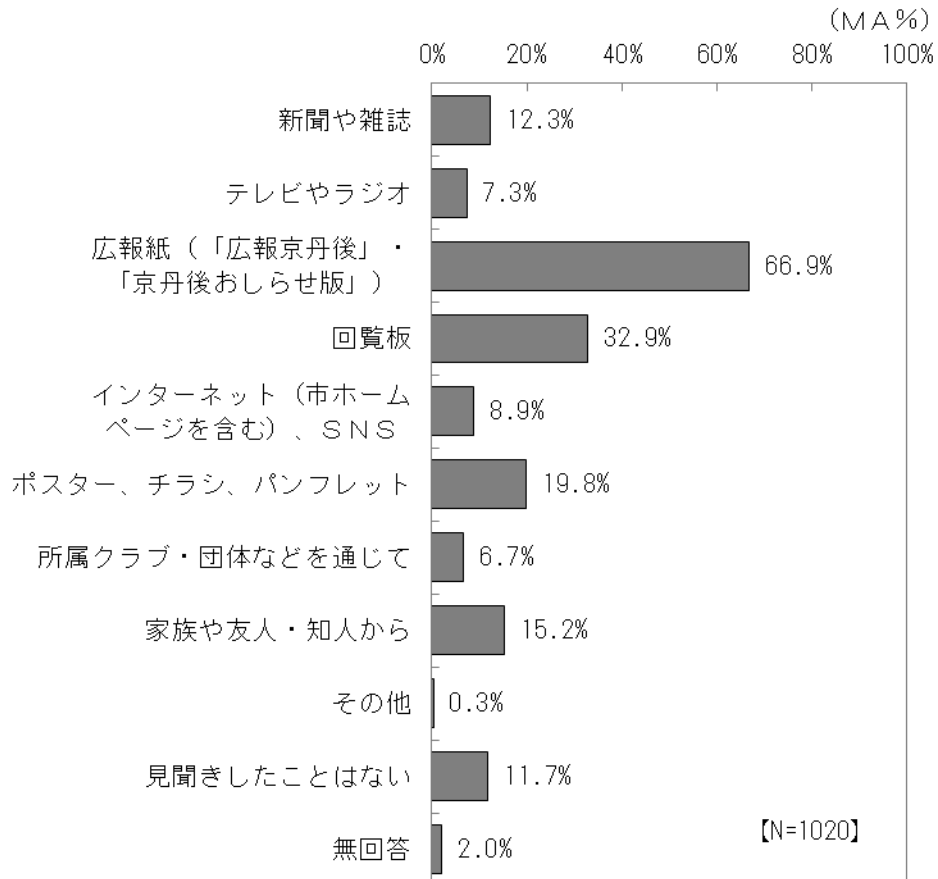


スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めることを、過去調査と比較すると、主に「スポーツ施設の整備・充実」の割合が増加しています。

5 スポーツに関する情報について

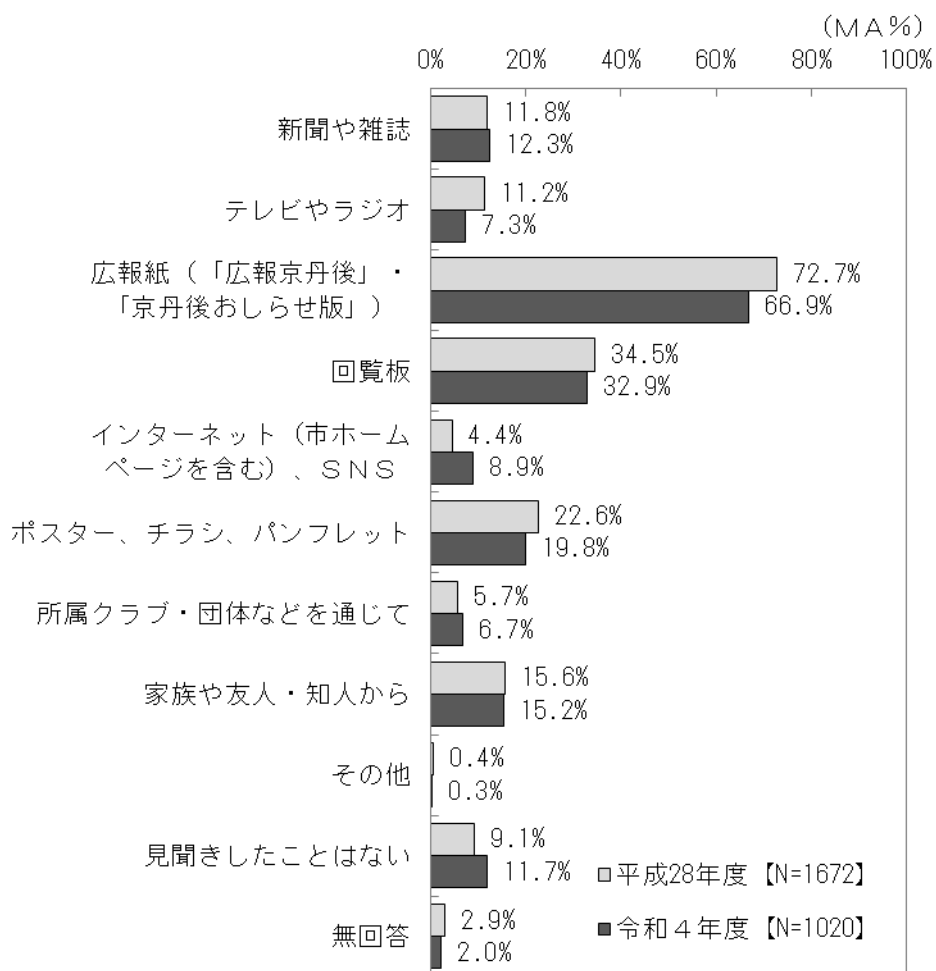
問 24. 京丹後市のスポーツに関する情報をどのような媒体で見聞きしたことがありますか。
(〇はいくつでも)

＜図 3-5-1 京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体＞



京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体は、「広報紙」が66.9%と最も多く、他の項目を大きく上回っています。次いで「回覧板」が32.9%、「ポスター、チラシ、パンフレット」が19.8%などとなっています。

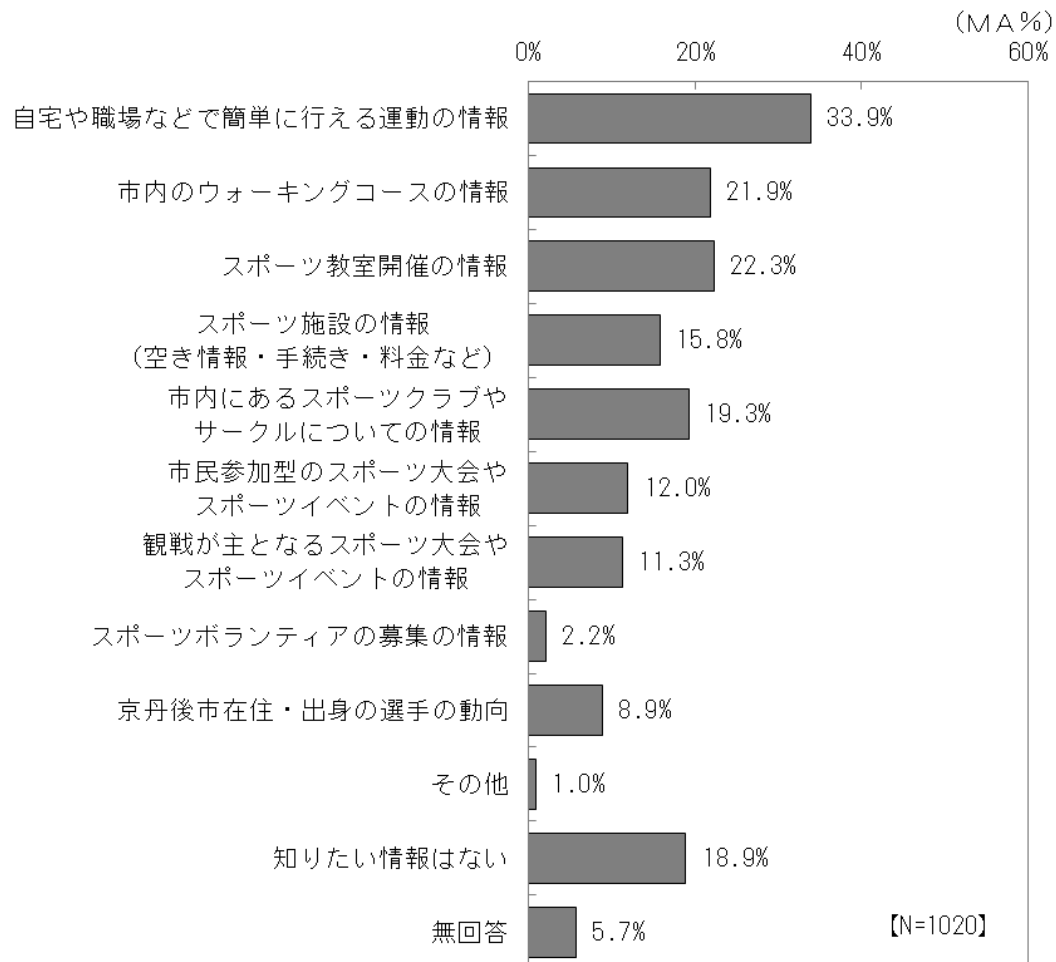
《図 3-5-2 京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体／過去調査との比較》



京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体を、過去調査と比較すると、最も多い媒体の「広報紙（「広報京丹後」「京丹後おしらせ版」）は減少し、過去調査では低かった「インターネット（市ホームページを含む）、SNSが」2倍程度に増加しています。

問 25. スポーツに関する情報で、知りたい内容は何ですか。(〇はいつでも)

《図 3-5-3 スポーツに関して知りたい情報》

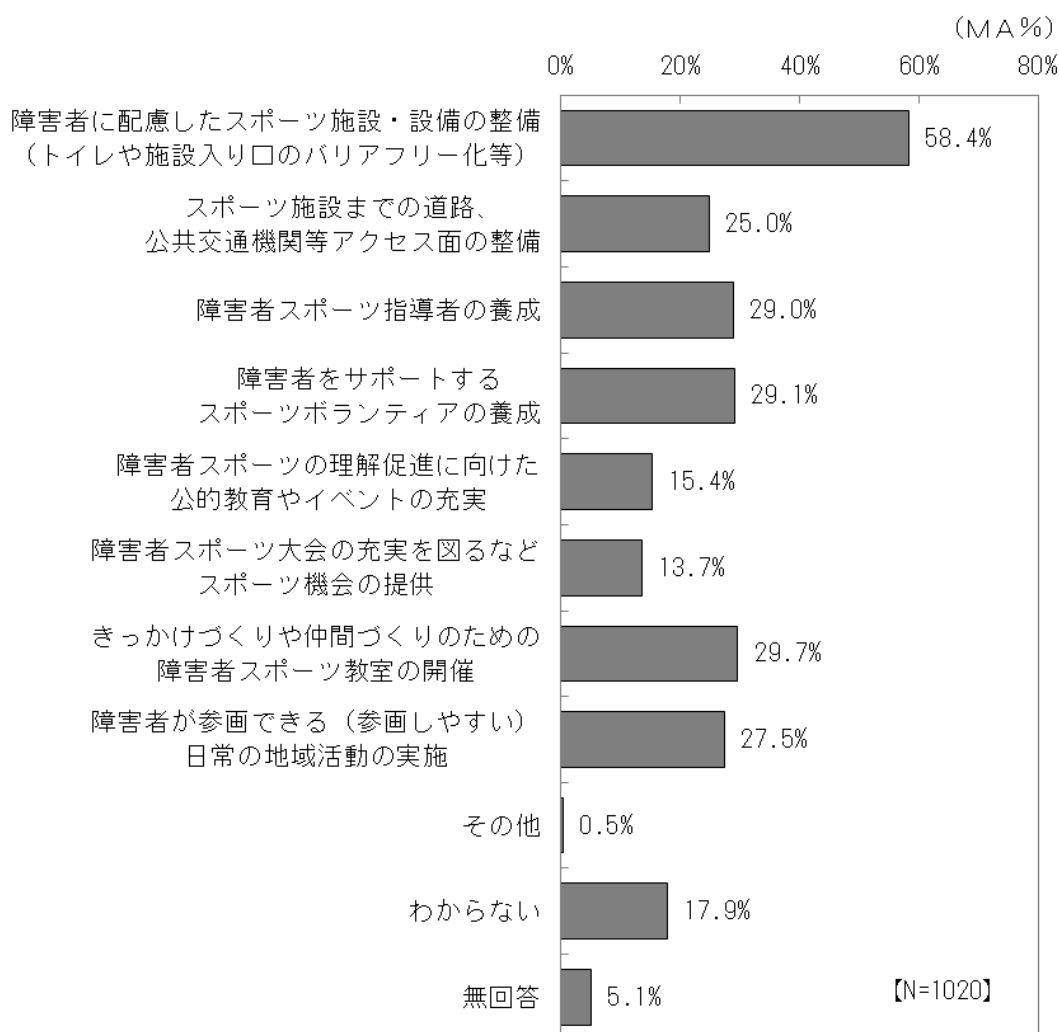


スポーツに関して知りたい情報は、「自宅や職場などで簡単に行える運動の情報」が 33.9%と最も多く、次いで「スポーツ教室開催の情報」が 22.3%、「市内のウォーキングコースの情報」が 21.9%などとなっています。

6 障害者スポーツの振興について

問 26. 障害者が、日常生活の中で、気軽に運動やスポーツができるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか（〇はいくつでも）

《図 3-6-1 障害者スポーツの振興のために、必要と思われること》

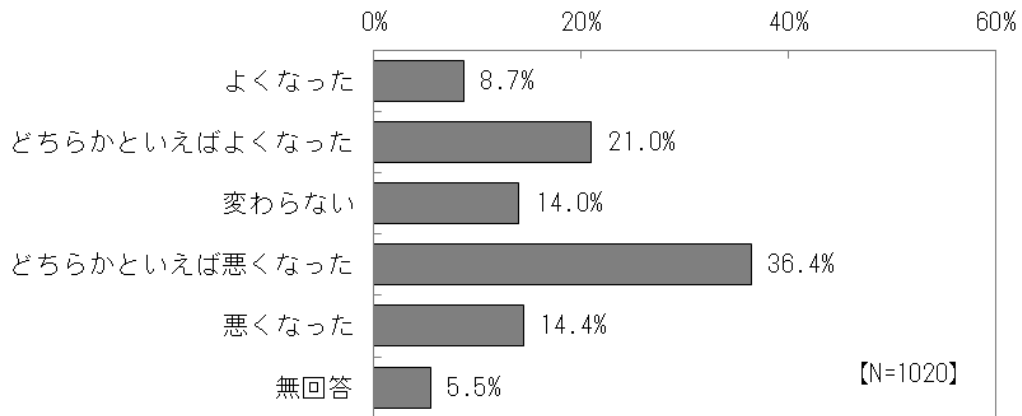


障害者スポーツの振興のために必要と思われることは、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備」が58.4%と最も多く、次いで「きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催」が29.7%、「障害者をサポートするスポーツボランティアの養成」が29.1%、「障害者スポーツ指導者の養成」が29.0%などとなっています。

7 現在の子どもを取り巻く環境について

問 27. あなたは、ご自身の子どもの頃と比較して、今の子どものスポーツや外遊びの環境はどのようになったと感じていますか。（1つに〇）

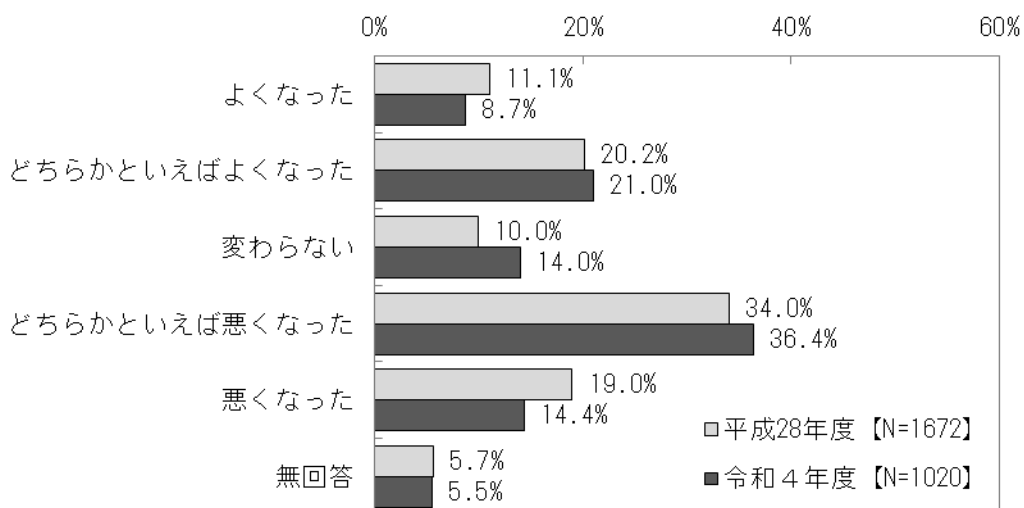
《図 3-7-1 自身の子どものころと比較した、現在の子どものスポーツ等の環境》



自身の子どものころと比較した、現在の子どものスポーツ等の環境は、「どちらかといえば悪くなった」が36.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばよくなった」が21.0%、「悪くなった」が14.4%などとなっています。

「よくなった」と「どちらかといえばよくなった」を合わせた割合（『よくなった』）は29.7%、「どちらかといえば悪くなった」と「悪くなった」を合わせた割合（『悪くなった』）は50.8%となっています。

《図 3-7-2 自身の子どものころと比較した、現在の子どものスポーツ等の環境／過去調査との比較》



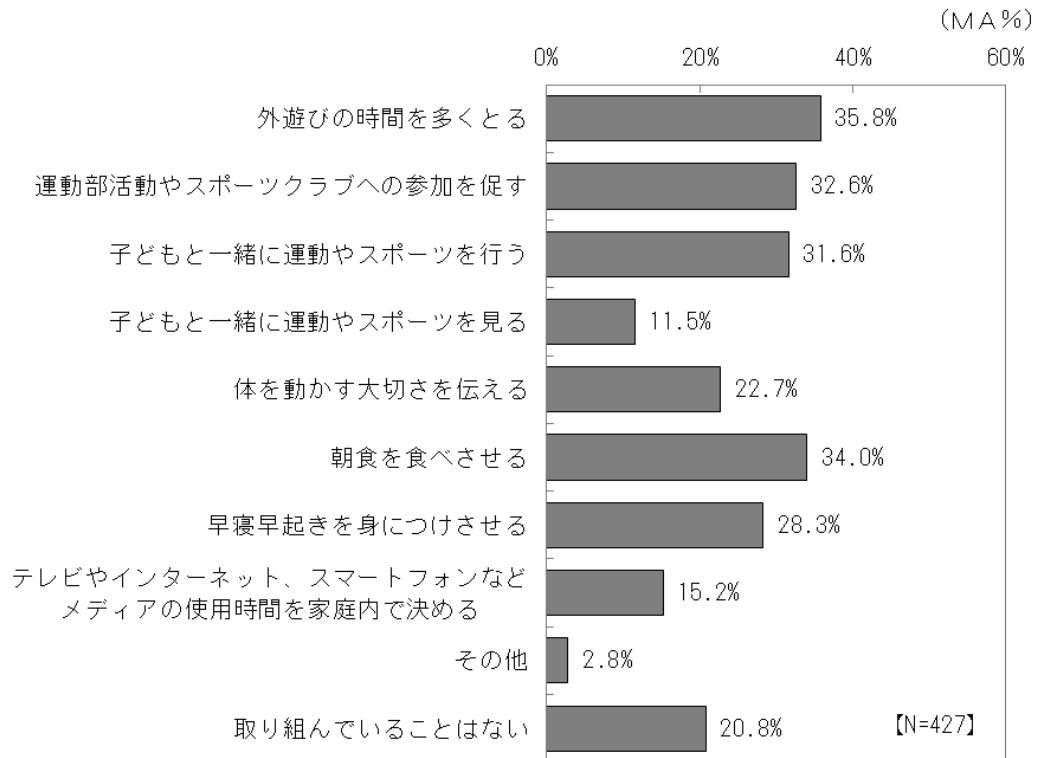
自身の子どものころと比較した、現在の子どものスポーツ等の環境を、過去調査と比較すると、「よくなった」も「悪くなった」も減少しています。

18歳以下の子ども（お子さんやお孫さんなど）と一緒に暮らしている方にお聞きします。

問 28. 子どもの体力低下が全国的な課題となっていますが、子どもの体力・運動能力向上のために、あなたの家庭などで取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

※無回答を除いて集計

《図 3-7-3 子どもの体力・運動能力向上のために、家庭などで取り組んでいること》



子どもの体力・運動能力向上のために、家庭などで取り組んでいることは、「外遊びの時間を多くとる」が35.8%と最も多く、次いで「朝食を食べさせる」が34.0%、「運動部活動やスポーツクラブへの参加を促す」が32.6%、「子どもと一緒に運動やスポーツを行う」が31.6%などとなっています。

8 自由意見

■設備・施設に対する主な意見

- ・施設の清掃が行き届いていない。(管理者、使用者)
- ・施設は市内に多く必要ない。老朽化の著しい施設は廃止すべき。
- ・小規模施設が点在しているが使用されていない。総合的な施設が欲しい。
- ・スポーツ施設を充実してほしい。
(トイレの水洗化・洋式化、冷暖房完備、観覧席、ウォーキングコース、ボルダリング、スケート場、ホットヨガ、ゴルフ場、マウンテンバイクトレイルコース)
- ・施設予約の方法の簡略化、ポイント付与など。(施設利用の機会が増える。)
- ・スポーツ施設は、アクセスのよい場所に建設してほしい。
- ・冬季の屋内施設開放など。

■教室等に対する主な意見

- ・久美浜町に、小学生対象のスポーツクラブを作してほしい。
- ・日中、地理的に参加しやすい教室の開催を希望。
(アクセスが良い会場、主要駅の近辺で開催 など)
- ・時間的に参加しやすい教室の開催を希望。(週末、土日祝日の日中 など)
- ・途中参加は、仲間に入りにくい雰囲気がある。
- ・教室開催を希望。(ヨガ、フラダンス、体操・ストレッチ、ダンス など)
- ・無料で参加できる教室があればよい。

■情報提供に対する主な意見

- ・マリンスポーツの情報発信を希望。
- ・登山、ウォーキングコースの情報提供を希望。
- ・広報誌などの配布物がアパート等入居者に届かず、情報が提供されていない。
- ・市内で活動する社会人チームなどの情報を紹介してほしい。

■行政のスポーツ施策に対する主な意見

- ・新しいスポーツの普及も大切だが、現在活動しているスポーツ団体の支援施策が必要。
- ・市のスポーツ推進政策は充実していると感じる。
- ・ラジオ体操の定時放送はよい取り組みである。
- ・スポーツ施策などに注力せず、福祉、教育、経済施策にもっと取り組むべき。
- ・地域スポーツへの支援を希望。
- ・生涯スポーツの大切さを学校で教育していくことが必要。

■金銭的なことに関する主な意見

- ・体育施設の無料開放を継続してほしい。
- ・施設の使用料を引き上げるべき。受益者負担が少なすぎる。施設を利用しない市民の負担が大きい。

■年齢に関する主な意見

- ・高齢者が気軽に参加できる運動の場を希望。（軽い体操 サロン兼ねる など）
- ・高齢のため、運動したくてもできない。

■子どもに関する主な意見

- ・子どものスポーツの機会を平等にしてほしい。
- ・子どもと一緒にできるスポーツを知りたい。
- ・小さな子どもを含めて、子ども向けの安全な遊び場（公園）を整備してほしい。
- ・学校のクラブ活動は、専門の指導者に依頼し、正しい指導をしてほしい。
- ・学校のクラブ活動の選択肢が限定されている。指導者の確保などを望む。

■イベント等に対する主な意見

- ・峰山総合運動公園へラグビーの試合を誘致してほしい。
- ・市がスポーツイベントをする必要はない。（スポーツイベントの効果に疑問）
- ・イベント、大会をしてほしい。（バスケット、テニス、サッカー、ウォーキング など）
- ・丹後 100 キロウルトラマラソンへの地元参加者を増やすため、市民の参加料を割り引いてほしい。
- ・プロスポーツ観戦のイベントを開催してほしい。

■その他

- ・指導者の育成が必要である。
- ・民間のフィットネスジムを誘致してほしい。
- ・丹後町の盆野球の継続を希望する。
- ・民間のスポーツクラブが少ない。
- ・スポーツ推進委員の皆様の活動を楽しみにしている。活動を継続してほしい。
- ・20代から30代のスポーツ人口が減少している。
- ・旧町単位で開催するスポーツ大会は、不公平感がある。

など

IV. 調査結果のまとめ

1 健康状態について

■健康や体力について感じていること

健康であると答えた人と、体力に自信があると答えた人の割合は、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど多くなっており、運動やスポーツをすることが主観的な健康状態のよさにつながっていることがうかがえます。（図 3-1-2、図 3-1-5）

■運動不足を感じている人

運動不足を感じているのは、男性では 30 代がもっとも多く、女性では、30 代から 50 代までの、主に就労や子育て世代に多くなっています。特に 30～50 代の女性は運動不足を感じている人が約 5 割近くになっています。（図 3-1-8）

■健康管理や体力の保持増進のために心がけていること、好きなことができる時間の過ごし方

健康管理や体力の保持増進のために心がけていることとしては、食生活に気をつけると回答する人が最も多く（25.5%）、運動やスポーツをするは約 1 割にとどまっています。性別にみると男性は女性より運動やスポーツをするの割合が高く、約 2 倍となっています。「好きなことができる時間の過ごし方についても、運動やスポーツを挙げる回答は少なく、特に女性は「運動・スポーツをする」との回答が少なくなっています。（図 3-1-10、図 3-1-12、図 3-1-13、図 3-1-15）

2 運動やスポーツの実施状況について

■運動やスポーツの取り組みが少ない人

女性は男性より『運動やスポーツをしている』人が少なく（男性 43.5%、女性 33.8%）、特に 18～19 歳、30～50 代の女性は 1 割も満たしていません。『運動やスポーツをしている』人が最も少ないのは 19 歳以下の女性（0.0%）で、次いで 50 代の女性（6.3%）となっています。男性は 50 代（10.9%）が最も少なくなっています。（図 3-2-3、図 3-2-4）

また、暮らし向きがよくない人と考えているほど、運動やスポーツの取り組みが少なくなっていることや、運動やスポーツをしたいができない理由として、まったくゆとりがない人では「お金がかかるから」との回答が 4 割近くあることから、経済的な要因が運動やスポーツの実施状況に影響を及ぼしていることがうかがえます。（図 3-2-22、図 3-2-25、図 3-2-5）

■運動やスポーツの取り組みが少ない理由

運動やスポーツをしたいができない理由については、男性では、30 代から 50 代が「仕事が忙しくて時間がないから」が最も多く、女性では、30 代の約 7 割が「家事や育児が忙しくて時間がないから」、40 代、50 代の約 5 割以上が「仕事が忙しくて時間がないから」を挙げています。（図 3-2-12、図 3-2-13）

30 代から 50 代の男性は、1 週間の就業時間が 50 時間以上の割合が他の年代に比べて高いことから「仕事が忙しくて時間がないから」という理由がスポーツ実施率の低さにつながっていると思われます。（図 2-8）

■運動やスポーツをしたいが、なかなかできない人

「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」人は、女性の30代から60代で5割を超えています。(図3-2-4)

「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」人が、もし運動やスポーツをできる状況になった場合に、運動やスポーツをしたい曜日は、男性は年代によって「平日」や「土・日・祝」に意向が分かれるものの、女性の50代以降は「平日」が多くなっています。運動やスポーツをしたい時間帯については、男女ともにおおむね20代～50代の就労・子育て世代では「夕方、夜」との回答が多くなっています。一方60代以上の高齢層では「午後」との回答が多くなっています。(図3-2-16、図3-2-18)

■普段行っている運動、今後行いたい運動

普段行っている運動は、全体にみても、性別にみても、「ウォーキング」が1位となっており、老若男女に幅広く「ウォーキング」が取り入れられていることがうかがえます。(図3-2-30、図3-2-31) 2, 3位のスポーツ種目を見ても、体操、室内競技、ジョギングなど一人で比較的気軽に取り組める種目が挙がっています。

今後行いたい運動は、男女ともに1位は「ウォーキング」となっています。(図3-2-32)

■スポーツクラブなどへの参加状況

スポーツクラブなどに「参加している」人は17.4%、「今は参加していないが、いずれ参加したい」人は19.9%となっています。(図3-2-33)

「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」人は、32.1%が「今は参加していないが、いずれ参加したい」と回答しています。(図3-2-35)

参加しているまたは参加したいスポーツクラブなどについては、「おおむね市内の人が加入している地域のクラブや同好会」が56.8%と多くなっています。(図3-2-36)

3 スポーツに関するボランティア活動について

■スポーツに関するボランティアへの参加状況

スポーツに関するボランティア活動に参加したことがある人は9.5%と1割にも満たない状況です。(図3-4-8) また過去調査と比較すると徐々に減少(15.2%→10.2%→9.5%)しています。(図3-3-1、図3-3-3) また、ボランティア活動に参加したくないと答えている人が7割を超えています。(図3-3-4)

■スポーツに関するボランティア活動への参加意向

スポーツに関するボランティア活動への参加意向については、『参加したい』との回答は全体では22.7%で、おおむね低い年代ほど『参加したい』との回答が多くなっています。(図3-3-4、図3-3-5)

4 京丹後市のスポーツ施策について

■京丹後市のスポーツ施設の利用状況

京丹後市のスポーツ施設を利用したことがある人は42.8%で、低い年代ほど利用者が多くなっています。(図3-4-1、図3-4-2)

使用したことがある施設・設備は、「体育館」「市内小学校の学校施設」「峰山途中ヶ丘公園」が多く使用されています。(図3-4-4)

■総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブを知っている人は12.0%と約1割にとどまっています。(図3-4-6)

居住地域別にみると、網野町で認知度が最も高くなっています。網野町の総合型地域スポーツクラブが活発に活動していることがその理由と考えられます。(図3-4-7)

■京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況

京丹後市が主催するスポーツイベントに参加したことがある人は19.1%で、前回調査(17.2%)と比べてわずかに増加しました。(図3-4-11)

参加したことがある年代は、20代が26.0%と最も多く、70代は10.2%しかありません。また、40代以下の年代は、京丹後市が主催するスポーツイベントの認知度が低く、50代以上の年代は「知っているが、参加したことがない」人が多くなっています。(図3-4-9)

■行ったことがあるニュースポーツ

ニュースポーツについては、「行ったことがない」との回答が約6割を占めています。行ったことがあるニュースポーツは、「ファミリーバドミントン」が7.7%、「ペタンク」が7.1%、「きばれえ」が6.6%、「ビーチボールバレー」が6.2%「ノルディックウォーキング」が4.9%となっています。(図3-4-12)

■スポーツ推進委員の認知度

スポーツ推進委員を「知っている」人は32.7%で、前回調査(37.4%)と比べて減少しています。(図3-4-14、図3-4-16)

年代別にみると、おおむね低い年代ほど認知度が低くなっています。(図3-4-15)

■スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めること

スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めることは、「スポーツ施設の整備・充実」「中高年者のスポーツ活動の推進」「初心者向けのスポーツ教室の充実」が多く挙げられています。(図3-4-17)

過去調査と比べると「スポーツ施設の整備・充実」「総合型地域スポーツの拡充」を求める人の割合が増えていますが、ほかの項目は減少もしくはほぼ同じ割合となっています。(図3-4-18)

5 スポーツに関する情報について

■京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体

京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体は、「広報紙」が他の媒体を大きく上回り、最も多くなっています。(図3-5-1)

■スポーツに関して知りたい情報

スポーツに関して知りたい情報は、「自宅や職場などで簡単に行える運動の情報」が最も多くなっています。次いで「市内のウォーキングコースの情報」「スポーツ教室開催の情報」「市内にあるスポーツクラブやサークルについての情報」が多くなっていますが、「知りたい情報はない」という人も18.9%います。(図3-5-3)

6 障害者スポーツの振興について

■障害者が日常生活の中でスポーツするために必要なこと

障害者スポーツの振興のために必要と思われることは、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備」が最も多くなっています。次いで「きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催」「障害者をサポートするスポーツボランティアの養成」「障害者をサポートするスポーツボランティアの養成」が続いています。(図3-6-1)

7 現在の子どもを取り巻く環境について

■自身の子どものころと比較した、現在の子どものスポーツ等の環境

自身の子どものころと比較した、現在の子どものスポーツ等の環境は、『よくなった』の29.7%に対して、『悪くなった』が50.8%と過半数を占めています。(図3-7-1)

■子どもの体力・運動能力向上のために、家庭などで取り組んでいること

子どもの体力・運動能力向上のために、家庭などで取り組んでいることは、「外遊びの時間を多くとる」「朝食を食べさせる」「運動部活動やスポーツクラブへの参加を促す」「子どもと一緒に運動やスポーツを行う」人の割合がいずれも3割程度となっています。(図3-7-3)